

令和7年度
本校 中学部
年間指導計画



令和7年度 中学部 時間割表

本校 中学部2年 I 課程					
	月	火	水	木	金
1	社会	理科	英語	保健	国語
2	数学	美術	音楽	国語	英語
3	理科	英語	体育	数学	特活
4	自活	国語	自活	社会	総合
5	体育	数学	道德	英語	技術・家庭
6	国語	社会		理科	技術・家庭

本校 中学部3年 I 課程					
	月	火	水	木	金
1	社会	理科	音楽	保健	国語
2	数学	美術	音楽	国語	英語
3	理科	英語	体育	数学	特活
4	自活	国語	自活	自活	総合
5	体育	数学	道德	英語	技術・家庭
6	国語	社会		理科	技術・家庭

本校 中学部1～3年 II 課程A					
	月	火	水	木	金
1	職業・家庭	数学	社会	職業・家庭	自活
2	職業・家庭	保健	美術	職業・家庭	音楽
3	音楽	国語	体育	英語	特活
4	自活	自活	自活	自活	総合
5	体育	理科	道德	美術	理科
6	数学	英語		国語	社会

本校 中学部2年 II 課程C					
	月	火	水	木	金
1	自活	自活	数学	自活	自活
2	理科	音楽	美術	美術	国語
3	社会	数学	体育	音楽	特活
4	自活	自活	自活	自活	総合
5	体育	英語	道德	国語	職業・家庭
6	自活	自活		自活	職業・家庭

令和7年度 中学部 2年（I 課程） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4/140	中学部2年		現代の国語2（三省堂）

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 (思判表力) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (学・人) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	50	(知及技) 詩のリズムを感じ取りながら音読し、表現の効果について考える。(C工) (思判表力) 詩にこめられたものの見方を捉え、自分の考えを深める。(Cオ)	(知・技) ・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (1)工 (思・判・表) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ) (主学) ・進んで自分の考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	名づけられた葉	1 詩のリズムを感じ取りながら音読し、表現の効果について考える。 2 詩にこめられたものの見方を捉える。 ・それぞれの連に描かれていることをまとめ、それらの関係を考える。
		(思判表力) 人物の設定の仕方を捉える。(Cア) 表現や構成の工夫とその効果について考える。(C工)	(知・技) ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ (思・判・表) ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。(Cア) ・「読むこと」において、文章の構成や表現の効果について考えている。(C工) (主学) ・進んで自分の考えを広げたり深めたりし、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	セミロングホームルーム	1 作品を読んで感じたことを共有する。 2 人物の設定の仕方を捉える。 3 人物の言動の意味や役割について考える。 4 表現や構成の工夫とその効果について考えを深める。
		(知及技) 話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。(知・技(1)イ)	(知・技) ・話し言葉と書き言葉の違いについて理解している。(1)イ (主学) ・進んで話し言葉と書き言葉の違いについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	言葉発見1 話し言葉と書き言葉	1 話し言葉の特徴について考える。 2 書き言葉の特徴について考える。 3 「確かめよう」の課題に取り組む。
		(知及技) 互いの立場や考えを尊重しながら話し合いを深めるための方法を理解し、活用する。(Aオ) 相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる。(A工)	(知・技) ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2)ア) (思・判・表) ・「話すこと・聞くこと」において、互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。(Aオ) ・「話すこと・聞くこと」において、論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。(A工) (主学) ・積極的に互いの立場や考えを尊重しながら、学習の見通しをもって議論や討論をしようとしている。	グループディスカッション 互いの考えを尊重しながら話し合いを深める	1 互いの立場や考えを尊重しながら話し合いを深めるための方法を理解する。 2 話し合いを深めるための方法を、グループディスカッションで活用する。 3 相手の考えと比較しながら聞き、自分の考えをまとめる。

		(知及技) 常用漢字の読み・書きについて理解を深める。 (知・技 (1) ウ)	(知・技) ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1) ウ) ・抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1) エ) (主学) ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	宇宙に行くための素材	1 文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。
		(思判表力)文章を比較するなどして、構成や論理の展開と表現の効果について考える。(Cエ) 主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。(Cア)	(知・技) ・話や文章の構成や展開について理解を深めている。((1) オ) ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2) ア) (思・判・表) 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(Cエ) 「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示の関係などを捉えている。(Cア) (主学) ・進んで文章の構成や論理の展開について考え、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようとしている。	人間は他の星に住むことができるのか	1 主張と例示との関係に着目して読み、内容を理解する。 2 文章の構成や論理の展開、その効果について考える 3 筆者の考えに対して自分の考えをもち、交流して深め合う。
		(思判表力) ・読み手の立場に立って読み返し、内容が正しくわかりやすく伝わるように文章を整える。(Bエ) 相手に伝えたい事柄や気持ちを明確にして、手紙の形式をふまえて書く。(Bイ) (学・人)	(知・技) ・敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使おうとしている。((1) カ) (思・判・表) ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(Bエ) ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(Bイ) (主学) ・粘り強く表現の効果などを確かめ、学習の見通しをもって伝えたいことを相手や媒体を考慮して書こうとしている。	手紙・メール 心をこめてわかりやすく書く	1 伝える相手を決め、伝えたい事柄や気持ちを明確にする。 2 手紙の形式をふまえて下書きをする。 3 読み手の立場に立って読み返し、推敲して文章を整える。 4 丁寧に清書し、確認して投函（送信）する。
		(知及技) 言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づく。(知・技 (1) ア)	(知・技) ・言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。((1) ア) ・話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。((1) イ) (主学) ・進んで言葉のもつ相手の行動を促すはたらきについて気づき、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	言葉発見2 言葉のはたらきとコミュニケーション	1 相手に何かをはたらきかけるときの表現の仕方や配慮の示し方について考える。 2 「確かめよう」の課題に取り組む。 3 SNSによるコミュニケーションについて理解する。
		(知及技) 常用漢字の読み・書きについて理解を深める。 (知・技 (1) ウ)	(知・技) ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1) ウ) ・抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1) エ) (主学) ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	漢字を身につけよう2	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。

2 学 期	55	(思判表力) 心情を表す表現や情景を捉え、短歌を読み味わう。(Cオ) 観点を明確にして短歌を比較するなどして、表現の効果について考える。(C工)	(知・技) ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) (思・判・表) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ) (主学) ・進んで知識や経験と結びつけ、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。	短歌の世界／短歌十首	1 短歌のリズムや表現方法などの特徴を捉える。 2 情景や心情を表す語句に注意して、短歌についての理解を深める。 3 表現の工夫や効果をふまえて考えを伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりする。
		(思判表力) 作品を読み合い、表現の工夫などについて意見を交流する。(Bオ) 情景や心の動きが伝わるように、表現を工夫して書く。(Bウ)	(知・技) ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) (思・判・表) ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ) ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(Bウ) (主学) ・粘り強く文章のよい点や改善点を見いだし、学習の見通しをもって短歌や俳句を創作しようとしている。	短歌・俳句 表現の仕方を工夫して豊かに表す	1 題材を選び、情景を短い文章で表現する。 2 情景の表現に必要な言葉を取り出し、五音・七音に整える。 3 情景や感動が伝わるように、表現を工夫する。 4 短歌とはじめの短い文章とを比べ、推敲する。 5 作品を読み合い、表現の工夫などについて意見を交流する。
		(知及技) ・用言の活用について理解する。(知・技(1)オ)	(知・技)・単語の活用について理解している。(1)オ) (主学) ・進んで単語の活用について理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	文法の窓1 用言の活用	1 「文法の窓1」で後ろにつく語によって用言がどのように形を変えるか考える。 2 「文法のまとめ」「1用言の活用」で、用言の活用について理解する。 3 「確認しよう 練習問題1」の課題に取り組む。
		(思判表力) 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりする。(Cオ) 文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。(Cア)	(知・技) ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)エ) (思・判・表) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ) ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示の関係などを捉えている。(Cア) (主学) ・進んで知識や経験と結びつけ、学習課題にそって理解したことや考えたことを説明しようとしている。	壁に残された伝言	1 文章の全体と部分との関係に着目して読み、内容を理解する。 2 文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつける。 3 筆者の思いをもとに、自分の考えを広げたり深めたりする。
		(知及技) 本には、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、読書を通して自分の考えを広げたり深めたりする。(知・技(3)エ、Cオ)	(知・技) ・本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)エ) (思・判・表)	私の読書体験 生涯の友と出会う	1 教材文を読み、感想を交流する。 2 本を選んで読み、自分の考えを広げたり深めたりする。

(知及技) 常用漢字の読み・書きについて理解を深める。 (知・技 (1) ウ)	(知・技) ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1) ウ) ・抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1) エ) (主学) ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	漢字を身につけよう 3	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。
(思判表力) 図表と文章などを結びつけて、筆者の考えを捉える。(Cウ) 文章を読んで理解した味の感じ方について、知識や経験と結びつけて自分の考えを広げる。(Cオ)	(知・技) ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2) イ) (思・判・表) ・「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。(Cウ) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ) (主学) ・進んで文章と図表などを結びつけて内容を解釈し、学習課題にそって考えたことを文章にまとめようとしている。	味は味覚だけでは決まらない 図表と文章	1 本文を読んで内容を捉える。 2 筆者の考えを捉え、話し合って自分の考えを深める。 3 文章と図表とを結びつけて内容を捉え、図表の効果を考える。 4文章を読んで理解したことと、知識や経験とを結びつけて、考えを広げる。
(知及技) 敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使う。 (知・技 (1) カ)	(知・技) ・敬語のはたらきについて理解し、話や文章の中で使っている。((1) カ) ・言葉には、相手の行動を促すはたらきがあることに気づいている。((1) ア) (主学) ・進んで敬語のはたらきについて理解し、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	言葉発見3 敬語の意味と種類	1 「丁寧語」「尊敬語」「謙譲語」の違いを理解する。 2 「確かめよう」の課題に取り組む。
(思判表力) 資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫する。(Aウ) ・自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫する。(Aイ)	(知・技) ・話や文章の構成や展開について理解を深めている。((1) オ) ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2) ア) (思・判・表) ・「話すこと・聞くこと」において、資料や機器を用いるなどして、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(Aウ) ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(Aイ) (主学) ・積極的に資料や機器を用い、学習の見通しをもって説明や提案をしようとしている。	プレゼンテーション 資料や機器を活用して効果的に発表する	1 社会生活の中から題材を決め、内容を考える。 2 聞き手にわかりやすく伝えるために必要な情報を収集する。 3 資料や機器を効果的に活用して表現を工夫する。 4 相手や目的に応じた伝え方を工夫してプレゼンテーションを行う。
(知及技) 常用漢字の読み・書きについて理解を深める。(知・技 (1) ウ)	(知・技) ・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1) ウ) ・抽象的な概念を表す語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1) エ) (主学) ・進んで常用漢字について理解を深め、学習したことを生かして課題に取り組もうとしている。	漢字を身につけよう 4	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。

(知及技) それぞれの作品の特徴を生かして音読し、古典に親しむ。(知・技(3)ア) (思判表力) 文章を読んで考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを深める。(Cオ)	(知・技) ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ) (思・判・表) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ) (主学) ・進んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	枕草子・徒然草	1 本文を通読し、内容を捉える。 2 「枕草子」について、筆者のものの見方や感じ方を捉える。 3 「徒然草」について、筆者のものの見方や感じ方を捉える。 4 古人の心情を現代の自分たちとの対比の中で読み取る。
(知及技) 語句の意味に注意しながら音読し、古典のものの見方や感じ方を捉える。(知・技(3)ア) (思判表力) 場面の展開や状況を捉え、表現や構成の工夫と効果について考える。(Cエ)	(知・技) ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ) (思・判・表) ・「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(Cエ) (主学) ・進んで文章の構成や論理の展開などを捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	平家物語	1 語句の意味に注意しながら音読し、古典のリズムを味わう。 2 場面や状況を捉え、登場人物の行動や心情について考えを共有する。 3 古典に表れたものの見方や考え方を捉え、自分の考えをまとめる。
(知及技) 語句の意味に注意しながら音読し、漢詩の表現やリズムを捉える。(知・技(3)ア) (思判表力) 漢詩の表現が、描かれた情景の中で果たす効果について考える。(Cエ)	(知・技) ・作品の特徴を生かして朗読するなどして、古典の世界に親しんでいる。(3)ア) ・現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。(3)イ) (思・判・表) 「読むこと」において、観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(Cエ) (主学) ・進んで文章の構成や表現の効果について考え、学習課題にそって考えたことを伝え合っている。	漢詩の世界	1 漢詩の表現やリズムを捉え、読み味わう。 2 作者の状況を捉え、心情を想像する。 3 描かれた情景を捉え、表現の効果を考える。
(思判表力) 文章と図表などを結びつけて複数の情報を解釈する。(Cイ・Cウ) 情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し、伝えたいことを明確にする。(Bア)	(知・技) ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。((2)ア) ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ) (思・判・表) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。(Bア) ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ) ・「読むこと」において、目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。(Cイ) ・「読むこと」において、文章と図表などを結びつけ、その関係をふまえて内容を解釈している。(Cウ) (主学)	マンガ 情報の扱い方 一〇〇年後の水を守る 飲み水は不足しているか 水問題に関する資料 投稿文	1 本単元の目標と活動をつかみ、因果関係に注目することの大切さを理解する。 2 資料A「一〇〇年後の水を守る」を読み、筆者の考える水不足の原因と対応策を捉える。 3 資料B「飲み水は不足しているか」を読み、筆者の考える水不足の原因を捉え、その対応策を解釈する。 4 資料A・Bと資料C「水問題に関する資料」とを関連づけ、水問題についての考えを広げる。 5 水問題に対する自分の考えを明確にし、原因や具体例、対応策の情報を集める。 6 投稿文の構成や効果的な書き方を学ぶ。 7 学んだ構成や書き方を生かして、投稿文を書く。 8 投稿文を交流し、学習の成果を振り返る。

(思判表力) 詩の表現技法とその効果を理解し、描かれた情景を読み取る。(C工) ○眼前に展開する自然の姿を捉え、想像豊かに朗読する。(Cオ)	(知・技) ・類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 (1)工 (思・判・表) ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(C工) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ) (主学) ・進んで表現の効果について考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	大阿蘇	1 描かれた情景を想像して音読し、眼前に展開する自然の姿を捉える。 2 詩の表現技法とその効果を理解し、想像豊かに朗読する。
(思判表力) 主人公の言動に着目し、その意図や心情を読み深める。(Cイ) 登場人物の人物像と相互関係を捉える。(Cア)	(知・技) ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。(2)イ (思・判・表) ・「読むこと」において、登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。(Cイ) ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えている。(Cア) (主学) ・進んで登場人物の言動の意味などについて考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	小さな手袋	1 作品の設定と時間の流れを捉え、できごとを整理する。 2 登場人物の人物像と相互関係を捉える。 3 登場人物の心情について考える。 4登場人物の言動に着目し、その意図や心情を読み深める。
(思判表力) 作品の魅力や特徴が効果的に伝わるように、展開や描写などを工夫して書く。(Bイ) 作品を読み合い、表現の工夫やもとの作品の生かし方などについて意見を交流し、自分の考えを広げる。(Bオ)	(知・技) ・抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)工 (思・判・表) ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(Bイ) ・「書くこと」において、表現の工夫とその効果などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ) (主学) ・粘り強く文章の構成や展開を工夫し、学習の見通しをもって感じたことや想像したことを書くようとしている。	創作文 読みたくなるしくみを工夫する	1 創作のもとにする作品と創作コースを選ぶ。 2 作品の魅力や特徴について研究する。 3 作品の特徴や魅力が伝わるように創作する。 4 作品を発表し、意見交流を通して考えを広げる。
(知及技) 本には、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かす。(知・技(3)工) (思判表力) 自分の考えが明確になるように、話の構成を工夫する。(Aイ)	(知・技) 本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを知り、自分の考えを広げたり深めたりする読書に生かしている。(3)工 (思・判・表) ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。(Aイ) ・「話すこと・聞くこと」において、異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア) (主学) ・積極的に話の構成を工夫し、学習の見通しをもって提案しようとしている。	読書活動 ビブリオバトル	1 話の構成を工夫して、紹介する内容をまとめる。 2 ビブリオバトルを行う。

3 学 期	35	(思判表力) 文章の全体と部分との関係や、主張と例示との関係に注意して、筆者の主張を捉える。(Cア) 動物園に関する筆者の主張について、知識や経験と結びつけて自分の考えを深める。(Cオ)	(知・技) ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) (思・判・表) ・「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。(Cア) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ) (主学) ・進んで主張と例示との関係などを捉え、学習課題にそって理解したことを説明しようとしている。	動物園でできること	1 文章全体の構成と要旨を捉える。 2 「学びの場」としての動物園の取り組みについて、本文の内容を整理する。 3 主張と例示の関係に注意して、筆者の主張を捉える。 4 筆者の主張について、自分の考えを深める。
		(思判表力) ・伝えたい事柄がわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開を工夫して書く。(Bイ) ・根拠の適切さや表現の効果を考えて説得力のある文章を書く。(Bウ)	(知・技) ・話や文章の構成や展開について理解を深めている。((1)オ) ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) (思・判・表) ・「書くこと」において、伝えたいことがわかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。(Bイ) ・「書くこと」において、根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(Bウ) (主学) ・粘り強く自分の考えが伝わるように工夫し、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。	論説文 構成を工夫して考えを伝える	1 課題について、自分の考えをまとめる。 2 伝えたい事柄がわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開を工夫する。 3 根拠の適切さや表現の効果を考えて説得力のある文章を書き、読み合う。
		(思判表力) 文章の構成や展開に即して人物の心情を捉え、表現の効果について考える。(C工) 登場人物の人物像について、自分の考えを広げたり深めたりする。(Cオ)	(知・技) ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) (思・判・表) ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。(C工) ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結びつけ、自分の考えを広げたり深めたりしている。(Cオ) (主学) ・進んで登場人物の表現の効果について考え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	走れメロス	1 人物設定と物語の展開を捉える。 2 場面の展開に即して人物の心情を捉え、表現の効果について考える。 3 王の心情や人物像の変化を捉える。 4 登場人物の人物像について考えを深める。
		(思判表力) 集めた材料を整理し、伝える内容を検討するために編集会議を開き、話し合って考えをまとめる。(Aア) 地域の特色などについて、取材や調査で集めた情報を、効果的な表現になるように工夫して文章を整える。(B工)	(知・技) ・意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。((2)ア) ・情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解し使っている。((2)イ) (思・判・表) ・異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(Aア) ・「書くこと」において、読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。(B工) (主学) ・積極的に伝え合う内容を検討し、粘り強く表現の効果などを確かめ、学習の見通しをもって情報誌を作ろうとしている。	情報誌 地域の魅力を振り返って	1 編集会議を開き、企画を立てる。 2 情報収集を行い、レイアウトを決める。 3 記事を書いて誌面を作り、発表会を開く。
留意点 引継ぎ等		年間を通して ・習熟度に合わせた漢字の読み書きや、作品の音読練習に取り組む。 ・「書く」、「読む」領域における教材は、生徒の実態および興味・関心に応じて取り入れるものとし、副読本および課題プリントを活用した家庭学習の指導を基本とする。 ・特に「読む」領域では、人物の心情についての読み取りを重点的に行い、感情に関する語彙を増やしていく。 ・「言葉発見」や「漢字を身につけよう」「文法」などは生徒の興味・関心に応じて取り入れる。			

令和7年度 中学部 3年（I課程） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	中学部3年		現代の国語3（三省堂）

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。 (思判表力) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (学・人) 言葉が持つ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	38	(思判表力)詩に表れているものの見方や考え方について考える。(Cイ) 詩にこめられた作者の思いを捉え、言語生活について自分の意見をもつ。(C工)	(知・技) ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) (思・判・表) ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C工) (主学) ・進んで文章に表れているものの見方や考え方を捉え、学習課題にそって考えを伝え合おうとしている。	言の森	1 詩に描かれた情景を読み取り、内容を理解する。 2 詩にこめられた作者の思いを捉え、自分の意見をもつ。
		(思判表力) 回想する語り手の思いを捉え、それに基づいて自分の考えをもつ。(Cア) 小説の構成や場面の展開を捉え、その効果を評価する。(Cウ)	(知・技) ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) (思・判・表) ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、物語の展開の仕方などを捉えている。(Cア) ・「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ) (主学) ・進んで物語の展開の仕方などを捉え、学習課題にそって批評しようとしている。	握手	1 小説の構成や場面の展開を捉える。 2 登場人物のしぐさに着目して、心情を捉える。 3 過去を回想する語り手の思いを捉え、自分の考えをもつ。 4 小説の構成や場面の展開の効果を評価する。
		(思判表力) 批判的に読む方法について理解する。(Cウ)	間の文化とあわせて評価する	「批判的に読む」とは	1 批判的に読む方法について理解し、文章の構成や表現の仕方について評価する。

(思判表力) 文章の構成や論理の展開の仕方を捉え、評価する。(Cウ) 「間」や「和」を観点にして、日本文化についての自分の考えを深める。(Cイ)	(知・技) ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2) ア) (思・判・表) ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価している。(Cウ) ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) (主学) ・進んで文章の構成や表現の仕方について評価し、学習課題にそって考えをまとめようとしている。	間の文化	1 文章の構成や論理の展開の仕方を捉える。 ・本文を通読し、内容を捉える。 2 文章の構成や論理の展開の仕方を評価する。 3 「間」や「和」を観点にして、日本文化についての自分の考えを深める。
(思判表力) 俳句のきまりや表現の特徴をもとに、俳句についての理解を深める。(Cウ) 語句に注意して情景を豊かに想像し、俳句を読み味わう。(C工)	(知・技) ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2) ア) (思・判・表) ・「読むこと」において、文章の構成や表現の仕方について評価している。(Cウ) ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C工) (主学) ・進んで文章の構成や表現の仕方について評価し、学習課題にそって批評しようとしている。	俳句の世界／俳句十句	1 俳句のきまりや表現の特徴をもとに、俳句についての理解を深める。 2 語句に注意して情景や心情を捉え、俳句を読み味わう。 3 表現の工夫や効果をふまえて俳句の魅力を伝え合う。
(思判表力) 読み手を説得できるような論理の展開を考え、構成を工夫して書く。(Bイ) 論理の展開や表現の仕方・工夫などについて意見を交流し、自分の文章のよい点や改善点を見いだす。(Bオ)	(知・技) ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2) ア) (思・判・表) ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(Bイ) ・「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ) (主学) ・粘り強く論理の展開を考え、自分の文章のよい点や改善点を見だし、学習の見通しをもって批評しようとしている。	批評文	1 社会生活の中から批評の対象を決める。 2 対象となる物事を観察・分析する。 3 読み手を説得できるように構成を工夫して批評文を書く。 4 論理の展開や表現の仕方について意見を交流する。
(思判表力) 人間や社会について思いをめぐらせ、自分の考えをもつ。(C工) 話題とそれに対する筆者の見方に着目して内容を読み取り、筆者の思いを捉える。(Cイ)	(知・技) ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2) ア) (思・判・表) ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C工) ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) (主学) ・進んで考えを広げたり深めたりして自分の意見をもち、学習課題にそって討論しようとしている。	海を越えた故郷の味	1筆者の思いを捉える。 2人間や社会について思いをめぐらせ、話し合っ自分の考えをもつ。

2 学 期		(知及技) 自分の生き方や社会との関わり 方を支える読書の意義と効用 について理解し、読書を通して考 えを広げたり深めたりする。 (知・技 (3) オ、C工)	(知・技) ・自分の生き方や社会との関わり 方を支える読書の意義と効用 について理解している。((3) オ) (思・判・表) ・「読むこと」において、文章 を読んで考えを広げたり深めたり して、人間、社会、自然など について、自分の意見をもって いる。(C工) (主学) ・進んで人間、社会、自然など について自分の意見をもち、学 習したことを生かして実生活へ の生かし方を考えている。	言葉は傘	1 教材文を読み、感想を交流する。 2 本を選んで読み、自分の考えを広げたり深めたり する。
		(知及技) 常用漢字の読み・書きについて 理解を深める。(知・技 (1) ア)	(知・技) (思・判・表) (主学)	漢字を身につけよう ①②③	1 中学校で学習する漢字を読む。 2 中学校で新しく学習する読みを学ぶ。
	42	(思判表) 文章を批判的に読み、筆者のもの の見方や考え方を捉える。 (Cイ) フロンに対する筆者の主張を捉 え、科学と社会との関係につい て自分の考えを広げる。(C 工)	(知・技) ・具体と抽象など情報と情報と の関係について理解を深めてい る。((2) ア) (思・判・表) ・「読むこと」において、文章 を批判的に読みながら、文章に 表れているものの見方や考え方 について考えている。(Cイ) ・「読むこと」において、文章 を読んで考えを広げたり深めたり して、人間、社会、自然など について、自分の意見をもって いる。(C工) (主学) ・進んで文章を批判的に読み、 学習課題にそって考えをまとめ ている。	フロン規制の物語 ——〈杞憂〉と〈転ばぬ 先の杖〉のはざままで	1 文章全体の構成と概要を捉える。 2 異なる立場の説明を読み比べ、筆者のものの 見方や考え方を捉える。 3 文章を批判的に読む。 4 社会と科学の関係について自分の考えを広げ る。
		(知及技) 言葉の選び方による伝わり方や 与える印象などの違いについて 理解を深める。(知・技 (1) ウ)	(知・技) ・話や文章の種類とその特徴に ついて理解を深めている。 ((1) ウ) (主学) ・進んで話や文章の種類とその 特徴について理解を深め、学習 したことを生かして課題に取り 組もうとしている。	文法の窓 表現につながる文法	1 「文法の窓」で文末の表現について考える。 2 「文法のまとめ」「表現につながる文法」に ついて理解を深める。 3 「確認しよう」の課題に取り組む。
		(思判表力) 自分の考えがわかりやすく伝わ るように、状況に応じて表現を 工夫する。(Aウ) ○目的や場面に応じて、社会生 活の中から話題を決める。(A ア)	(知・技) ・具体と抽象など情報と情報と の関係について理解を深めてい る。((2) ア) (思・判・表) ・「話すこと・聞くこと」にお いて、場の状況に応じて言葉 を選ぶなど、自分の考えがわかり やすく伝わるように表現を工夫 している。(Aウ) ・「話すこと・聞くこと」にお いて、目的や場面に応じて、社 会生活の中から話題を決めてい る。(Aア) (主学) ・積極的に場の状況に応じて表 現を工夫し、学習の見通しを もって話そうとしている。	パブリックスピーキング 状況に応じて 話す力を養う	1 社会生活の中から題材を探し、論理の展開な どを考えて、話の構成を工夫する。 2 自分の考えが伝わるように、状況に応じて表 現を工夫する。
		(思判表力) ・和歌の形式や表現の特徴を捉 え、その効果について評価す る。(Cウ) ・和歌が詠まれた背景を想像し ながら、情景や心情を読み取 る。(知・技 (3) ア)	(知・技) ・歴史的背景などに注意して古 典を読むことを通して、その世 界に親しんでいる。((3) ア) (思・判・表) ・「読むこと」において、文章 の構成や表現の仕方について評 価している。(Cウ) (主学) ・進んで表現の仕方について評 価し、学習課題にそって考えを 伝え合おうとしている。	和歌の世界 ——万葉集・古今和歌 集・ 新古今和歌集 コラム 和歌がつなぐ思い	1 和歌が詠まれた背景を想像しながら、情景や 心情を読み取る。 2 和歌の形式や表現の特徴を捉える。 3 和歌の表現の効果について理解し、鑑賞文に まとめる。

		(思判表力) 現代と比較するなどして、文章に表れている作者のものの見方や考え方を捉える。(Cイ) 歴史的背景などに注意して古文を読み、古典の世界に親しむ。 (知・技(3)ア)	(知・技) ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3) ア) (思・判・表) ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(Cイ) (主学) ・進んでもものの見方や考え方について考え、学習課題にそって考えたことを伝え合おうとしている。	おくのほそ道	1 表現やリズムを意識して、古文を音読する。 2 歴史的背景などに注意して、作者のものの見方や考え方を捉える。 3 優れた表現や文体の特徴に着目しながら、作品を読み深める。
3 学期	25	(知及技) 孔子のものの見方や考え方が表れている一節を引用し使う。 (知・技(3)イ) (思判表力) 「論語」の言葉をきっかけにして、生き方や学び方について自分の考えをもつ。(Cエ)	(知・技) ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。((3) ア) ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。((3) イ) (思・判・表) ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(Cエ) (主学) ・進んで人間や社会などについて自分の意見をもち、学習課題にそって文章にまとめようとしている。	論語 漢文の読み方 訓読の仕方の確認	1 漢文の響きやリズムに注意しながら読み、孔子のものの見方や考え方を捉える。 2 「論語」の言葉をきっかけにして、生き方や学び方について自分の考えをもつ。
		(思判表力) 日常生活や社会生活の中から題材を決めて、自分の考えを文章にまとめる。(Bア) 文章を読み合って、お互いの表現のよい点を見つける。(Bオ)	(知・技) ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1) イ) (思・判・表) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決めている。(Bア) ・「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などをふまえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(Bオ) (主学) ・粘り強く目的や意図に応じて題材を決め、学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。	漢字一字 自分自身や社会を見つめる	1 日常生活や社会生活の中から題材を決めて、自分の考えを文章にまとめる。 2 文章を読み合って、お互いの表現のよい点を見つける。
留意点 引継ぎ等		年間を通して ・習熟度に合わせた漢字の読み書きや、作品の音読練習に取り組む。 ・「書く」、「読む」領域における教材は、生徒の実態および興味・関心に応じて取り入れるものとし、副読本および課題プリントを活用した家庭学習の指導を基本とする。			

令和7年度 中学部 2年(Ⅰ課程) 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
3/105		中学部2年			帝国書院 中学生の歴史
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。また、資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けている。 (思判表力) 時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。 (学・人) 過去を継承しつつ、現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知及技) 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、ヤマト王権による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成されていったことを理解する。 (思判表力) 仏教の伝来とその影響、かな文字の成立などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 (学・人) 古代までの日本について、そこに見られる課題を主体的に追究する。	(知及技) 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、ヤマト王権による統一の様子と東アジアとの関わりなどを基に、東アジアの文明の影響を受けながら日本で国家が形成されていったことを理解している。 (思判表力) 仏教の伝来とその影響、かな文字の成立などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 (学・人) 古代までの日本について、そこに見られる課題を主体的に追究しようとしている。	●古代国家の成立	・年代の表し方と時代区分 ・縄文から弥生への変化 ・ヤマト王権と仏教伝来 ・律令国家と天平文化 ・発展する天皇、貴族の政治
		(知及技) 鎌倉幕府の成立、蒙古襲来(元寇)などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、南北朝の争乱と室町幕府、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解する。 (思判表力) 中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 (学・人) 中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	(知及技) 鎌倉幕府の成立、蒙古襲来(元寇)などを基に、武士が台頭して主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったこと、南北朝の争乱と室町幕府、琉球の国際的な役割などを基に、武家政治の展開とともに、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解している。 (思判表力) 中世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 (学・人) 中世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	●武家政権の成長	・武士の世の始まり ・鎌倉を中心とした武家政権 ・南北朝の内乱と新たな幕府 ・琉球とアイヌの人々がつながり交易 ・全国に広がる下克上 ・庶民に広がる室町文化 ・1学期の振り返り
2 学期	42	(知及技) ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつくられたことを理解する。 江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。 産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解する。 (思判表力) 近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現する。 (学・人) 近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	(知及技) ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつくられたことを理解している。 江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 (思判表力) 近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。 (学・人) 近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	●武家政権の発展	・戦乱から全国統一へ ・幕藩体制の始まり ・朱印船貿易から貿易統制へ ・琉球王国とアイヌの人々への支配 ・身分制の下での暮らし ・上方で栄えた町人の元禄文化 ・繰り返される要求と改革 ・江戸の庶民が担った化政文化

		(知及技) 開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、日本の国際的な地位が向上したことを理解する。 (思判表力) 工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響などに着目して、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 (学・人) 近代前半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	(知及技) 開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、日本の国際的な地位が向上したことを理解している。 (思判表力) 工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響などに着目して、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 (学・人) 近代前半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	●近代国家への歩み	・開国と幕府の終わり ・明治政府による改革 ・富国強兵を目指して ・沖縄、北海道と近代化の波 ・自由民権と帝国憲法 ・アジアの列強を目指して
3 学期	26	(知及技) 第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、日本国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢および日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解する。 (思判表力) 戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと日本との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現する。 (学・人) 近代後半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する。	(知及技) 第一次世界大戦の背景とその影響、民族運動の高まりと国際協調の動き、日本国民の政治的自覚の高まりと文化の大衆化などを基に、第一次世界大戦前後の国際情勢および日本の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解している。 (思判表力) 戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと日本との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 (学・人) 近代後半の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	●二度の世界大戦と日本	・第一次世界大戦の拡大と日本 ・高まるデモクラシーの意識 ・戦争に向かう世論 ・第二次世界大戦への道 ・敗戦から立ち直る日本 ・これからの世界と日本
留意点 引継ぎ等		生徒の理解度に応じて学習を進めること。			

令和7年度 中学部 3年(Ⅰ課程) 社会科 年間指導計画

単位数 /配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2/70		中学部3年			帝国書院 中学生の公民
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 個人の尊厳と人権の尊重の意義を正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて理解を深める。 (思判表力) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明する力を養う。 (学・人) 現代の社会的事象について、主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、国民主権を担う公民としてその平和と繁栄を図ることや、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解する。また、現代社会における文化の意義や影響について理解する。 (思判表力) 少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について考察し、表現する。 (学・人) 私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	(知・技) 現代日本の特色として少子高齢化、情報化、グローバル化などが見られることについて理解している。 現代社会における文化の意義や影響について理解している。 (思・判・表) 位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、少子高齢化、情報化、グローバル化などが現在と将来の政治、経済、国際関係に与える影響について考察し、表現している。 (主学) 私たちが生きる現代社会と文化の特色について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	●現代社会と文化	・情報化が進む現代 ・グローバル化が進む現代 ・少子高齢化が進む現代 ・私たちの生活と文化 ・日本の伝統と文化
		(知及技) 人間は本来社会的存在であること、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解する。また、対立と合意、効率と公正などについて理解する。 (思判表力) 社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について考察し、表現する。 (学・人) 現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	(知・技) 人間は本来社会的存在であること、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任について理解している。 対立と合意、効率と公正などについて理解している。 (思・判・表) 社会生活における物事の決定の仕方、契約を通した個人と社会との関係、きまりの役割について考察し、表現している。 (主学) 現代社会を捉える枠組みについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	●現代社会をとらえる枠組み	・社会的存在として生きる ・効率と公正 ・私たちときまり ・1学期の振り返り
2 学期	28	(知及技) 日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていること、日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。 (思判表力) 我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考察し、表現する。 (学・人) 人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	(知・技) 日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本的原則としていることについて理解している。 日本国及び日本国民統合の象徴としての天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解している。 (思・判・表) 我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意義について考察し、表現している。 (主学) 人間の尊重についての考え方や日本国憲法の基本的原則などについて、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	●日本国憲法	・民主主義と日本国憲法 ・基本的人権の尊重 ・法の支配を支えるしくみ
		(知及技) 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みのや議会制民主主義の意義、国民の権利を守り社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があること、地方自治の基本的な考え方について理解する。 (思判表力) 民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について考察し、表現する。 (学・人) 民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	(知・技) 国会を中心とする我が国の民主政治の仕組みや議会制民主主義の意義を理解している。 国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解している。 地方公共団体の政治の仕組み、住民の権利や義務について理解している。 (思・判・表) 民主政治の推進と、公正な世論の形成や選挙など国民の政治参加との関連について考察し、表現している。 (主学) 民主政治と政治参加について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	●民主政治	・民主政治と私たち ・国の政治のしくみ ・地方自治と私たち ・2学期の振り返り

3 学 期	17	(知及技) 身近な消費生活を中心に経済活動の意義、市場経済の基本的な考え方、現代の生産や金融などの仕組みや働き、勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の内容について理解する。 (思判表力) 個人や企業の経済活動における役割と責任、社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について考察し、表現する。 (学・人) 市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的社会に関わろうとする。	(知・技) 身近な消費生活を中心に経済活動の意義について理解している。 市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決め方や資源の配分について理解している。 現代の生産や金融などの仕組みや働きを理解している。 勤労の権利と義務、労働組合の意義及び労働基準法の内容について理解している。 (思・判・表) 個人や企業の経済活動における役割と責任について考察し、表現している。 社会生活における職業の意義と役割及び雇用と労働条件の改善について考察し、表現している。 (主学) 市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的社会に関わろうとしている。	●市場経済	・私たちの生活と経済 ・消費者と経済 ・企業と経済 ・これからの日本経済
		(知及技) 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解する。また、財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解する。 (思判表力) 市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について考察し、表現する。また、財政及び租税の役割について考察し、表現する。 (学・人) 国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	(知・技) 社会資本の整備、公害の防止など環境の保全、少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、消費者の保護について、それらの意義を理解している。 財政及び租税の意義、国民の納税の義務について理解している。 (思・判・表) 市場の働きに委ねることが難しい諸問題に関して、国や地方公共団体が果たす役割について考察し、表現している。 財政及び租税の役割について考察し、表現している。 (主学) 国民の生活と政府の役割について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	●財政	・私たちの生活と財政 ・国の支出と収入 ・社会資本の役割と環境への取り組み
		(知及技) 領土(領海、領空を含む。)、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解する。また、地球環境、資源・エネルギー、貧困などの現代社会に見られる諸課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解する。 (思判表力) 私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述する。 (学・人) 私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。	(知・技) 領土(領海、領空を含む。)、国家主権、国際連合の働きなど基本的な事項について理解している。 地球環境、資源・エネルギー、貧困などの課題の解決のために経済的、技術的な協力などが大切であることを理解している。 (思・判・表) 私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを説明、論述している。 (主学) 私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとしている。	●国際社会	・紛争のない世界へ ・貧困解消と環境保全 ・持続可能な社会を目指して
留意点 引継ぎ等		生徒の理解度に応じて学習を進めること。			

令和7年度 中学部 2年（I課程） 数学科 年間指導計画

単位数／配当 時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	中学部2年		東京書籍 新しい数学2
目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度			

年間目標		(知及技) ・基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (思判表力) ・数量の関係や法則などを考察したりする力、図形について直感的に捉え論理的に考察し表現する力、表・式・グラフを考察する力、データの傾向を批判的に考察して判断したりする力を養う。 (学・人) ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを生活に活かそうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知及技) ・文字を用いて表す必要性を理解する。 (思判表力) ・多項式の計算ができる。 (学・人) ・式の値をくふうして求めることができる。	(知・技) ・目的に応じて、簡単な式を変形することができる。 (思・判・表) ・文字を使った式を活用して具体的な場面を考察し表現することができる。 (主学) ・文字を使った式の必要性和意味を考えようとしている。	1章 文字式を使い説明する 1節 式の計算 1 多項式の計算	○1年で学習した同類項をまとめる計算を振り返って、2つの文字をふくむ計算について考える。 ○同類項や多項式の加法や減法の計算をする。
				2 単項式の乗法と除法	○単項式どうしの乗法と除法の混じった式を計算する。 ○式の値をくふうして求める方法を考え、その方法で式の値を求める。
		(知及技) ・目的に応じて等式を変形することの必要性を理解する。 (思判表力) ・等式を変形して、ある文字について解くことができる。 (学・人) ・数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。	(知・技) ・文字を使うと数の性質を説明することができることを理解している。 (思・判・表) ・数の性質が成り立つことを、文字を使って説明することができる。 (主学) ・文字を使った式について学んだことを生活に生かそうとしている。	2節 文字式の利用 1 式による説明	○3つの続いた整数の和は3の倍数であることを、文字を使って説明する。 ○2けたの自然数と、その数の一の位と十の位を入れかえた数との和の性質を予想する。
				2 等式の変形	○具体的な問題の中の数量の間の関係を等式で表し、その等式を成り立たせる文字の値を求める。 ○等式を変形して、ある文字について解く。
2 学期	42	(知及技) ・求めたい数量が2つある問題を解決する方法を理解する。 (思判表力) ・加減法、代入法を理解し、それを用いて問題を解ける。 (学・人) ・既習の1元1次方程式などを活用して解決することができる。	(知・技) ・2元1次方程式とその解の意味を理解している。 (思・判・表) ・連立2元1次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 (主学) ・連立2元1次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	2章 方程式で問題を解決 1節 連立方程式 1 連立方程式の利用	○3点シュートと2点シュートの本数を、すべての組み合わせを調べたり、1次方程式をつくったりして求める。
				2 連立方程式の解法	○具体的な問題で、2つの式を比べて1つの文字を消去する方法を考える。
				3 いろんな連立方程式	○（ ）や係数に小数や分数を含む連立方程式を解く
		(知及技) ・個数や代金を文字で表せる。 (思判表力) ・個数と代金に関する問題を、連立方程式を利用して解決することができる。 (学・人) ・いろんな解法を試みようとする。	(知・技) ・具体的な問題の中の数量やその関係に着目し、連立方程式をつくることができる。 (思・判・表) ・求めた解が問題に適しているかどうかを確かめることができる。 (主学) ・問題解決の過程を振り返って、その手順を検討しようとしている。	2節 連立方程式の利用	○ケーキとプリンの個数を、連立方程式を利用して求めることについて考える。
				4章 図形の性質の調べ方 1節 説明のしくみ	○三角形の角の和が180°であることをもとにして、四角形、五角形、…などの角の和のを説明する。
					2節 平行線と角
3 学期	26	(知及技) ・樹形図や表を使って全部あげ、確率を求めることができる。 (思判表力) ・問題を整理して、確率を求めることができる (学・人) ・確率を活用した問題解決をしようとする。	(知・技) ・確率の必要性和意味及び確率の求め方を理解している。 (思・判・表) ・確率をもとにして考え、説明することができる。 (主学) ・身のまわりの事象の起こりやすさを、説明することができる。	6章 起こりやすさをとらえて説明しよう 1節 確率	○くじ、さいころ、硬貨の確率を求める。
				2節 確率による説明	○2枚のスクラッチカードの組み合わせの出やすさを、確率をもとにして考え、説明する。
				留意点 引継ぎ等	

令和7年度 中学部 3年（I課程）数学科 年間指導計画

単位数 ／ 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3／105	中学部3年		東京書籍 新しい数学3

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (思判表力) ・数量の関係や法則などを考察したりする力，図形の構成要素の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，その特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，標本と母集団の関係に着目し，母集団の傾向を推定し判断したり，調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。 (学・人) ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え，数学を生活や学習に生かそうとする態度，問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度，多様な考えを認め，よりよく問題解決しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	38	(知及技) ・数の平方根の必要性和意味を理解すること。 (思判表力) ・既に学習した計算の方法と関連付けて表現すること。 (学・人) ・数学的に考察すること。	(知・技) ・単項式で割る除法の計算をすることができる。 (思・判・表) ・式の展開や因数分解する方法を考察し表現できる。 (主学) ・展開や因数分解の必要性や意味を考えようとしている。	1節 多項式の計算	○単項式どうしの和差
				2節 因数分解	○多項式を，いくつかの式の積で表すことを考えてみよう
				3節 式の計算の利用	○速算のしくみを探ろう ○数の計算のくふうを考えてみよう
		(知及技) ・数の平方根の必要性和意味を理解すること。 (思判表力) ・平方根を含む式の計算の方法を考察し表現すること。 (学・人) ・解決の過程や結果を振り返って考察したりすること。	(知・技) ・数の平方根の必要性和意味を理解している。 (思・判・表) ・数の平方根をふくむ式の計算のができる。 (主学) ・数の平方根の必要性や意味を考えようとしている。	1節 平方根	○いろいろな面積の正方形をかいてみよう ○2乗して2になる数について調べてみよう
				2節 根号をふくむ式の計算	○新しい数の世界の計算を考えよう ○平方根の乗法や除法は，どのように計算すればよいか考えてみよう
				3節 平方根の利用	○コピー用紙はどんな長方形？
2学期	42	(知及技) ・二次方程式の必要性和意味を理解すること。 (思判表力) ・二次方程式を解く方法を考察し表現すること。 (学・人) ・数学の事象から見通しをもち考察したりすること。	(知・技) ・2次方程式の必要性和意味を理解している。 (思・判・表) ・平方根や因数分解の考えをもとに，表現できる。 (主学) ・2次方程式の必要性和意味を考えようとしている。	1節 2次方程式とその解き方	○ロープで囲んだ長方形の面積は？ ○2次の項をふくむ方程式について考えてみよう
				2節 2次方程式の利用	○畑に通路をつくろう ○2次方程式を利用して，いろいろな問題を解決してみよう
		(知及技) ・関数 $y=ax^2$ について理解すること。 (思判表力) ・関数 $y=ax^2$ を用いて表現すること。 (学・人) ・数学的に表現・処理し，考察したりすること。	(知・技) ・関数 $y=ax^2$ として捉えられるものを知っている。 (思・判・表) ・変化や対応の特徴を考察し表現することができる。 (主学) ・関数について学んだことを生活に生かそうとしている。	1節 関数 $y=ax^2$	○時間にともなって進む距離が増えていくような変化のようすを調べてみよう
				2節 関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方	○関数 $y=ax^2$ のグラフにはどのような特徴があるか調べてみよう
				3節 いろいろな関数の利用	○身のまわりの問題を，関数 $y=ax^2$ を利用して解決してみよう
		(知及技) ・円周角と中心角の関係の意味を理解すること。 (思判表力) ・円周角と中心角の関係を見いだすこと。 (学・人) ・数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合うこと。	(知・技) ・円周角と中心角の関係が証明できることを知っている。 (思・判・表) ・円周角と中心角の関係を見いだすことができる。 (主学) ・円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。	円の性質を見つけて証明しよう 1節 円周角の定理	○カメラの位置を調べよう ○弧と円周角の関係について調べてみよう ○円周角の定理の逆が成り立つかどうか調べよう
3学期	25			2節 円周角の定理の利用	○船の位置を見つけよう ○円外の点からその円への接線の作図を考えてよう ○円と交わる直線でできる図形について考えてよう
		(知及技) ・標本調査の必要性和意味を理解すること。 (思判表力) ・標本調査を行い，母集団の傾向を推定し判断すること。 (学・人) ・数学的な表現を用いて論理的に説明し伝え合うこと。	(知・技) ・コンピュータなどの情報手段を整理することができる。 (思・判・表) ・標本調査の方法や結果を批判的に考察し表現できる。 (主学) ・標本調査を活用した問題解決の過程を振り返って検討しようとする。	1節 標本調査	○どのように調査しているのかな？ ○身のまわりの調査について調べてみよう ○母集団から標本を取りだす方法について考えよう
留意点 引継ぎ等		特になし			

令和 7 年度 中学部 2 年（I 課程） 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3／105	中学部 2 年		新しい科学 2（東京書籍）

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及技) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 (思判表力) 観察,実験などを行い、科学的に探求する力を養う。 (学・人) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知及技) ●物質を分解する実験を通して、分解して生成した物質はもとの物質とは異なることを見いだして理解する。また、物質は原子や分子からできていることを理解するとともに、物質を構成する原子の種類は記号で表されることを知る。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 (思判表力) ●物質のなり立ちについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現する。 (学・人) ●物質のなり立ちに関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。	(知・技) ・化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、物質の分解、原子・分子についての基本的な概念や原理・法則などを理解していると同時に、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ・物質のなり立ちについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ・物質のなり立ちに関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。 【評価資料】 ・活動の観察(行動記録) ・学習プリント ・テスト	単元 1 化学変化と原子・分子 第1章 物質のなり立ち 第1節 ホットケーキの秘密 第2節 水の分解 第3節 物質をつくっているもの 第4節 分子と化学式 第5節 単体と化合物・物質の分類	・炭酸水素ナトリウムを加熱すると、どのような変化が起こってホットケーキがやわらかくなるのか調べる。 ・実験 1 炭酸水素ナトリウムを加熱したときの变化 ・水に電流を流すと、どのような変化が起こるのか調べる。 ・実験 2 水に電流を流したときの变化 ・どのような物質も「小さな粒子」からできているのか考える。 ・分子は、原子がどのように結びついてできているのか考える。 ・化学式からわかることは何か考える。
		(知及技) ●2種類の物質を反応させる実験を通して、反応前とは異なる物質が生成することを見いだして理解するとともに、化学変化は原子や分子のモデルで説明できること、化合物の組成は化学式で表されること、化学変化は化学反応式で表されることを理解する。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 (思判表力) ●化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現する。 (学・人) ●化学変化に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。	(知・技) ・化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解していると同時に、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ・化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ・化学変化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第2章 物質どうしの化学変化 第1節 異なる物質の結びつき 第2節 化学変化を化学式で表す	・物質と物質とが結びつく化学変化とは、どのような変化か調べる。 ・実験 3 鉄と硫黄が結びつく変化 ・化学変化を化学式を使って表すには、どのような決まりがあるのか調べる。 ・実習 1 化学変化のモデル

(知及技) ●酸化や還元の実験を通して、酸化や還元は酸素が関係する反応であることを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 (思判表力) ●化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な関係を見いだして表現する。 (学・人) ●化学変化に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。	(知・技) ・化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化における酸化と還元についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ・化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ・化学変化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第3章 酸素がかかわる化学変化 第1節 物が燃える変化	・物質が燃えるとき、どのような変化が起こっているか調べる。 ・実験4 鉄を燃やしたときの変化
(知及技) ●化学変化の前後における物質の質量を測定する実験を通して、反応物の質量の総和と生成物の質量の総和が等しいことを見いだして理解する。また、化学変化に關係する物質の質量を測定する実験を通して、反応する物質の質量の間には一定の關係があることを見いだして理解する。あわせて、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 (思判表力) ●化学変化と物質の質量について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な關係を見いだして表現する。 (学・人) ●化学変化と物質の質量に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。	(知・技) ・化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化と質量の保存、質量変化の規則性についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ・化学変化と物質の質量について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な關係を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ・化学変化と物質の質量に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第4章 化学変化と物質の質量 第1節 化学変化と質量の変化	・化学変化が起こる前と後では、物質全体の質量はどうなるか調べる。 ・実験6 化学変化の前と後の質量の変化
(知及技) ●化学変化によって熱をとり出す実験を通して、化学変化には熱の出入りがともなうことを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 (思判表力) ●化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化やその量的な關係を見いだして表現する。 (学・人) ●化学変化に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見るができるようにする。	(知・技) ・化学変化を原子や分子のモデルと関連づけながら、化学変化と熱についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ・化学変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、原子や分子と関連づけてその結果を分析して解釈し、化学変化における物質の変化を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ・化学変化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第5章 化学変化とその利用 第1節 化学変化と熱	・どのような化学変化でも、外部に熱を放出するか調べる。 ・実験8 化学変化による温度変化
(知及技) ●生物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 (思判表力) ●生物と細胞について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、生物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現する。	(知・技) ・生物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、生物と細胞についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ・生物と細胞について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を	単元2 生物のからだのつくりとはたらき 第1章 生物と細胞 第1節 水中の小さな生物	・小さな生物はどのような外形や、大きさなのか調べる。 ・観察1 水中の小さな生物の観察
		第2節 植物の細胞	・植物のからだにどのような特徴があるか、顕微鏡を使って調べる。 ・観察2 植物のからだの顕微鏡観察

		(学・人) ●生物と細胞に関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	分析して解釈し、生物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ・生物と細胞に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第3節 動物の細胞	・動物と植物の細胞には、どのような共通点と相違点があるか調べる。 ・観察3 動物の細胞の観察
		(知及技) ●植物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりとはたらきについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 (思判表力) ●植物のからだのつくりとはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、植物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現する。 (学・人) ●植物のからだのつくりとはたらきに関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	(知・技) ・植物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、葉・茎・根のつくりとはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ・植物のからだのつくりとはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、植物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ・植物のからだのつくりとはたらきに関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第2章 植物のからだのつくりとはたらき 第1節 葉と光合成	・光合成は葉の細胞の中のどこで行われているのか調べる。 ・実験1 葉の細胞の中で光合成が行われている部分
				第2節 光合成に必要なものの	・光合成でデンプンがつくられるときに、何が材料になるのか調べる。 ・実験2 光合成と二酸化炭素の関係
				第3節 植物と呼吸	・植物はいつ呼吸や光合成を行っているのか調べる。
				第4節 植物と水	・植物の吸水は蒸散とどのように関係しているのか調べる。 ・実験3 吸水と蒸散の関係
				第5節 水の通り道	・茎や葉の水の通り道はどのようなつくりをしているのか調べる。 ・観察4 水の通り道
2 学期	42	(知及技) ●動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについて理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 (思判表力) ●動物が生命を維持するはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現する。 (学・人) ●生命を維持するはたらきに関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	(知・技) ・動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、動物が生命を維持するはたらきについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ・動物が生命を維持するはたらきについて、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物の体のつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ・動物が生命を維持するはたらきに関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第3章 動物のからだのつくりとはたらき 第1節 消化のしくみ	・食物は、消化される過程で、どのように変化していくのか調べる。 ・実験4 だ液によるデンプンの変化
				第2節 吸収のしくみ	・消化された食物は、体内で、どのように吸収されていくのか考える。
				第3節 呼吸のはたらき	・細胞が養分からエネルギーをとり出すときに必要な酸素は、どのようにからだにとり入れられ、細胞に届けられるのか考える。
				第4節 血液のはたらき	・心臓がどのようにして血液を循環させているのか、血管にはどのような種類があるのか考える。
				第5節 排出のしくみ	・尿はどこで何からつくられるのか考える。 (特設ページ含む)
		(知及技) ●動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、刺激と反応について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。 (思判表力) ●刺激と反応について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物のからだのつくりとはたらきの規則性や関係性を見いだして表現する。 (学・人) ●刺激と反応に関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	(知・技) ・動物のからだのつくりとはたらきとの関係に着目しながら、刺激と反応についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ・刺激と反応について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、動物のからだのつくりとはたらきについての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ・刺激と反応に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第4章 刺激と反応 第1節 刺激と反応	・動物のからだで刺激を受けとっている器官は、どのようなものがあり、どのようなはたらきをするのか考える。
				第2節 神経のはたらき	・感覚器官で受けとられた刺激は、神経系のどこを伝わり、どのようにして反応を引き起こすのか調べる。 ・実験5 刺激に対するヒトの反応
				第3節 骨と筋肉のはたらき	・うでやあしが動くとき、骨や筋肉は、どのようなはたらきをするか調べる。

3 学 期	26	(知及技) ●気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測、霧や雲の発生などについての基本的な原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。 (思判表力) ●気象観測について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性などを見いだして表現する。 (学・人) ●気象観測に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。	(知・技) ・気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、気象要素、気象観測、霧や雲の発生などについての基本的な概念や原理・などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ・気象観測について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ・気象観測に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	単元3 天気とその変化 第1章 気象の観測 第1節 気象の観測	・気象要素と天気の変化には、どのような関係があるか調べる。 ・観察1 校内の気象観測
				第2節 大気圧と圧力	・気圧とは、何か調べる。
				第3節 気圧と風	・気圧と風には、どのような関係があるのか考える。
				第4節 水蒸気の変化と湿度	・水蒸気が水滴に変化するのがどのようなときか調べる。 ・実験1 水蒸気が水滴に変わる条件
		(知及技) ●気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化などについての基本的な原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。 (思判表力) ●天気の変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性などを見いだして表現する。 (学・人) ●天気の変化に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。	(知・技) ・気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、霧や雲の発生、前線の通過と天気の変化などについての基本的な原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ・天気の変化について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化についての規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ・天気の変化に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第2章 雲のでき方と前線 第1節 雲のでき方	・雲ができるのはなぜか調べる。 ・実験2 気圧の低いところで起こる変化
				第2節 気団と前線	・前線の周辺ではどのようなことが起こるのか考える。
		(知及技) ●気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然のめぐみと気象災害などについての基本的な原理・法則などを理解するとともに、それらの観察・実験の技能を身につける。 (思判表力) ●日本の気象、自然のめぐみと気象災害について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、天気の変化や日本の気象についての規則性や関係性を見いだして表現する。 (学・人) ●日本の気象、自然のめぐみと気象災害に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようになる。	(知・技) ・気象要素と天気の変化との関係に着目しながら、日本の天気の特徴、大気の動きと海洋の影響、自然のめぐみと気象災害についての基本的な原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ・日本の気象、自然のめぐみと気象災害について、見通しをもって解決する方法を立案して観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈し、日本の気象についての規則性や関係性、天気の変化や日本の気象との関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ・日本の気象、自然のめぐみと気象災害に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第3章 大気の動きと日本の天気 第1節 大気の動きと天気の変化	・なぜ日本付近では西から東へ天気が変わるのか考える。
				第2節 日本の天気と季節風	・日本列島付近でふく季節風がふき、冬と夏で風向が変わるのはなぜか考える。
				第3節 日本の天気の特徴	・日本の四季に生じる特徴的な天気は、どのようにして生じるのか考える。
				第4節 天気の変化の予測	・翌日の天気を予想するには、どのようにすればよいか調べる。 ・実習1 翌日の天気の予想
				第5節 気象現象がもたらすめぐみと災害	・気象現象によって、どのようなめぐみや災害がもたらされるのか考える。
		(知及技) ●静電気の性質および静電気と電流には関係があること、それらの観察、実験などに関する技能を身につける。また、静電気と放電を関連させ、放射線の性質と利用について理解する。 (思判表力)	(知・技) ・静電気と電流に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、静電気と電流の性質についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけて	単元4 電気の世界 第1章 静電気と放電 第1節 静電気と放電	・静電気には、どのような性質があるのか調べる。 ・実験1 静電気の性質

		●静電気や放電に関する経験から課題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、静電気の性質や放電について規則性や関係性を見いだして表現する。 (学・人) ●静電気に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養う。また、静電気と放電を関連させ、放射線についてもその性質と利用について関心をもつことができるようにする。	いる。 (思・判・表) ・静電気と電流について、問題を見だし見通しをもって観察、実験などを行い、静電気と電流の性質や規則性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ・静電気と電流に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第2節 電流の正体 第3節 放射線の性質と利用	・電流は、何が流れているものなのか考える。 ・放射線には、どのような性質があり、どのように利用されているか考える。
		(知及技) ●電気に関する観察、実験を通じて、回路の各点に流れる電流や、各部分の電圧について調べる技能を身につけるとともに、電流、電圧のはたらきを理解する。 (思判表力) ●電気に関する観察、実験を見通しをもって行い、電流と電圧に関する規則性や関係性を見いだして表現する。 (学・人) ●電気に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、日常生活と関連づけて考察できるようにする。	(知・技) ・電流に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、回路と電流・電圧、電流・電圧と抵抗、電気とそのエネルギーについての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ・電流に関する現象について、見通しをもって解決する方法を立案して実験などを行い、その結果を分析して解釈し、電流のはたらきを理解して、電流と電圧の規則性や関係性を見いだして表現しているなど、科学的に探究している。 (主学) ・電流に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第2章 電流の性質 第1節 電流の利用 第2節 回路に流れる電流 第3節 回路に加わる電圧 第4節 電圧と電流と抵抗 第5節 電気エネルギー	・回路に電流が流れるためには、どのような条件が必要か考える。 ・直列回路と並列回路の各点を流れる電流の大きさは、どのようになるか調べる。 ・実験2 直列回路と並列回路を流れる電流 ・直列回路や並列回路の各区間に加わる電圧は、どのようになるか調べる。 ・実験3 直列回路と並列回路に加わる電圧 ・回路に加える電圧と流れる電流の大きさには、どのような関係があるか調べる。 ・実験4 電圧と電流の関係 ・電流によって発生する熱の量は、どのような場合に大きくなるか調べる。 ・実験5 電熱線の発熱と電力の関係
		(知及技) ●磁界と磁力線との関係、電流の磁気作用に関する基本的な概念を観察、実験を通して理解するとともに、それらの観察、実験の技能を身につける。 (思判表力) ●電流と磁界に関する観察、実験を見通しをもって行い、実験結果を分析して解釈し、電流と磁界の規則性や関係性を見いだして表現する。 (学・人) ●電流と磁界に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、自然を総合的に見ることができるようにする。	(知・技) ・電流と磁界に関する事物・現象を日常生活や社会と関連づけながら、磁界と磁力線との関係、電流の磁気作用に関する基本的な概念を観察、実験を通して理解しているとともに、科学的に探究するために必要な基礎操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ・電流と磁力線との関係、電流の磁気作用について見通しをもって観察、実験などを行い、実験結果を分析して解釈し、電流と磁界の関係性を見いだして表現するなど、科学的に探究している。 (主学) ・電流と磁界に関する事物・現象に進んでかかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第3章 電流と磁界 第1節 電流がつくる磁界 第2節 モーターのしくみ 第3節 発電機のしくみ 第4節 直流と交流	・コイルのまわりの磁界のようすは、どのようになっているか調べる。 ・実験6 コイルを流れる電流がつくる磁界 ・磁界の中に入れたコイルに電流を流すと、コイルはどうなるか調べる。 ・実験7 磁界の中で電流を流したコイルのようす ・コイルと磁石で電流をつくり出すには、どのようにすればよいか調べる。 ・実験8 コイルと磁石による電流の発生 ・乾電池の電流とコンセントの電流は、どのようにちがうのか考える。
年間をとおして	9	(知識・技能) ・日常生活と関連づけながら、自然界のつり合いについて理解し、観察、実験などに関する技能を身につける。 (主体的に学習に取り組む態度) ・科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う	・沖縄の自然について自ら調べる事ができる。 ・器具をを使って実物の観察・実験をすることができる。 ・科学関係の時事的な事柄をいろいろなメディアを用いて知る事ができる) ・科学に関する疑問を解決する方法を知る事ができる	①沖縄の自然 ②科学のニュース ③学び直し	①沖縄の生き物や植物の観察、沖縄の季節の特徴(栽培、校外学習含む) ②新聞・雑誌・Web検索、ICT機器を活用した授業 ③下学年の内容
留意点 引継ぎ等		・年間を通した学習は、各学期に3時間ずつ予定しているが、生徒の実態に応じて適切にわりあてる。			

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	3 年		新しい科学 3（東京書籍）

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：A(知・技)知識・技能 B(思・判・表)思考・判断・表現 C(主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及技) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。 (思判表力) 観察,実験などを行い、科学的に探求する力を養う。 (学・人) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	21	(知及技) ●身近な酸性，アルカリ性の水溶液の例をあげ、いくつかの水溶液の性質を確かめることができる。また，中和反応の実験を通して，酸とアルカリを混ぜると水と塩が生成することを理解する。 (思判表力) ●化学変化について，見通しをもって観察，実験などを行い，イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し，化学変化における規則性や関係性を見いだして表現する。また，探究の過程をふり返る。 (学・人) ●酸性，アルカリ性の水溶液の性質に関心をもって調べ，酸性，アルカリ性それぞれの水溶液に共通する性質を科学的に探究しようとしている。	(知・技) ・身近な水溶液の性質を調べ、酸性，アルカリ性などに分類することができる。 ・酸・アルカリ，中和と塩についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 (思・判・表) ・水溶液とイオンについて，見通しをもって観察，実験などを行い，イオンと関連づけてその結果を分析して解釈し，化学変化における規則性や関係性を見いだして表現しているとともに，探究の過程をふり返るなど，科学的に探究している。 (主学) ・酸性，アルカリ性の水溶液の性質に関心をもって調べ，酸性，アルカリ性それぞれの水溶液に共通する性質を科学的に探究しようとしている。 【評価資料】 ・行動観察、記述分析 ・実験および考察 ・学習プリント ・テスト	単元1 化学変化とイオン 第2章 酸，アルカリとイオン	第1節 酸性やアルカリ性の水溶液の性質 ・酸性の水溶液やアルカリ性の水溶液には，それぞれどのような性質があるか調べる。 ・実験3 酸性，アルカリ性の水溶液の性質 第2節 酸性，アルカリ性の正体 ・酸性やアルカリ性の水溶液には，それぞれ何が共通して存在しているか調べる。 ・実験4 酸性・アルカリ性を示すものの正体 第3節 酸とアルカリを混ぜ合わせたときの变化 ・酸の水溶液にアルカリの水溶液を加えていくと，どのような変化が起きるか調べる。 ・実験5 酸とアルカリを混ぜ合わせたときの变化
2 学期	24	(知及技) ●生物の成長とふえ方について、細胞にに着目して理解するとともに、それらの観察、実験などに関する基本的な技能を身につける。 (思判表力) ●生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現する。 (学・人) ●生物の成長とふえ方に関する事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度を養う。	・生物の成長とふえ方について，細胞分裂の様子を理解しているとともに、それらの観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。 (思・判・表) ・生物の成長とふえ方について，観察，実験などを行い，その結果や資料を分析して解釈し，生物の成長とふえ方についての特徴や規則性を見いだして表現している (主学) ・生物の成長とふえ方に関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	単元2 生命の連続性 第1章 生物の成長と生殖	第1節 生物の成長と細胞の変化 ・生物が成長するとき，細胞はどのように変化するのか調べる。 ・観察1 体細胞分裂の観察 第2節 無性生殖 ・無性生殖は，どのような生殖か考える。 第3節 有性生殖 ・有性生殖は，どのような生殖か考える。 ・観察2 花粉管の伸長 第4節 染色体の受けつがれ方 ・親から子へ染色体が受けつがれていくときには，どのような決まりがあるのか考える。
		(知及技) ●エンドウを使ったメンデルの交配実験について，メンデルが行った方法や，その結果を理解する。 (思判表力) ●ハムスターの例をもとに，遺伝の規則性についての課題を見いだすことができる。 (学・人) ●遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとする力を養う。	(知・技) ・エンドウを使ったメンデルの交配実験について，メンデルが行った方法や，その結果を理解している。 (思・判・表) ・ハムスターの例をもとに，遺伝の規則性についての課題を見いだし，表現している。 (主学) ・遺伝の規則性と遺伝子に関する事物・現象に進んでかかわり，見通しをもったりふり返ったりするなど，科学的に探究しようとしている。	第2章 遺伝の規則性と遺伝子	第1節 遺伝の規則性 ・親の形質は，どのようにして子や孫に受けつがれるのか考える。 ・実習1 遺伝子の組み合わせ 第2節 水中から陸上へ ・陸上で生活するセキツイ動物はどのように進化してきたのか考える。 第3節 さまざまな進化の証拠 ・進化の証拠には，どのようなものがあるのか考える。 第4節 進化と多様性 ・進化と地球上の生物の多様性には，どのような関係があるのか考える。

		(知及技) ●セキツイ動物が出現した時期や、生物の進化について知る。 (思判表力) ●生物の種類の多様性と進化についての特徴や規則性を見いだして表現する。 (学・人) ●生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んでかわり、科学的に探究しようとする態度を養う。	(知・技) ・セキツイ動物が出現した時期や、生物の進化について理解している。 (思・判・表) ・生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象の特徴に着目しながら、生物の種類の多様性と進化についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 (主学) ・生物の種類の多様性と進化に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	第3章 生物の多様性と進化	第1節 生物の歴史 ・110, 111ページの図とセキツイ動物の5つのグループの特徴を関連づけて比較すると、どのようなことがわかるか考える。 第2節 水中から陸上へ ・陸上で生活するセキツイ動物はどのように進化してきたのか考える。 第3節 さまざまな進化の証拠 ・進化の証拠には、どのようなものがあるのか考える。 第4節 進化と多様性 ・進化と地球上の生物の多様性には、どのような関係があるのか考える。
		(知及技) ●運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、運動の速さと向き、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。 (思判表力) ●物体の運動について、観察、実験を行い、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現することができる。 (学・人) ●物体の運動に関する事物・現象に進んで関わろうとする態度を養う。	(知・技) ・運動の規則性を日常生活や社会と関連づけながら、運動の速さと向き、力と運動についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 (思・判・表) ・物体の運動について、観察、実験を行い、物体の運動の規則性や関係性を見いだして表現している。 (学・人) ●物体の運動に関する事物・現象に進んでかわり、見通しをもったり振り返ったりしている。	単元3 運動とエネルギー 第1章 物体の運動	第1節 物体の運動の記録 ・水平面上で移動する物体の運動を記録タイマーで記録すると、何がわかるか調べる。 ・実験1 水平面上での台車の運動 第2節 物体の運動の速さの変化 ・物体の運動の速さの変化をくわしく調べるには、どうすればよいか考える。 第3節 だんだん速くなる運動 ・物体がだんだん速くなる運動に、力はどのように関係しているか調べる。 ・実験2 斜面上での台車の運動 第4節 だんだんおそくなる運動 ・物体の運動の向きとは逆向きに一定の力がはたらき続けるとき、物体の速さはどのように変化するか考える。
3 学期	16	(知及技) ●身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解する。 (思判表力) ●太陽系と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現する。また、探究の過程をふり返る。 (学・人) ●天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかわり科学的に探究しようとする態度を養う。	(知・技) ●身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、日周運動と自転、年周運動と公転についての基本的な概念や原理・法則などを理解している。 (思・判・表) ●太陽系と恒星について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解釈し、太陽系と恒星についての特徴や規則性を見いだして表現している。また、探究の過程をふり返り気付いたことを表している。 (主学) ●天体の動きと地球の自転・公転に関する事物・現象に進んでかわり科学的に探究している。	単元4 地球と宇宙 第1章 地球の運動と天体の動き	第1節 太陽の1日の動き ・太陽は、1日でどのように動いて見えるか調べる。また、その理由を考える。 ・観察2 太陽の1日の動き 第2節 地球の自転と方位、時刻 ・地球上の方位と時刻は、どのように決められているのか考える。
		(学・人) ●自然環境を保全するさまざまな取り組みを理解し、科学的な観点をふまえて、自然環境の保全に向けて、身のまわりからできる行動を考え、自然を総合的に見ようとする態度を養う。	(主学) ・自然環境を保全するさまざまな取り組みを理解し、科学的な観点をふまえて、自然環境の保全に向けて、身のまわりからできる行動を考え、実行しようとしている。	単元5 地球と私たちの未来のために 第2章 自然環境の調査と保全	第1節 身近な自然環境の調査 ・生物と自然環境はどのようにかかわっているのか、身近な自然環境を調査して考える。 ・調査1 身近な自然環境の調査 第2節 人間による活動と自然環境 ・自然環境に人間の活動がどのような影響をあたえているのか考える。 第3節 自然環境の開発と保全 ・自然環境を保全するためにどのような活動が行われているのか調べる。
年間をとおして	9	(知識・技能) ・日常生活と関連づけながら、自然界のつり合いについて理解し、観察、実験などに関する技能を身につける。 (主体的に学習に取り組む態度) ・科学的に探究しようとする態度と、自然環境の保全に寄与する態度を養う	・沖縄の自然について自ら調べる事ができる。 ・器具を使って実物の観察・実験をすることができる。 ・科学関係の時事的な事柄をいろいろなメディアを用いて知る事ができる) ・科学に関する疑問を解決する方法を知る事ができる	①沖縄の自然 ②科学のニュース ③学び直し	①沖縄の生き物や植物の観察、沖縄の季節の特徴(栽培、校外学習含む) ②新聞・雑誌・Web検索、ICT機器を活用した授業 ③下学年の内容
留意点 引継ぎ等	・年間を通した学習は、各学期に3時間ずつ予定しているが、生徒の実態に応じて適切にわりあてる。				

令和7年度 中学部 2年（Ⅰ課程） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
1/35	中学生の音楽2・3上下/中学生の器楽/他	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに,創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱,器楽,創作の技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや,音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (学・人) 主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組み,音楽活動の楽しさを体験することを通して,音楽文化に親しむとともに,音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	3	(知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに, それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。 (思判表力) 音色, テクスチャを知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, 歌唱表現を創意工夫する。 (学・人) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	(知・技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 (思・判・表) 音色, リズム, テクスチャ, 構成を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, 曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 (主学) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	曲想と音楽の構造との関わりを理解して合唱しよう	「翼をください」「明日を向いて」 「My Voice!」
	3	(知及技) 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解することができる。創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。 (思・判・表) リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現としてどのように表すかについて思いや意図を持つ。 (主学) 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。	(知・技) 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。 (思・判・表) リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 (主学) 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	言葉の抑揚を生かして創作表現を工夫しよう	「リズムゲーム」「リズムアンサンブル」「リズムチャレンジ」
	3	(知及技) 曲想と音楽の構造との関わり及び楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに, 創意工夫を生かし, 全体の響きや各声部音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付ける。 (思判表力) 音色, リズム, 旋律, テクスチャを知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, 曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。 (学・人) 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。	(知・技) 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり, 楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。全体の響きや各西部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け, 器楽で表している。 (思・判・表) 音色, リズム, 旋律, テクスチャを知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考え, 曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 (主学) 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりに関心をもち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	楽器の音色と奏法との関わりを理解して, 器楽表現を工夫しよう	「カントリーロード」
	3	(知及技) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 (思判表力) 音色, リズム, 速度, 強弱を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに, 曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴く。 (学・人) 音楽から得られるイメージと音楽の特徴との関わりに関心をもち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	(知及技) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 (思・判・表) 音色, リズム, テクスチャ, 強弱, 構成を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに, 曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え, 音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (主学) 曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち, 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	旋律が重なり合っていておもしろさを味わおう。	「フーガ短調」

2 学期	4	(知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 (思判表力) 音色、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 (学・人) 旋律や強弱の生み出す曲想の変化、音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	(知・技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、歌唱で表している。 (思・判・表) 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 (主学) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	日本の歌のよさや美しさを感じ取って歌唱表現を工夫しよう 歌詞と旋律が生み出す雰囲気を味わいながら歌おう。	「荒城の月」
	3	(知及技) 諸外国の様々な音楽及び我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。 (思判表力) 色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 (学・人) 曲の構成に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	(知・技) 諸外国の様々な音楽及び我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 (思・判・表) 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (主学) 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	グリオ（セネガル） 京劇 ジンジュ（中国） フラメンコ（スペイン） ブルガリアの女声合唱（ブルガリア）
	4	(知及技) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対面などの構成上の特徴について理解するとともに、創意工夫を生かした表現で旋律音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付ける。 (思判表力) リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫する。 (学・人) 反復、変化、対象などの構成や全体のまとまり、音の重なり方に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。	(知及技) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対面などの構成上の特徴について理解している。創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作で表している。 (思判表力) 音色、リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 (学・人) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対象などの構成上の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	音の重なり方や反復、変化を理解して創作表現を工夫しよう	「Let's Create!」 「My Melody」
	3	(知及技) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 (思判表力) 音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 (学・人) 旋律の雰囲気や歌い方の違いに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組む。	(知及技) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 (思・判・表) 音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (主学) 曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	交響曲第5番八短調
	5	(知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。 (思判表力) 音色、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 (学・人) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	(知・技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 (思・判・表) 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 (主学) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	音楽で卒業生を送り出そう	・歌唱 ・器楽(合奏)
3 学期	4	(知及技) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解する。 (思判表力) 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 (学・人) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	(知・技) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。 (思) 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (主学) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう ・箏曲「六段の調」 ・さくらさくら ・春の海	・箏曲の特徴について（音色、奏法、旋律の特徴、速度の変化） ・箏曲の歴史や背景について ・鑑賞 ・ワークシート
	留意点 引継ぎ等	「校歌」年間を通して学習する（歌唱、器楽）			

令和7年度 中学部 3年（Ⅰ課程） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
2/70	中学生の音楽2・3上下/中学生の器楽/他	

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱,器楽,創作の技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 (学・人) 主体的・協同的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	7	(知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。 (思判表力)音色,テクスチュアを知覚し,それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら,知覚したことと感受したこととの関わりについて考え,歌唱表現を創意工夫する。 (学・人) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	(知・技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 (思・判・表)音色,リズム,テクスチュア,構成を知覚し,それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら,知覚したことと感受したこととの関わりについて考え,曲にふさわしい歌唱表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 (主学)曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	曲想と音楽の構造との関わりを理解して合唱しよう	「翼をください」「明日を向いて」 「My Voice!」
	6	(知及技) 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解することができる。創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。 (思・判・表)リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現としてどのように表すかについて思いや意図を持つ。 (主学) 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。	(知・技) 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付けている。 (思・判・表)リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、創作表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 (主学) 音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	言葉の抑揚を生かして創作表現を工夫しよう	「リズムゲーム」「リズムアンサンブル」「リズムチャレンジ」
	6	(知及技) 曲想と音楽の構造との関わり及び楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かし,全体の響きや各声部音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付ける。 (思判表力)音色,リズム,旋律,テクスチュアを知覚し,それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら,知覚したことと感受したこととの関わりについて考え,曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。 (学・人) 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組む。	(知・技) 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わり,楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解している。全体の響きや各西部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け,器楽で表している。 (思・判・表)音色,リズム,旋律,テクスチュアを知覚し,それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら,知覚したことと感受したこととの関わりについて考え,曲にふさわしい器楽表現としてどのように表すかについて思いや意図をもっている。 (主学)曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	楽器の音色と奏法との関わりを理解して,器楽表現を工夫しよう	「カントリーロード」
	6	(知及技) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 (思判表力) 音色,リズム,速度,強弱を知覚し,それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら,知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに,曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え,音楽のよさや美しさを味わって聴く。 (学・人) 音楽から得られるイメージと音楽の特徴との関わりに関心をもち,音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	(知及技) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 (思・判・表)音色,リズム,テクスチュア,強弱,構成を知覚し,それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら,知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに,曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (主学)曲想と音楽の構造との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	旋律が重なり合っていておもしろさを味わおう。	「フーガ短調」

2 学期	7	(知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付ける。 (思判表力) 音色、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 (学・人) 旋律や強弱の生み出す曲想の変化、音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	(知・技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の音を聴きながら他者と合わせて演奏する技能を身に付け、歌唱で表している。 (思・判・表) 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 (主学) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	日本の歌のよさや美しさを感じ取って歌唱表現を工夫しよう 歌詞と旋律が生み出す雰囲気を味わいながら歌おう。	「荒城の月」
	7	(知及技) 諸外国の様々な音楽及び我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。 (思判表力) 色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 (学・人) 曲の構成に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	(知・技) 諸外国の様々な音楽及び我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 (思・判・表) 音色、リズム、旋律、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (主学) 曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう	グリオ（セネガル） 京劇 ジンジュ（中国） フラメンコ（スペイン） ブルガリアの女声合唱（ブルガリア）
	7	(知及技) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対面などの構成上の特徴について理解するとともに、創意工夫を生かした表現で旋律音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付ける。 (思判表力) リズム、テクスチャ、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫する。 (学・人) 反復、変化、対象などの構成や全体のまとまり、音の重なり方に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組む。	(知及技) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対面などの構成上の特徴について理解している。創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組み合わせなどの技能を身に付け、創作で表している。 (思判表力) 音色、リズム、テクスチャ、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。 (学・人) 音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対象などの構成上の特徴に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	音の重なり方や反復、変化を理解して創作表現を工夫しよう	「Let's Create!」 「My Melody」
	7	(知及技) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解する。 (思判表力) 音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 (学・人) 旋律の雰囲気や歌い方の違いに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の活動に取り組む。	(知及技) 曲想と音楽の構造との関わりについて理解している。 (思・判・表) 音色、リズム、旋律、形式、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (主学) 曲想と音楽の構造との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう	交響曲第5番八短調
3 学期	12	(知及技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付ける。 (思判表力) 音色、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を創意工夫する。 (学・人) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組む。	(知・技) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。 創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体を使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。 (思・判・表) 音色、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 (主学) 曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	音楽で卒業生を送り出そう	・歌唱 ・器楽(合奏)
	5	(知及技) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解する。楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解する。 (思判表力) 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 (学・人) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組む。	(知・技) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりについて理解している。 (思) 音色、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 (主学) 音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	箏曲の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう ・箏曲「六段の調」 ・さくらさくら ・春の海	・箏曲の特徴について（音色、奏法、旋律の特徴、速度の変化） ・箏曲の歴史や背景について ・鑑賞 ・ワークシート
留意点 引継ぎ等		「校歌」年間を通して学習する（歌唱、器楽）			

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2/70		中学部2年			美術2・3(光村図書)／他
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 対象や事象を捉える創造的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (思判表力) 創造的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。 (学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培うことができるようにする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技) ●材料や用具、表現方法の特性などから見通しを立てて制作することができる。2,3学年A(2)ア(イ) (思判表力) ●身近な風景を見つめ、感じ取った特徴をどのようにあらわしたいか考えて、強調や省略や協調、材料や用具を工夫して描く。2,3学年A(1)ア(ア)／(2)ア(ア) (学・人) ●身近なものを描いた作品を鑑賞し、さまざまな表現の工夫を感じ取ることができる。2, 3学年(3)	(知・技) ○形や色、質感などが感情にもたらす効果のもとに、身近なものを全体のイメージで捉え、見通しを持って制作しようとしている。 (思・判・表) ○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫してあらわし構想を練っている。 (主学) ○作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	絵や彫刻など 〔描く活動〕 『身近な風景を描く』	・身近な風景をよく見たて特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。 ・水彩画の基本的な技法について学び、作品制作に活かす。
		(知及技) ●形や色などから見る人の感情に与える効果を理解し、見通しを持って表すことができる。2,3学年Aア(イ) (思判表力) ●装飾の目的や条件などのもとに、季節感や季節の風物から考えたことを構想することができる。2,3学年A(1)イ(ア) (学・人) ●主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、受け継がれてきた表現の特質などから伝統や文化の良さを感じ取ることができる。2,3学年(3)・B(1)イ(イ)	(知・技) ○形や色などが感情にもたらす効果や造形的な特徴のもとに季節感のイメージをとらえることができる。 (思・判・表) ○装飾の目的や条件などのもとに主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた構想を練れている。 (主学) ○主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、季節感をが作品にどのように取り入れられているかなど自身の感じ方、見方を深めることができる。	デザインや工芸など 〔描く・つくる活動〕 『季節感のある暮らしを楽しむ』	・日本人が昔から楽しんできた、衣食住の中にある季節を感じるデザインや工芸品について鑑賞する。 ・ガラスの内側あから彩色する江戸風鈴の技法について知る。 ・暑い夏に涼しさを感じられるような風鈴デザインを考え、アクリル絵の具で風鈴に描く。
		(知及技) ●形や色材料などが人に与える効果を理解し、見通しを持って表すことができる。2,3学年A(2)ア(ア)(イ) (思判表力) ●構成や装飾の目的や条件などを基に用いる場面などから主題を生み出し、調和のとれた美しさ、効果的な表現の発想を寝ることができる。2,3学年A(1)イ(ア) (学・人) ●自然物などの特徴や地域の自然や歴史、特産物などをヒントに生まれたデザインを鑑賞したり、創作する活動に主体的に取り組むことができる。2,3学年(3)	(知・技) ○文様の形や色、構成などが見る人に与える効果について理解し、デザインを考えようとしている。 (思・判・表) ○地域の魅力から感じ取ったことや考えたことをもとに主題を生み出し、形や色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して、文様をあらわしている。 (主学) ○創造活動の喜びを味わい、地域の土産物のパッケージやデザインの意図や工夫、美しさについて主体的に見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	デザインや工芸など 〔つくる活動・鑑賞〕 『地域の魅力をデザインにしよう』	・タブレット端末などを利用し、身近な地域の自然や歴史、産業などを調べ、デザインの手掛かりにする。 ・身近な地域から見つけた形を手がかり連続したパターンを構想 ・ゴム版にパターンの一つを彫り、スタンプをつくる。 ・スタンプを使い、皿や一筆箋、布などへの模様の構成を考える。 ・完成した作品を実際に使ってみる。

2 学期	27	(知及技) ●色や構図、色彩、作風などに着目して作品の特徴を捉えることができる。 (思判表力) ●主題を基に、表現の意図や工夫について考え、見方や感じ方を深めることができる。 B(1)ア(ア) (学・人) ●自分の見方や感じ方を深めながら、作品を鑑賞する活動に主体的にとり組むことができる。(3)	(知・技) ○形や色彩、材料などが感情にもたらす効果やさあく品の造形的な知億丁を基に、作者が作品に隠した思いなどを全体のイメージや作風などからとらえることを理解している。 (思・判・表) ○作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図や工夫について考えるなどして見方や感じ方を深めることができている。 (主学) ○創作活動の喜びを味わい、作品の良さや美しさを感じたり表現の意図や工夫などを感じ取る活動に主体的に取り組もうとしている。	鑑賞 [考える・描く活動] 『ゲルニカ・明日への願い』	・ピカソのゲルニカを鑑賞し、作者の表現の意図や作品に込めた思いを感じ取り、感じたことや考えたことを話し合う。 ・タブレット端末やワークシートなどを活用し、調べたことを書き込んだり、作品が書かれた背景や作所について調べる。 ・ゲルニカの主題とは真逆の私たちの望む世界はどんなものかを話し合い共同制作で絵画に表す。
		(知及技) ●伝えたい意図に応じて表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表すことができる。A表現:(2)イ(イ) (思判表力)(学・人) ●伝えたい内容にふさわしい表現方法を考え、多くの人に伝わるようにデザインを工夫する。 A表現:(2)ア(ア)(イ) B鑑賞:(1)ア(イ)イ(ア)	(知・技) ○意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。 (思・判・表) ○メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成し、効果的な表現形態や文字の配置、構成、配色などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 (主学) ○主体的にメッセージを伝えるデザインの目的や機能との調和の取れた美しさなどを感じ取り、効果的にメッセージを伝える工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	デザインや工芸など 『メッセージを伝える』	・メッセージを広く伝えるデザインに関心を持ち、メッセージの内容や伝える相手などから行事のポスターの主題を生成する。 ・主題をもとに形や色、構成などを工夫して構想を練る。 ・タブレット端末のアプリ等を利用して制作する。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。
		(知及技) ●材料や用具の扱いを身につけ、表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かしたり組み合わせたりして見通しをもって表すことができる。2,3学年A(1)ア(イ) (思判表力) ●身近なものを見つめ、感じ取った特徴をどのようにあらわしたいか考えて、強調や省略や協調、材料や用具を工夫して描く。2,3学年(1)ア(ア) (学・人) ●身近なものを描いた作品を鑑賞し、さまざまな表現の工夫を感じ取る。2,3学年A(1)ア(イ)	(知・技) ○形や色、質感などが感情にもたらす効果をもとに、身近なものを全体のイメージで捉えることを理解しようとしている。 (思・判・表) ○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫してあらわし構想を練っている。 (主学) ○友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	絵や彫刻など [描く活動] 『版で表す』	・身近なものをよく見たり、触ったりして特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。
3 学期	18	(知及技) ●意図に応じてタブレットやアプリなどの特性を生かすことができる。 A表現:(3)イ(ア) (思判表力)(学・人) ●映像表現の視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現を考えることができる。A表現:(3)ア(ア)(イ) ●映像メディアの表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の意図や表現の工夫などについて考えることができる。 B鑑賞:(1)ア(ウ)	(知・技) ○意図に応じてカメラやアプリの特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、表現の意図を効果的にあらわしている。 (思・判・表) ○身近な素材を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとに、映像メディアの特性を生かして主題を生成し、構図や動きなどの視覚的な要素の働きについて考え、構想を練っている。 (主学) ○映像メディアの特質や表現効果などを感じ取り、主題を伝えるために撮影の工夫をするなど主体的に創造活動に取り組もうとしている。	表現・鑑賞: 映像メディア表現 『コマ撮りアニメーションに挑戦!』	・人物や学校生活の情景を撮影することに関心を持ち、身近な人の表情や動き、その人との関係性などから主題を生成する。 ・主題をもとに、視点や構図、光、ポーズなどの構想を練る。 ・カメラ等の用具の特性を生かして制作する。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。

		(知及技) ●身近なものを見つめ、感じ取った特徴をどのようにあらわしたいか考えて、材料や用具を工夫して描く。 2,3学年Aア(2)ア(イ) (思判表力) ●自分の気持ちや想像したこと、材料などをもとに表したいことを構想することができる。2,3学年A(2)ア(ア) (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。2,3学年(3)	(知・技) ○形や色、構成や構図などの特徴などをもとに、見えないものを全体のイメージで捉えようとしている。 (思・判・表) ○見えないものをあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) ○美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく見えないものを形や色であらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	共同制作の魅力 [描く活動] [つくる活動] [鑑賞] 『気持ちをあらわす』	・共同制作について学校全体や学年、クラスで意見を出し合い主題を生み出す。 ・材料や用具の特性を生かし、よりよいものになるよう共同で意見を出し合いながら見通しをもって制作する。 ・協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合い、共同制作の素晴らしさを味わう。
留意点 引継ぎ等	※授業計画及び教材をにおける描く活動やつくる活動について、理解度や興味・関心等に合わせ柔軟に対応する。 ※郷土の世界遺産や伝統工芸品の造形的な面白や見方、感じ方等も年間を通し授業内容に取り入れる。 ※年間を通し、多様な作品を味わい、自他の作品に親しむことができるよう、振り返り、鑑賞会、校内展示等を適宜取り入れる。 ※博物館や美術館を活用し、美術作品に親しむ機会を設ける。				

版画

1 水彩画
鑑賞ゲルニカと
写真(高)
風鈴をつくる 涼しさの表現

壁画？
制服フォトコンテスト

七夕の笹 中庭か玄関に
短冊に自由に書く

2 器のデザイン(模様)
ポスターデザイン
版画

森川オリジナル商品を作ろう！森川・西原をテーマに

宣材写真も？

3 壁画 コラージュ

★制作風景の写真
★作品の

県費で買ってもらいたいもの
陶芸用絵の具 イーゼル
ネット
版画用紙

購入するもの
ガラスの風鈴
小さいキャンバス

単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2/70		中学部3年(Ⅰ課程)			美術2・3(光村図書)／他
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 対象や事象を捉える創造的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。 (思判表力) 創造的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるようにする。 (学・人) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培うことができるようにする。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技) ●材料や用具、表現方法の特性などから見通しを立てて制作することができる。2,3学年A(2)ア(イ) (思判表力) ●身近な風景を見つめ、感じ取った特徴をどのようにあらわしたいか考えて、強調や省略や協調、材料や用具を工夫して描く。2,3学年A(1)ア(ア)／(2)ア(ア) (学・人) ●身近なものを描いた作品を鑑賞し、さまざまな表現の工夫を感じ取ることができる。2, 3学年(3)	(知・技) ○形や色、質感などが感情にもたらす効果のもとに、身近なものを全体のイメージで捉え、見通しを持って制作しようとしている。 (思・判・表) ○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫してあらわし構想を練っている。 (主学) ○作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	絵や彫刻など 〔描く活動〕 『身近な風景を描く』	・身近な風景をよく見たて特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。 ・水彩画の基本的な技法について学び、作品制作に活かす。
		(知及技) ●形や色などから見る人の感情に与える効果を理解し、見通しを持って表すことができる。2,3学年Aア(イ) (思判表力) ●装飾の目的や条件などのもとに、季節感や季節の風物から考えたことを構想することができる。2,3学年A(1)イ(ア) (学・人) ●主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、受け継がれてきた表現の特質などから伝統や文化の良さを感じ取ることができる。2,3学年(3)・B(1)イ(イ)	(知・技) ○形や色などが感情にもたらす効果や造形的な特徴のもとに季節感のイメージをとらえることができる。 (思・判・表) ○装飾の目的や条件などのもとに主題を生み出し、美的感覚を働かせて調和のとれた構想を練れている。 (主学) ○主体的に創作や鑑賞の活動に取り組み、季節感をが作品にどのように取り入れられているかなど自身の感じ方、見方を深めることができる。	デザインや工芸など 〔描く・つくる活動〕 『季節感のある暮らしを楽しむ』	・日本人が昔から楽しんできた、衣食住の中にある季節を感じるデザインや工芸品について鑑賞する。 ・ガラスの内側あから彩色する江戸風鈴の技法について知る。 ・暑い夏に涼しさを感じられるような風鈴デザインを考え、アクリル絵の具で風鈴に描く。
		(知及技) ●形や色材料などが人に与える効果を理解し、見通しを持って表すことができる。2,3学年A(2)ア(ア)(イ) (思判表力) ●構成や装飾の目的や条件などを基に用いる場面などから主題を生み出し、調和のとれた美しさ、効果的な表現の発想を寝ることができる。2,3学年A(1)イ(ア) (学・人) ●自然物などの特徴や地域の自然や歴史、特産物などをヒントに生まれたデザインを鑑賞したり、創作する活動に主体的に取り組むことができる。2,3学年(3)	(知・技) ○文様の形や色、構成などが見る人に与える効果について理解し、デザインを考えようとしている。 (思・判・表) ○地域の魅力から感じ取ったことや考えたことをもとに主題を生み出し、形や色彩、材料や用具の生かし方などを工夫して、文様をあらわしている。 (主学) ○創造活動の喜びを味わい、地域の土産物のパッケージやデザインの意図や工夫、美しさについて主体的に見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	デザインや工芸など 〔つくる活動・鑑賞〕 『地域の魅力をデザインにしよう』	・タブレット端末などを利用し、身近な地域の自然や歴史、産業などを調べ、デザインの手掛かりにする。 ・身近な地域から見つけた形を手がかり連続したパターンを構想 ・ゴム版にパターンの一つを彫り、スタンプをつくる。 ・スタンプを使い、皿や一筆箋、布などへの模様の構成を考える。 ・完成した作品を実際に使ってみる。

2 学期	27	(知及技) ●色や構図、色彩、作風などに着目して作品の特徴を捉えることができる。 (思判表力) ●主題を基に、表現の意図や工夫について考え、見方や感じ方を深めることができる。 B(1)ア(ア) (学・人) ●自分の見方や感じ方を深めながら、作品を鑑賞する活動に主体的にとり組むことができる。(3)	(知・技) ○形や色彩、材料などが感情にもたらす効果やさあく品の造形的な知億丁を基に、作者が作品に隠した思いなどを全体のイメージや作風などからとらえることを理解している。 (思・判・表) ○作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図や工夫について考えるなどして見方や感じ方を深めることができている。 (主学) ○創作活動の喜びを味わい、作品の良さや美しさを感じたり表現の意図や工夫などを感じ取る活動に主体的に取り組もうとしている。	鑑賞 [考える・描く活動] 『ゲルニカ・明日への願い』	・ピカソのゲルニカを鑑賞し、作者の表現の意図や作品に込めた思いを感じ取り、感じたことや考えたことを話し合う。 ・タブレット端末やワークシートなどを活用し、調べたことを書き込んだり、作品が書かれた背景や作所について調べる。 ・ゲルニカの主題とは真逆の私たちの望む世界はどんなものかを話し合い共同制作で絵画に表す。
		(知及技) ●伝えたい意図に応じて表現方法を創意工夫し、目的や計画を基に創造的に表すことができる。A表現:(2)イ(イ) (思判表力)(学・人) ●伝えたい内容にふさわしい表現方法を考え、多くの人に伝わるようにデザインを工夫する。 A表現:(2)ア(ア)(イ) B鑑賞:(1)ア(イ)イ(ア)	(知・技) ○意図に応じて材料や用具の特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、目的や計画をもとに創造的にあらわしている。 (思・判・表) ○メッセージの内容や伝える相手などから主題を生成し、効果的な表現形態や文字の配置、構成、配色などについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 (主学) ○主体的にメッセージを伝えるデザインの目的や機能との調和の取れた美しさなどを感じ取り、効果的にメッセージを伝える工夫などについて考える鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。	デザインや工芸など 『メッセージを伝える』	・メッセージを広く伝えるデザインに関心を持ち、メッセージの内容や伝える相手などから行事のポスターの主題を生成する。 ・主題をもとに形や色、構成などを工夫して構想を練る。 ・タブレット端末のアプリ等を利用して制作する。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。
		(知及技) ●材料や用具の扱いを身につけ、表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かしたり組み合わせたりして見通しをもって表すことができる。2,3学年A(1)ア(イ) (思判表力) ●身近なものを見つめ、感じ取った特徴をどのようにあらわしたいか考えて、強調や省略や協調、材料や用具を工夫して描く。2,3学年(1)ア(ア) (学・人) ●身近なものを描いた作品を鑑賞し、さまざまな表現の工夫を感じ取る。2,3学年A(1)ア(イ)	(知・技) ○形や色、質感などが感情にもたらす効果をもとに、身近なものを全体のイメージで捉えることを理解しようとしている。 (思・判・表) ○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫してあらわし構想を練っている。 (主学) ○友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	絵や彫刻など [描く活動] 『版で表す』	・身近なものをよく見たり、触ったりして特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。
3 学期	18	(知及技) ●意図に応じてタブレットやアプリなどの特性を生かすことができる。 A表現:(3)イ(ア) (思判表力)(学・人) ●映像表現の視覚的な要素の働きについて考え、創造的な表現を考えることができる。A表現:(3)ア(ア)(イ) ●映像メディアの表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の意図や表現の工夫などについて考えることができる。 B鑑賞:(1)ア(ウ)	(知・技) ○意図に応じてカメラやアプリの特性を生かすとともに、表現方法を工夫し、表現の意図を効果的にあらわしている。 (思・判・表) ○身近な素材を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとに、映像メディアの特性を生かして主題を生成し、構図や動きなどの視覚的な要素の働きについて考え、構想を練っている。 (主学) ○映像メディアの特質や表現効果などを感じ取り、主題を伝えるために撮影の工夫をするなど主体的に創造活動に取り組もうとしている。	表現・鑑賞: 映像メディア表現 『コマ撮りアニメーションに挑戦!』	・人物や学校生活の情景を撮影することに関心を持ち、身近な人の表情や動き、その人との関係性などから主題を生成する。 ・主題をもとに、視点や構図、光、ポーズなどの構想を練る。 ・カメラ等の用具の特性を生かして制作する。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。

		(知及技) ●身近なものを見つめ、感じ取った特徴をどのようにあらわしたいか考えて、材料や用具を工夫して描く。 2,3学年Aア(2)ア(イ) (思判表力) ●自分の気持ちや想像したこと、材料などをもとに表したいことを構想することができる。2,3学年A(2)ア(ア) (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。2,3学年(3)	(知・技) ○形や色、構成や構図などの特徴などをもとに、見えないものを全体のイメージで捉えようとしている。 (思・判・表) ○見えないものをあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) ○美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく見えないものを形や色であらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	共同制作の魅力 [描く活動] [つくる活動] [鑑賞] 『気持ちをあらわす』	・共同制作について学校全体や学年、クラスで意見を出し合い主題を生み出す。 ・材料や用具の特性を生かし、よりよいものになるよう共同で意見を出し合いながら見通しをもって制作する。 ・協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合い、共同制作の素晴らしさを味わう。
留意点 引継ぎ等	※授業計画及び教材をにおける描く活動やつくる活動について、理解度や興味・関心等に合わせ柔軟に対応する。 ※郷土の世界遺産や伝統工芸品の造形的な面白や見方、感じ方等も年間を通し授業内容に取り入れる。 ※年間を通し、多様な作品を味わい、自他の作品に親しむことができるよう、振り返り、鑑賞会、校内展示等を適宜取り入れる。 ※博物館や美術館を活用し、美術作品に親しむ機会を設ける。				

		版画		
1 水彩画 鑑賞ゲルニカと写真(高) 風鈴をつくる 涼しさの表現		壁画？ 制服フォトコンテスト		七夕の笹 中庭か玄関に短冊に自由に書く
2 器のデザイン(模様) ポスターデザイン 版画		森川オリジナル商品を作ろう！森川・西原をテーマに		宣材写真も？
3 壁画 コラージュ		★制作風景の写真 ★作品の		
		県費で買ってもらいたいもの 陶芸用絵の具 イーゼル ネット 版画用紙		
		購入するもの ガラスの風鈴 小さいキャンバス		

令和 7 年度 中学部2年（I 課程） 保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	中学部2年		新しい保健体育(東京書籍)

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (学・人) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	37	(知及技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解し、目的に適した運動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとしたり、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとしたりすることができる。	(知・技)・ 体づくり運動の意義には、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう意義があることを伝えている。 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりしている。 (思・判・表)体ほぐしの運動で「心と体の関係や心身の状態に気付く」、「仲間と積極的に関わり合う」ことを踏まえて運動している。 (主学)体づくり運動に仲間と協力しながら積極的に取り組もうとしている。	体づくり運動	<例示>体ほぐしの運動 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりする。 <例示>体の動きを高める運動 ・ 体の各部位をゆっくり伸展し、そのままの状態 で約 10 秒間維持する。 ・ 人と組んだり、用具を利用したりしてバランスを保持する。 ・ 二人組で上体を起こしたり、脚を上げたり、背負って移動したりする。 ・ 走や縄跳びなどを、一定の時間や回数、又は、自己で決めた時間や回数を持続して行う。
		(知及技) チームや自己の課題を解決するなどの楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しながらゲームを展開することができる。 (思判表力)生涯にわたり運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしながら一人一人の違いに応じたプレイを展開することができる。	(知・技)・ 自分の得意な投げ方でねらった方向にボールを投げている。 ・ サービスでは、ボールに変化をつけて打っている。 (思・判・表)課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 (主学)作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。	球技	○ターゲット型 ・ ターゲットに向かって力をコントロールしながら、ボールを投げる。 ・ 仲間と協力しながらゲームを進行すること。 ○ネット型 ・ サービスでは、ボールに変化をつけて打つ。 ・ ボールを相手側のコートを守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返す。 ・ ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこむ。
		(知及技) 記録向上の楽しさや喜びを味わい、自己に適した泳法を身に付けることができる。 (思判表力)泳法などの自己の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配りながら活動することができる。	(知・技)・ ブルとキック、ローリングの動作に合わせて横向きで呼吸をすることができる。 (思・判・表)体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。 (主学)水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意しようとしている。	水泳	○呼吸をしながらの泳ぎ ・ 補助具を使って浮き、呼吸をしながら手や足を動かして泳ぐこと。 ・ 補助具を使いながら頭の上方に腕を伸ばした姿勢で、バタ足泳ぎやかえる足泳ぎなど、手や足をバランス良く動かし、呼吸をしながら進むこと ・ クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。 ・ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。
		(知及技) 健康な生活と疾病の予防について知ることができる。 (思判表力)健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現することができる。 (学・人)健康な生活と疾病の予防についての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) 健康は、主体と環境の関わりの中で成り立っていることを理解している。 (思・判・表)自分の生活を振り返り、よい点や改善すべき点を考えたり見つけたりしている。 (主学)自分の健康に関心を持ち、健康について考えようとしている。	保健分野（健康な生活と疾病予防①）	1 健康の成り立ち 自分にとって健康とは何かについて考える。 2 運動と健康 生活の中に運動を取り入れるためにできることについて考える。 3 食生活と健康 健康のために食生活で気を付けるべきことについて理解する。 4 休養・睡眠と健康 健康のために休養・睡眠をどのようにとればよいか理解する。

2 学 期	42	(知及技) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しゲームを展開することができる。 (思判表力)生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしながら一人一人の違いに応じたプレイを展開することができる。	(知・技)・球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があることについて学び、伝えている。・防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運んだり、仲間にパスをしたりすることができる。 (思・判・表)選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 (主学)フェアなプレイを大切にしようとしている。	球技	○ゴール型 ・ 防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶ。 ・ 味方が作り出した空間にパスを送る。 ・ 守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープする。
		(知及技) 武道の楽しさや喜びに触れ、伝統的な考え方やその行い方を理解し、基本的な動きや技能を身に付けることができる。 (思判表力)武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたことを他者に伝えたり発表したりすることができる。 (学・人) 武道に進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具、自己や他者の安全に留意したりしながら、運動をすることができる。	(知・技) 武道の特徴をとらえて基本的な動きやマナーを身につけている。 (思・判・表)武道の学習成果を踏まえて、自己に適した簡単な技能や態度を見付けている。 (主学)一人一人の違いに応じた動きや態度、役割を大切にしようとしている。	武道	○空手 ・ 上段突き、中段突き ・ 正面蹴り、足刀蹴り ・ 上段受け、中段受け、下段受け等の動き ・ 普及型Ⅰ、Ⅱ
		(知及技) 心身の機能の発達と心の健康について理解しているとともに、ストレスへの対処についての技能を身に付けている。 (思判表力)心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 (学・人)心身の機能の発達と心の健康についての学習に積極的に取り組もうとしている。	(知・技) 思春期は、身長や体重が急速に発育する時期（発育急進期）に当たることを理解している。 (思・判・表)自分自身の性や心の変化を見つめるとともに、他者との望ましい関係について考えている。 (主学)望ましい発育・発達のためにどんな生活を送ったらよいかを考え、生活の実践への意欲を持っている。	保健分野（心身の機能の発達）	1 体の発育・発達 体の各器官はどのように発育・発達するか理解する。 2 呼吸器・循環器の発達 呼吸器・循環器はどのように発達するか理解する。 3 生殖機能の成熟 思春期の体の変化や月経、射精、妊娠は、どんな仕組みで起こるか理解する。 4 性とどう向き合うか 性情報への対処について考える。
3 学 期	26	(知及技) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。 (思判表力)攻防などの自己の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとする、こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする、ことができる。	(知・技) 学校で行う球技は近代になって開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて学んだことを伝えている。 (思・判・表)提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 (主学)マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	球技	○バドミントンや卓球を基にしたゲーム ・ 相手コートから飛んできたシャトルやボールを、ラケットを使用して打つ。 ・ ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりする。
		(知及技) 心身の機能の発達と心の健康について理解しているとともに、ストレスへの対処についての技能を身につける。 (思判表力)心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現することができる。 (学・人)心身の機能の発達と心の健康についての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) 心の働きには知的機能や情意機能があり、さまざまな経験や学習によって発達することを理解している。 (思・判・表)人とのコミュニケーションについて、実習を通して考えているとともに、それらを表現している。 (主学)欲求不満やストレスへの対処について、実生活に結び付けて考え、実践への意欲を持っている。	保健分野（心の健康）	5 心の発達（１）知的機能と情意機能の発達 心と脳の関係、知的機能・情意機能の発達の仕方について理解する 6 心の発達（２）社会性の発達 人とのコミュニケーションについて、実習を通して考える。 7 自己形成 どのように自己形成がなされるかについて理解する。 8 欲求不満やストレスへの対処 リラクセーションの方法を実習を通して身に付ける。実習
		(知及技) 運動やスポーツが多様であることについて知ることができる。 (思判表力)運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 (学・人)運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) スポーツには「行うこと」「見ること」「支えること」「知ること」といったさまざまな関わり方があることを知るとともに、それぞれの関わり方の特徴や楽しさを理解している。 (思・判・表)スポーツの必要性や楽しさについて、自分自身の生活を振り返りながら考えているとともに、それらを表現している。 (主学)スポーツの多様な楽しみ方に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	体育理論（運動やスポーツの多様性）	1 スポーツの始まりと発展 スポーツの始まりや発展について理解する。 2 スポーツへの多様な関わり方 スポーツへのさまざまな関わり方について理解する。 3 スポーツの多様な楽しみ方 具体的な場面を想定してスポーツの多様な楽しみ方について考える。
留意点 引継ぎ等		・ 保健体育は2学年かけて指導する教科であるため、学習指導要領に則り単元・題材の目標は(中12程度)と記載している。 ・ 体づくり運動は年間を通して行う。			

令和 7 年度 中学部3年（I 課程） 保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	中学部3年		新しい保健体育(東京書籍)

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 (学・人) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	38	(知及技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の意義と行い方、体の動きを高める方法などを理解し、目的に適した運動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助しようとしたり、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとしたりすることができる。	(知・技)・ 体づくり運動の意義には、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう意義があることを伝えている。 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりしている。 (思・判・表)体ほぐしの運動で「心と体の関係や心身の状態に気付く」、「仲間と積極的に関わり合う」ことを踏まえて運動している。 (主学)体づくり運動に仲間と協力しながら積極的に取り組もうとしている。	体づくり運動	<例示>体ほぐしの運動 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりする。 <例示>体の動きを高める運動 ・ 体の各部位をゆっくり伸展し、そのままの状態 で約 10 秒間維持する。 ・ 人と組んだり、用具を利用したりしてバランスを保持する。 ・ 二人組で上体を起こしたり、脚を上げたり、背負って移動したりする。 ・ 走や縄跳びなどを、一定の時間や回数、又は、自己で決めた時間や回数を持続して行う。
		(知及技) チームや自己の課題を解決するなどの楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しながらゲームを展開することができる。 (思判表力)生涯にわたり運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしながら一人一人の違いに応じたプレイを展開することができる。	(知・技)・ 自分の得意な投げ方でねらった方向にボールを投げている。 ・ サービスでは、ボールに変化をつけて打っている。 (思・判・表)課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 (主学)作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。	球技	○ターゲット型 ・ ターゲットに向かって力をコントロールしながら、ボールを投げる。 ・ 仲間と協力しながらゲームを進行すること。 ○ネット型 ・ サービスでは、ボールに変化をつけて打つ。 ・ ボールを相手側のコートを守備のいない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返す。 ・ ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこむ。
		(知及技) 記録向上の楽しさや喜びを味わい、自己に適した泳法を身に付けることができる。 (思判表力)泳法などの自己の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全に気を配りながら活動することができる。	(知・技)・ ブルとキック、ローリングの動作に合わせて横向きで呼吸をすることができる。 (思・判・表)体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。 (主学)水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意しようとしている。	水泳	○呼吸をしながらの泳ぎ ・ 補助具を使って浮き、呼吸をしながら手や足を動かして泳ぐこと。 ・ 補助具を使いながら頭の上方に腕を伸ばした姿勢で、バタ足泳ぎやかえる足泳ぎなど、手や足をバランス良く動かし、呼吸をしながら進むこと ・ クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。 ・ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。
		(知及技) 健康な生活と疾病の予防について知ることができる。 (思判表力)健康な生活と疾病の予防について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現することができる。 (学・人)健康な生活と疾病の予防についての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) 健康は、主体と環境の関わりの中で成り立っていることを理解している。 (思・判・表)自分の生活を振り返り、よい点や改善すべき点を考えたり見つけたりしている。 (主学)自分の健康に関心を持ち、健康について考えようとしている。	保健分野（健康な生活と疾病予防①）	1 健康の成り立ち 自分にとって健康とは何かについて考える。 2 運動と健康 生活の中に運動を取り入れるためにできることについて考える。 3 食生活と健康 健康のために食生活で気を付けるべきことについて理解する。 4 休養・睡眠と健康 健康のために休養・睡眠をどのようにとればよいか理解する。

2 学 期	42	(知及技) 勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの楽しさや喜びを味わい、仲間と連携しゲームを展開することができる。 (思判表力)生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしながら一人一人の違いに応じたプレイを展開することができる。	(知・技)・球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があることについて学び、伝えている。・防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運んだり、仲間にパスをしたりすることができる。 (思・判・表)選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 (主学)フェアなプレイを大切にしようとしている。	球技	○ゴール型 ・ 防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶ。 ・ 味方が作り出した空間にパスを送る。 ・ 守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープする。
		(知及技) 武道の楽しさや喜びに触れ、伝統的な考え方やその行い方を理解し、基本的な動きや技能を身に付けることができる。 (思判表力)武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたことを他者に伝えたり発表したりすることができる。 (学・人) 武道に進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具、自己や他者の安全に留意したりしながら、運動をすることができる。	(知・技) 武道の特徴をとらえて基本的な動きやマナーを身につけている。 (思・判・表)武道の学習成果を踏まえて、自己に適した簡単な技能や態度を見付けている。 (主学)一人一人の違いに応じた動きや態度、役割を大切にしようとしている。	武道	○空手 ・ 上段突き、中段突き ・ 正面蹴り、足刀蹴り ・ 上段受け、中段受け、下段受け等の動き ・ 普及型Ⅰ、Ⅱ
		(知及技) 心身の機能の発達と心の健康について理解しているとともに、ストレスへの対処についての技能を身に付けている。 (思判表力)心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。 (学・人)心身の機能の発達と心の健康についての学習に積極的に取り組もうとしている。	(知・技) 思春期は、身長や体重が急速に発育する時期（発育急進期）に当たることを理解している。 (思・判・表)自分自身の性や心の変化を見つめるとともに、他者との望ましい関係について考えている。 (主学)望ましい発育・発達のためにどんな生活を送ったらよいかを考え、生活の実践への意欲を持っている。	保健分野（心身の機能の発達）	1 体の発育・発達 体の各器官はどのように発育・発達するか理解する。 2 呼吸器・循環器の発達 呼吸器・循環器はどのように発達するか理解する。 3 生殖機能の成熟 思春期の体の変化や月経、射精、妊娠は、どんな仕組みで起こるか理解する。 4 性とどう向き合うか 性情報への対処について考える。
3 学 期	25	(知及技) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。 (思判表力)攻防などの自己の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとする、こと、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとする事ができる。	(知・技) 学校で行う球技は近代になって開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて学んだことを伝えている。 (思・判・表)提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 (主学)マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	球技	○バドミントンや卓球を基にしたゲーム ・ 相手コートから飛んできたシャトルやボールを、ラケットを使用して打つ。 ・ ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりする。
		(知及技) 心身の機能の発達と心の健康について理解しているとともに、ストレスへの対処についての技能を身につける。 (思判表力)心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現することができる。 (学・人)心身の機能の発達と心の健康についての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) 心の働きには知的機能や情意機能があり、さまざまな経験や学習によって発達することを理解している。 (思・判・表)人とのコミュニケーションについて、実習を通して考えているとともに、それらを表現している。 (主学)欲求不満やストレスへの対処について、実生活に結び付けて考え、実践への意欲を持っている。	保健分野（心の健康）	5 心の発達（1）知的機能と情意機能の発達 心と脳の関係、知的機能・情意機能の発達の仕方について理解する 6 心の発達（2）社会性の発達 人とのコミュニケーションについて、実習を通して考える。 7 自己形成 どのように自己形成がなされるかについて理解する。 8 欲求不満やストレスへの対処 リラクセーションの方法を実習を通して身に付ける。実習
		(知及技) 運動やスポーツが多様であることについて知ることができる。 (思判表力)運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 (学・人)運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) スポーツには「行うこと」「見ること」「支えること」「知ること」といったさまざまな関わり方があることを知るとともに、それぞれの関わり方の特徴や楽しさを理解している。 (思・判・表)スポーツの必要性や楽しさについて、自分自身の生活を振り返りながら考えているとともに、それらを表現している。 (主学)スポーツの多様な楽しみ方に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	体育理論（運動やスポーツの多様性）	1 スポーツの始まりと発展 スポーツの始まりや発展について理解する。 2 スポーツへの多様な関わり方 スポーツへのさまざまな関わり方について理解する。 3 スポーツの多様な楽しみ方 具体的な場面を想定してスポーツの多様な楽しみ方について考える。
留意点 引継ぎ等		・ 保健体育は2学年かけて指導する教科であるため、学習指導要領に則り単元・題材の目標は(中12程度)と記載している。 ・ 体づくり運動は年間を通して行う。			

令和7年度 中学部2年（Ⅰ課程）家庭科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部2年		新しい技術・家庭 家庭分野/東京書籍

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて，生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなど，これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 (学・人) 自分と家族，家庭生活と地域との関わりを考え，家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	14	(知及技)生活の中で食事が果たす役割について理解できる。 (知及技)健康に良い食生活について理解できる。 (知及技)栄養素の種類と働きについて理解できる。 (知及技)中学生に必要な栄養の特徴について理解できる。	(知・技)生活の中で食事が果たす役割について理解している。 (知・技)健康に良い食習慣について理解している。 (思・判・表)自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。 (主学)自分の食習慣について，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 (知・技)中学生に必要な栄養の特徴について理解している。	1編 私たちの食生活 1章 食事の役割と中学生の栄養の特徴 ①どうして食事をするのだろう ②私たちの食生活 ③栄養素ってなんだろう ④中学生に必要な栄養	・食事の役割について考える。 ・食事のとり方と健康が深く関わっていることを理解し，健康に良い食習慣について考える。 ・栄養素の種類と働きについて知る。 ・中学生に必要な栄養素の特徴を考える。
2学期	16	(知及技)身近な食品の栄養的な特徴について理解できる。 (知及技)6つの食品群の特徴と食品の種類と概量について理解できる。 (思判表力)中学生に必要な食品の種類と概量を踏まえ、工夫して1日分の献立を作成できる。	(知・技)中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。 (知・技)1日分の献立作成の方法について理解している。 (思・判・表)1日分の献立について，問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主学)1日分の献立について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	2章 中学生に必要な栄養を満たす食事 ①食品に含まれる栄養素 ②何をどれくらい食べればよいか ③バランスの良い献立作り	・身近な食品を栄養的な特徴により6つの食品群に分類する。 ・食品群別摂取量の目安と1日に必要な食品の種類と概量を知る。 ・中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を考える。 ・不足している食品群を補うような1食分の献立を考えるを通して，中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を考える。
		(思判表力)食品や衛生、食品の性質、調理の技術を踏まえ、工夫して1食分の調理を計画できる。 (知及技)計画に沿って、適切に調理をすることができる。 (知及技)野菜・いもの調理上の性質について理解できる。 (思判表力)野菜・いもの調理上の性質を踏まえ、工夫して調理できる。	(知・技)材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに，基礎的な日常食の調理が適切にできる。 (思・判・表)日常の1食分の調理について問題を見いだして課題を設定し，実践に向けた計画を考え，工夫している。 (主学)日常の1食分の調理について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。 (知・技)野菜・いものに適した加熱調理の仕方について理解しているとともに，基礎的な日常食の調理が適切にできる。 (主学)野菜・いもの調理について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	4章 日常食の調理と地域の食文化 ①日常食の調理 ②野菜・いもの調理	・調理に必要な手順や時間を考え，調理計画を工夫する。 ・野菜・いもの調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気を付けて，野菜・いもの調理をする。
3学期	5	(知及技)食品の選択と購入のために必要な情報について理解できる。 (思判表力)用途に応じた食品を考え、適切に選択できる。 (知及技)生鮮食品の特徴や表示の内容について理解できる。 (知及技)加工食品の特徴や表示の内容について理解できる。	(知・技)日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに，適切にできる。 (思・判・表)食品の選択について，問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	3章 調理のための食品の選択と購入 ①食品の選択と購入 ②生鮮食品の特徴 ③加工食品の特徴 ④食品の保存と食中毒の防止	・食品を選択する観点について知る。 ・食品の表示について調べ，まとめる。 ・生鮮食品の特徴と表示の内容，品質の見分け方を知る。 ・加工食品の特徴と表示の内容，品質の見分け方を知る。 ・食品のさまざまな保存方法を知る。 ・食中毒の防止について考える。
留意点 引継ぎ等	生徒の体調や理解度に応じて学習を進める。				

令和7年度 中学部3年（Ⅰ課程）家庭科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部3年		新しい技術・家庭 家庭分野/東京書籍

目標：(知及技)知識及び技能（思判表力)思考力、判断力、表現力等（学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能（思・判・表)思考・判断・表現（主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて，生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに，それらに係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなど，これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。 (学・人) 自分と家族，家庭生活と地域との関わりを考え，家族や地域の人々と協働し，よりよい生活の実現に向けて，生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	14	(知及技)生活の中で食事が果たす役割について理解できる。 (知及技)健康に良い食生活について理解できる。 (知及技)栄養素の種類と働きについて理解できる。 (知及技)中学生に必要な栄養の特徴について理解できる。	(知・技)生活の中で食事が果たす役割について理解している。 (知・技)健康に良い食習慣について理解している。 (思・判・表)自分の食習慣について問題を見いだして課題を設定している。 (主学)自分の食習慣について，課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 (知・技)中学生に必要な栄養の特徴について理解している。	1編 私たちの食生活 1章 食事の役割と中学生の栄養の特徴 ①どうして食事をするのだろう ②私たちの食生活 ③栄養素ってなんだろう ④中学生に必要な栄養	・食事の役割について考える。 ・食事のとり方と健康が深く関わっていることを理解し，健康に良い食習慣について考える。 ・栄養素の種類と働きについて知る。 ・中学生に必要な栄養素の特徴を考える。
		(知及技)身近な食品の栄養的な特徴について理解できる。 (知及技)6つの食品群の特徴と食品の種類と概量について理解できる。 (思判表力)中学生に必要な食品の種類と概量を踏まえ、工夫して1日分の献立を作成できる。	(知・技)中学生の1日に必要な食品の種類と概量について理解している。 (知・技)1日分の献立作成の方法について理解している。 (思・判・表)1日分の献立について，問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。 (主学)1日分の献立について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	2章 中学生に必要な栄養を満たす食事 ①食品に含まれる栄養素 ②何をどれくらい食べればよいか ③バランスの良い献立作り	・身近な食品を栄養的な特徴により6つの食品群に分類する。 ・食品群別摂取量の目安と1日に必要な食品の種類と概量を知る。 ・中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を考える。 ・不足している食品群を補うような1食分の献立を考えるを通して，中学生に必要な栄養を満たす1日分の献立を考える。
2学期	16	(思判表力)食品や衛生、食品の性質、調理の技術を踏まえ、工夫して1食分の調理を計画できる。 (知及技)計画に沿って、適切に調理をすることができる。 (知及技)野菜・いもの調理上の性質について理解できる。 (思判表力)野菜・いもの調理上の性質を踏まえ、工夫して調理できる。	(知・技)材料に適した加熱調理の仕方について理解しているとともに，基礎的な日常食の調理が適切にできる。 (思・判・表)日常の1食分の調理について問題を見いだして課題を設定し，実践に向けた計画を考え，工夫している。 (主学)日常の1食分の調理について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。 (知・技)野菜・いものに適した加熱調理の仕方について理解しているとともに，基礎的な日常食の調理が適切にできる。 (主学)野菜・いもの調理について，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりして，生活を工夫し創造し，実践しようとしている。	4章 日常食の調理と地域の食文化 ①日常食の調理 ②野菜・いもの調理	・調理に必要な手順や時間を考え，調理計画を工夫する。 ・野菜・いもの調理上の性質を知る。 ・安全と衛生に気を付けて，野菜・いもの調理をする。
3学期	5	(知及技)食品の選択と購入のために必要な情報について理解できる。 (思判表力)用途に応じた食品を考え、適切に選択できる。 (知及技)生鮮食品の特徴や表示の内容について理解できる。 (知及技)加工食品の特徴や表示の内容について理解できる。	(知・技)日常生活と関連付け、用途に応じた食品の選択について理解しているとともに，適切にできる。 (思・判・表)食品の選択について，問題を見いだして課題を設定し，解決策を構想し，実践を評価・改善し，考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	3章 調理のための食品の選択と購入 ①食品の選択と購入 ②生鮮食品の特徴 ③加工食品の特徴 ④食品の保存と食中毒の防止	・食品を選択する観点について知る。 ・食品の表示について調べ，まとめる。 ・生鮮食品の特徴と表示の内容，品質の見分け方を知る。 ・加工食品の特徴と表示の内容，品質の見分け方を知る。 ・食品のさまざまな保存方法を知る。 ・食中毒の防止について考える。
留意点 引継ぎ等		生徒の体調や理解度に応じて学習を進める。			

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部2年		東京書籍

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） ・生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 （思判表力） ・生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 （学・人） ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	35	（知及技）（学・人） ①生物育成の技術を知ることができる。	・生物を育てる技術の目的について理解している。（知・技） ・主体的に生物育成の技術について考えようとしている。（主学）	B（１）アイ 生物生育の技術の原理 法則と仕組み	・生物育成の技術の目的を知る。（食料の生産、材料・燃料の生産、健康医療など） ・生物育成の技術についてまとめる。（育成環境を調節する技術、生物の成長を管理する技術、生物の特徴を改良する技術）
		（知及技） ②作物の育成環境を調節する技術を知ることができる。	・作物の育成環境を調節する技術について理解している。（知・技）		・作物の育成環境を調節する技術について調べる。（光、温度、水分、土の管理）
		（知及技） ③作物の育成環境を調節する技術を身に付けることができる。	・作物の育成環境を調節する技術について理解している。（知・技）		・作物の成長を管理する技術について調べる。 ・作物の成長を管理する技術とその目的についてまとめる。
		（知及技） ④動物を育てる技術を知ることができる。	・動物を健康の育てるための技術について理解している。（知・技）		・人と動物との関わりについて知る。 ・家畜としての動物の利用方法を調べる。 ・動物を健康に育てるための技術を調べる。
		（知及技） ⑤水産生物を育てる技術を身に付けることができる。	・水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について理解している。（知・技）		・水産生物を安定的に供給するための養殖の技術について知る。 ・水産生物を健康に育てるための技術を調べる。
		（思判表力） ⑥生物育成の技術の工夫を読み取ることができる。	・生物育成の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気づくことができる。（思・判・表）		・生物育成の技術に込められた問題解決の工夫について考える。 ・食料の生産における問題解決の工夫などから、「技術の見方・考え方」について気付いたことをまとめる。
		（思判表力） ①問題を発見し、課題を設定し解決することができる。	・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。（思・判・表）	B（２）アイ 生物育成の技術による 問題解決	・家庭、学校、地域、社会における生物生育の技術によって解決できる問題を見つける。 ・発見した問題を解決するため課題を設定する。
		（思判表力）（学・人） ②生物の育成計画を立て実践することができる。	・育成する作物に適した環境条件について考えている。（思・判・表） ・育成する目的に合わせて、栽培計画を立てる力を身に付けている。（思・判・表） ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。（主学）		・生物を育てる目的を考え、生物の成長に合わせた育成計画を立てる。（販売用、自家消費用）（食用、観賞用、加工用、飼料用など）
		（知及技）（学・人） ⑥成長に合わせて適切に育成の方法を知ることができる。	・植物の成長の状態に合わせて、適切な管理作業を行う技術を身に付けている。（知・技） ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。（主学）		・安全に配慮し、成長の状態に合わせて適切な管理作業を行う。（ミニトマトの場合） ・定植・支柱立て・誘引・灌水・元肥・追肥・摘芽・摘芯・受粉・健康管理・病虫害駆除・収穫 ・管理作業の内容を栽培記録表にまとめる。
		（思判表力）（学・人） 問題解決の評価、改善・修正し工夫することができる。	・育成課程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。（思・判・表） ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。（主学）		・生物育成の技術による問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。
		（知及技）（思判表力） ①生物育成の技術の最適化の方法を理解することができる。	・生物育成の技術の概念について理解している。（知・技） ・生物育成の技術の最適化について考えている。（思・判・表）	B（３）アイ 社会の発展と生物育成の 技術	・自分の問題解決における最適化の場面を振り返り、社会の問題解決における最適化と比較する。（社会からの要求・安全性・環境への付加・経済性） ・生物育成の技術のプラス面、マイナス面について考え、これからどのように技術の最適化を図っていくとよいかまとめる。
		（思判表力）（学・人） ②これからの生物育成の技術の方法を実践することができる。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。（思・判・表） ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造しようとしている。（主学）		・持続可能な社会の構築のために、これからの生物育成の技術について考える。
		（知及技）（学・人） ①エネルギー変換の技術を知ることができる。	・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換について理解している。（知・技） ・主体的にエネルギー変換の技術について考えようとしている。（主学）	C（１）アイ エネルギー変換の技術の 原理・法則と仕組み	・生活や社会の中で利用されているエネルギー変換の技術について調べる。 ・エネルギー変換効率について知る。
		（知及技）（思判表力） ②発電の仕組みと特徴を理解することができる。	・発電の仕組みと特徴について理解している。（知・技） ・様々な発電方法に込められた技術の工夫について考える。（思・判・表）		・発電の仕組みと特徴についてまとめる。 ・様々な発電方法のプラス面、マイナス面について調べ、適切な発電構成割合について自分なりに考える。
		（知及技）（思判表力） ③電気を供給する仕組みを知ることができる。	・電源の種類や特徴や、送電・配電の仕組みを理解している。（知・技） ・送電・配電の技術の工夫について考えている。（思・判・表）		・電源の種類と特徴についてまとめる。 ・送電、配電について調べる。

		(知及技) ④電気回路について考えることができる。	・電気回路の仕組みについて理解している。(知・技) ・簡単な電気回路を回路図で表すことができる技術を身に付けている。(知・技)	C (1) アイ エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み	・電気エネルギーを利用する仕組みを調べる。 ・電気回路について、電気用図記号も用いた回路図で表す。
		(知及技)(思判表力) ⑤電気機器を安全に使用するための技術を理解することができる。	・電気機器の安全な使い方について理解している。(知・技) ・電気による事故を防ぐ方法について考えている。(思・判・表)		・電気を安全に使うための技術の工夫について調べ、まとめる。(・漏電・感電) ・電気機器の安全な使い方について考える。
		(知及技) ⑥運動エネルギーへの変換と利用の方法を理解することができる。	・機械が運動を伝える仕組みについて理解している。(知・技) ・運動の種類とエネルギー変換について理解している。(知・技)		・機械が運動を伝える仕組みについて調べる。 ・機械の運動の種類とエネルギー変換についてまとめる。 (直線運動、回転運動、揺動運動)
		(知及技) ⑦回転運動を伝える仕組みの方法を理解することができる。	・回転運動を伝える仕組みの特徴と用途を理解している。(知・技)		・回転運動を伝える仕組みの特徴と用途を調べる。 ・回転速度と回転力の関係を調べる。
		(知及技) ⑧機械が動く仕組みを理解することができる。	・リンク機構やカム機構について理解している。(知・技) ・熱や水、空気などの流体を用いたエネルギー変換の特性について理解している。(知・技)		・往復直線運動や揺動運動などを伝えるリンク機構やカム機構の仕組みを調べる。 ・流体を用いて動く機械や熱エネルギーで動く機械を調べる。
		(知及技) ⑨機器の共通部品と保守点検の大切について知ることができる。	・機器の共通部品と保守点検の大切さを理解している。(知・技)		・機器の共通部品について知る。 ・機器を安全に利用するために保守点検が必要であることを知る。 ・身近な機器の保守点検をする。
		(思判表力) ⑩エネルギー変換の技術の工夫を読み取ることができる。	・エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取り、「技術の見方・考え方」に気づくことができる。(思・判・表)		・エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考える・身近な製品の問題解決の工夫などから、「技術の見方・考え方」について気付いたことをまとめる。
2 学 期 (前 半)		(思判表力) ①問題を発見し、課題を設定し解決することができる。	・技術の見方・考え方を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思・判・表)	C (2) アイ エネルギー変換の技術による問題解決	・生活や社会生活における光、熱、動力などのエネルギー変換の技術によって解決できる問題を見つける。 ・発見した問題を解決するための課題を設定する。
		(知及技)(思判表力)(学・人) ②電気回路を設計・製作することができる。	・構想に基づいて設計し、電気回路の回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。(知・技) ・構想に基づいて、製作の計画を立てる力を身に付けている。(思・判・表) ・自分なりの新しい考えや捉え方によって、知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。(主学) ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。(主学)		・設計要素を検討する。 (電源・制御・負荷) ・構想をまとめ、製作に必要な図を描く。 ・プロトタイプ(試作)、シミュレーションを行う。 ・目的の電気回路が決まったら、安全に配慮し、製作、実装、点検・調整を行う。
		(知及技)(思判表力)(学・人) ③機構モデルを設計・製作することができる。	・構想に基づいて設計し、機構モデルの回路図や組立図にまとめることができる技能を身に付けている。(知・技) ・構想に基づいて、製作の計画を立てる力を身に付けている。(思・判・表) ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって知的財産を創造するとともに、他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。(主学) ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。(主学)		・設計の要素を検討する。 (動力源・運動を伝える仕組み・仕事をする仕組み) ・構想をまとめ、製作に必要な図を描く。 ・プロトタイプ(試作)、シミュレーションを行う。 ・目的の機構の動きが決まったら、安全に配慮し、製作、実装、点検・調整を行う。
		(思判表力)(学・人) ④問題解決の評価、改善・修正を行うことができる。	・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。(思・判・表) ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものとなるように改善・修正しようとしている。(主学)		・エネルギー変換の技術による問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。
		(知及技)(思判表力) ①エネルギー変換の最適化について知ることができる。	・エネルギー変換の技術の概念について理解している。(知・技) ・エネルギー変換の技術の最適化について考えている。(思・判・表)		C (3) アイ 社会の発展とエネルギー変換の技術
	(思判表力)(学・人) ②これからのエネルギー変換の技術について理解することができる。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考える。(思・判・表) ・よりよい、社会の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術をくふうし創造しようとしている。(主学)	・持続可能な社会の構築のために、これらのエネルギー変換の技術について考える。		
	留意点 引継ぎ等	・「技術の見方・考え方」を働かせた深い学びになるように配慮する。 ・生物育成の技術による問題解決については、年間を通して適切な時期に実施する。 ・前期、後期で家庭科と授業を入れ替える。			

令和7年度 中学部3年（Ⅰ課程） 技術科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部3年		東京書籍

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） ・生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。 （思判表力） ・生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。 （学・人） ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学期 （後半）	35	（知及技）（学・人） ①計測・制御システムを理解することができる。	・計測・制御システムの基本的な構成を理解している。（知・技） ・計測・制御システムにけるプログラムの役割を理解している。（知・技） ・主体的に情報の技術について考えようとしている。（主学）	D（3）アイ 計測・制御のプログラミングによる問題解決について 総合的な問題解決	・身の回りにある計測・制御システムを調べる。 ・計測・制御システムにおけるプログラムの役割を調べる。 ・計測・制御システムの基本的な構成と情報の流れを調べる。
		（思判表力） ②問題を発見し、課題を設定し解決することができる。	・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。（思・判・表）		・計測・制御のプログラミングによって解決できる問題を見つける。 ・発見した問題を解決するための課題を設定する。
		（思判表力）（学・人） ③計測・制御システムを構想することができる。	・入出力されるデータの流れを基に、計測・制御システムを構想する力を身に付けている。（思・判・表） ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、知的財産権を創造するとともに他者のアイデアを尊重し、それらを保護・活用しようとしている。（主学）		・問題を解決するための計測・制御システムに必要な情報を収集し、解決作を具体化する。（センサと仕事を行う部分の選択、計測・制御システムの構成の整理、情報処理の手順の管理）
		（知及技）（思判表力）（学・人） ④問題解決の評価、改善、修正し解決することができる。	・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバックができる技術を身に付けている。（知・技） ・情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。（思・判・表） ・他者と協働して、粘り強く取り組もうとしている。（主学）		・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバックを行う。 ・エネルギー変換の技術による問題解決の学習を生かして、自動化・システム化が実現するプログラムを制作する。
		（思判表力）（学・人） ⑤問題解決の評価、改善、修正し解決することができる。	・計測・制御システムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する方法について考える。（思・判・表） ・自らの問題解決を振り返り、よりよいものに改善・修正しようとしている。（主学）		・計測・制御のプログラミングによる問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考える。
3 学期		（知及技）（思判表力） ①情報の技術の最適化を理解することができる。	・情報の技術の概念について理解している。（知・技） ・情報の技術の最適化について考える。（思判表力）	D（4） 社会の発展と情報の技術	・自分の問題解決における最適化の場面を振り返り、社会の問題解決における最適化と比較する。（社会からの要求、安全性、環境への負荷、経済性） ・情報の技術のプラス面、マイナス面について考え、これからどのように技術の最適化を図っていくとよいかまとめる。
		（思判表力）（学・人） ②これからの情報の技術について理解することができる。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を評価し、適切な選択、管理・運用、改良、応用について考えている。（思・判・表） ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、情報の技術を工夫し創造しようとしている（主学）		・持続可能な社会の構築のために、これからの情報の技術について考える。
		（学・人） ・学んだことを社会に生かすことができる。	・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工、生物育成、エネルギー変換、情報の技術を工夫し創造しようとしている。（主学）	A（3）B（3） C（3）D（4） 技術分野の学習を終えて	・3年間の技術の学習内容を振り返り、これから技術とどのように関わっていきたいかを考える。 ・地球環境や将来の世代のための技術について考え10年後、50年後の未来を予測する。
留意点 引継ぎ等		・「技術の見方・考え方」を働かせた深い学びになるように配慮する。 ・前期、後期で家庭科と授業を入れ替える。			

単位数 ／配当時数	担当者	児童生徒	教科書／副教材
4/140		中学部2年	Here We Go! 2 (光村図書)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の基本的な働きなどを理解し、4技能を活用してコミュニケーションを行うための基礎的な技能を身につける。 (思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面などに応じて、日常的な話題などについて、外国語で簡単な考えを理解したり、表現したりすることができる力を養う。 (学・人) 外国語学習を通して、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
1 学期	50	Unit 1 Hajin' s Diary	(知及技) 動詞の過去形、接続詞when、 「look[sound]+形容詞」の文の意味・ 形・使い方を理解することができる。 (思判表力) 身近な出来事や気づきを書き留めて、情報を整理して、日記を書くことができる。 (学・人) 身近な出来事や気づきを書き留めて、情報を整理して、日記を書こうとすることができる。	(知・技) 動詞の過去形、接続詞when、 「look[sound]+形容詞」の文の意味・ 形・使い方を理解している。 (思・判・表) 身近な出来事や気づきを書き留めて、情報を整理して、日記を書いている。 (主学) 身近な出来事や気づきを書き留めて、情報を整理して、日記を書こうとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中で一般動詞／be動詞の過去形・接続詞when・look[sound]+形容詞の意味・形・使い方を理解し練習する。
		Daily Life 1 電話	(知及技) Can you ～? を使った依頼のしかたや電話特有の表現などの意味や働きを理解することができる。 (思判表力) 友達と出かける約束をするために、伝えたい情報を整理して、電話で用件を伝えたり、相手からの質問に答えることができる。 (学・人) 友達と出かける約束をするために、伝えたい情報を整理して、電話で用件を伝えたり、相手からの質問に答えようとする事ができる。	(知・技) Can you ～? を使った依頼のしかたや電話特有の表現などの意味や働きを理解している。 (思・判・表) 友達と出かける約束をするために、伝えたい情報を整理して、電話で用件を伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。 (主学) 友達と出かける約束をするために、伝えたい情報を整理して、電話で用件を伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	・電話で、何かを頼んだり応じたりする。
		Unit 2 Basketball Tournament	(知及技) 動名詞、不定詞の名詞的用法、接続詞thatの意味・形・使い方・動名詞、不定詞の名詞的用法、接続詞thatなどを理解することができる。 (思判表力) したいことや大切だと思うことが伝わるように、企画への希望や意見をその場で伝え合っている。企画への希望や意見をその場で伝えることができる。 (学・人) したいことや大切だと思うことが伝わるように、企画への希望や意見をその場で伝えることができる。	(知・技) 動名詞、不定詞の名詞的用法、接続詞thatの意味・形・使い方・動名詞、不定詞の名詞的用法、接続詞thatなどを理解している。 (思・判・表) したいことや大切だと思うことが伝わるように、企画への希望や意見をその場で伝え合っている。企画への希望や意見をその場で伝え合っている。 (主学) したいことや大切だと思うことが伝わるように、企画への希望や意見をその場で伝え合おうとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中で動名詞・不定詞〈名詞的用法〉・接続詞thatの意味・形・使い方を理解し練習する。
		Daily Life 2 ラジオのニュース ☒	(知及技) 接続詞when、動名詞や不定詞の名詞的用法、How long ～?などの意味や働きを理解することができる。 (思判表力) どのようなことが話題に取り上げられているかを知るために、ラジオのニュースを聞いて、おおまかな内容を捉えることができる。 (学・人) どのようなことが話題に取り上げられているかを知るために、ラジオのニュースを聞いて、おおまかな内容を捉えようとする事ができる。	(知・技) 接続詞when、動名詞や不定詞の名詞的用法、How long ～?などの意味や働きを理解している。 (思・判・表) どのようなことが話題に取り上げられているかを知るために、ラジオのニュースを聞いて、おおまかな内容を捉えている。 (主学) どのようなことが話題に取り上げられているかを知るために、ラジオのニュースを聞いて、おおまかな内容を捉えようとしている。	・ニュースを聞いて、おおまかな内容を捉える。
		Active Grammar 1 動名詞／不定詞〈名詞的用法〉 ☒	(知及技) 動名詞や、不定詞の名詞的用法の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。	(知・技) 動名詞や、不定詞の名詞的用法の意味・形・使い方を理解し、活用する技能を身につけている。	・動名詞や不定詞〈名詞的用法〉の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。
		Unit 3 Plans for the Summer ☒	(知及技) be going to, 助動詞will, 接続詞ifの文の意味・形・使い方を理解することができる。 (思判表力) 簡単な語句や文を用いてメールの返事を書くことができる。 (学・人) 簡単な語句や文を用いてメールの返事を書こうとすることができる。	(知・技) be going to, 助動詞will, 接続詞ifの文の意味・形・使い方を理解している。 (思・判・表) 簡単な語句や文を用いてメールの返事を書いている。 (主学) 簡単な語句や文を用いてメールの返事を書こうとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中で「be going to+動詞の原形」・助動詞will・接続詞ifの意味・形・使い方を理解し、活用する。
		Daily Life 3☒ アナウンス ☒ ☒	(知及技) 数字や時刻・時間、天気、気温の言い方、助動詞willなどの意味や働きを理解することができる。 (思判表力) 便の変更を知らせる空港アナウンスから、必要な情報を聞き取ることができる。 (学・人) 便の変更を知らせる空港アナウンスから、必要な情報を聞き取ろうとすることができる。	(知・技) 数字や時刻・時間、天気、気温の言い方、助動詞willなどの意味や働きを理解している。 (思・判・表) 便の変更を知らせる空港アナウンスから、必要な情報を聞き取っている。 (主学) 便の変更を知らせる空港アナウンスから、必要な情報を聞き取ろうとしている。	・アナウンスから、必要な情報を聞き取る。

		Active Grammar 2☒ be going to／will ☒ ☒	(知及技) be going toや助動詞willの意味・形・使い方を理解し、活用することができる。	(知・技) be going toや助動詞willの意味・形・使い方を理解し、活用している。	・be going toや助動詞willの形や意味、働きを整理し、使う練習をする。
2 学 期	55	Let' s Read 1☒ The Cookies ☒ ☒	(知及技) 出来事の順序や時を表す語句、人物の動作や気持ちを表す語句、接続詞whenなどの意味や働きを理解し、読み取ることができる。 (思判表力) 読むことの楽しみを味わうために、クッキーを巡る2人の男女の物語を読み、あらすじを捉えることができる。 (学・人) 読むことの楽しみを味わうために、クッキーを巡る2人の男女の物語を読み、あらすじを捉えようすることができる。	(知・技) 出来事の順序や時を表す語句、人物の動作や気持ちを表す語句、接続詞whenなどの意味や働きを理解し、読み取っている。 (思・判・表) 読むことの楽しみを味わうために、クッキーを巡る2人の男女の物語を読み、あらすじを捉えている。 (主学) 読むことの楽しみを味わうために、クッキーを巡る2人の男女の物語を読み、あらすじを捉えようとしている。	・タイトルや挿絵から、物語の内容を予想し、出来事の詳細を読み取る。
		Daily Life 4☒ レストラン ☒ ☒	(知及技) Shall I ～? やWould you ～? など注文のやり取りに特有の表現の意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) シンガポールのレストランで朝食を食べるために、メニューをもとに注文のやり取りをすることができる。 (学・人) シンガポールのレストランで朝食を食べるために、メニューをもとに注文のやり取りをすることができる。	(知・技) Shall I ～? やWould you ～? など注文のやり取りに特有の表現の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) シンガポールのレストランで朝食を食べるために、メニューをもとに注文のやり取りをしている。 (主学) シンガポールのレストランで朝食を食べるために、メニューをもとに注文のやり取りをしようとしている。	・飲食店で注文をする。
		You Can Do It! 1☒ 「わが町観光プラン」をおすすめしよう ☒ ☒	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 必要な情報を読み取り、観光プランを書くことができる。 (学・人) 必要な情報を整理して、観光プランを書くことができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 必要な情報を読み取り、観光プランを書いている。 (主学) 必要な情報を整理して、観光プランを書こうとしている。	・交換留学生の自己紹介文から、必要な情報を読み取り、観光プランを書く。
		World Tour 1☒ English Around the World ☒ ☒	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 題材についての理解を深めるために、動画を見て気がついたことをその場で伝えることができる。 (学・人) 動画を見て気がついたことをその場で伝え合おうとしている。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 題材についての理解を深めるために、動画を見て気がついたことをその場で伝え合っている。 (主学) 動画を見て気がついたことをその場で伝え合おうとしている。	・さまざまな（国の）人へのインタビュー動画から、おおまかな内容を捉える。
		Unit 4☒ Tour in Singapore ☒ ☒	(知及技) There is ～.、「S+V+0+0」、不定詞の形容詞的用法の文の意味・形・使い方を理解することができる。 (思判表力) 必要な情報を読み取り、自分が紹介したい名物について説明することができる。 (学・人) 伝えたい情報を整理して、自分が紹介したい名物について詳しく説明しようすることができる。	(知・技) There is ～.、「S+V+0+0」、不定詞の形容詞的用法の文の意味・形・使い方を理解している。 (思・判・表) 必要な情報を読み取り、自分が紹介したい名物について説明している。 (主学) 伝えたい情報を整理して、自分が紹介したい名物について詳しく説明しようとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中でThere is ～・「S+V+0+0」・不定詞〈形容詞的用法〉の肯定文・疑問文・否定文の意味・形・使い方を理解し、練習する。
		Active Grammar 3 目的語	(知及技) 「S+V+0」、「S+V+0+0」の文の意味・形・使い方を理解することができる。	(知・技) 「S+V+0」、「S+V+0+0」の文の意味・形・使い方を理解している。	・「S+V+0」「S+V+0+0」の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。
		Unit 5☒ How Do We Stay Safe? ☒ ☒	(知及技) 助動詞must、「have to+動詞の原形」、不定詞に代わるItの文の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。 (思判表力) 必要な情報を聞き取り、意見を伝え合うことができる。 (学・人) 必要な情報を聞き取り、意見を伝えようすることができる。	(知・技) 助動詞must、「have to+動詞の原形」、不定詞に代わるItの文の意味・形・使い方を理解し、活用している。 (思・判・表) 必要な情報を聞き取り、意見を伝えあっている。 (主学) 必要な情報を聞き取り、意見を伝えようとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中で助動詞must・have to+動詞の原形の意味・形・使い方を理解し、練習する。
		Daily Life 5☒ 電車の乗り換え ☒ ☒	(知及技) May I ～?、「how to+動詞の原形」、Could you tell me the way to ～?など道案内特有の表現の意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 電車の乗り換えについてたずねたり、乗り換えや切符の買い方を案内することができる。 (学・人) 電車の乗り換えについてたずねたり、乗り換えや切符の買い方を案内したりしようすることができる。	(知・技) May I ～?、「how to+動詞の原形」、Could you tell me the way to ～?など道案内特有の表現の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 電車の乗り換えについてたずねたり、乗り換えや切符の買い方を案内したりしている。 (主学) 電車の乗り換えについてたずねたり、乗り換えや切符の買い方を案内したりしようとしている。	・電車の乗り換えについてたずねたり、案内をしたりする。
		Daily Life 6☒ 体調不良 ☒ ☒	(知及技) 助動詞shouldや、体調に関するやり取りに特有の表現や語句などの意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 体調が悪そうな友達を助けるために、体調をたずねたり、相手の返答に応じた助言をすることができる。 (学・人) 体調が悪そうな友達を助けるために、体調をたずねたり、相手の返答に応じた助言をしようすることができる。	(知・技) 助動詞shouldや、体調に関するやり取りに特有の表現や語句などの意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 体調が悪そうな友達を助けるために、体調をたずねたり、相手の返答に応じた助言をしたりしている。 (主学) 体調が悪そうな友達を助けるために、体調をたずねたり、相手の返答に応じた助言をしたりしようとしている。	・体調をたずねたり、助言をしたりする。
		Active Grammar 4☒ 助動詞 ☒ ☒	(知及技) 助動詞can, will, may, shall, could, would, must, shouldの意味・形・使い方を理解し、活用することができる。	(知・技) 助動詞can, will, may, shall, could, would, must, shouldの意味・形・使い方を理解し、活用している。	・助動詞の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。

3 学期	35	Unit 6☒☒☒ Guide Dogs	(知及技) 目的・原因を表す不定詞〈副詞的用法〉、接続詞because、原因を表す不定詞〈副詞的用法〉の文の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。 (思判表力) 伝えたい情報を整理して、紹介したいボランティア活動についての記事を書くことができる。 (学・人) 伝えたい情報を整理して、紹介したいボランティア活動についての記事を書いている。	(知・技) 目的・原因を表す不定詞〈副詞的用法〉、接続詞because、原因を表す不定詞〈副詞的用法〉の文の意味・形・使い方を理解し、活用している。 (思・判・表) 伝えたい情報を整理して、紹介したいボランティア活動についての記事を書いている。 (主学) 伝えたい情報を整理して、紹介したいボランティア活動についての記事を書こうとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中で目的・原因を表す不定詞〈副詞的用法〉・接続詞becauseの意味・形・使い方を理解し、練習する。
		Active Grammar 5☒☒☒ 不定詞〈形容詞的用法・副詞的用法〉	(知及技) 不定詞の形容詞的用法と副詞的用法の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。	(知・技) 不定詞の形容詞的用法と副詞的用法の意味・形・使い方を理解し、活用している。	・不定詞の形容詞的用法と副詞的用法の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。
		Active Grammar 6☒☒☒ 接続詞	(知及技) 接続詞when, if, because, thatの意味・形・使い方を理解し、活用することができる。	(知・技) 接続詞when, if, because, thatの意味・形・使い方を理解し、活用している。	・接続詞の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。
		Let' s Read 2☒☒☒ Meet Hanyu Yuzuru	(知及技) 不定詞、接続詞when, because, that、助動詞can [could], mayなどの意味や働きを理解し、活用できる。 (思判表力) インタビュー記事を読み、おおまかな内容を捉えることができる。 (学・人) インタビュー記事を読み、おおまかな内容を捉えようすることができる。	(知・技) 不定詞、接続詞when, because, that、助動詞can [could], mayなどの意味や働きを理解し、活用できる。 (思・判・表) インタビュー記事を読み、おおまかな内容を捉えている。 (主学) インタビュー記事を読み、おおまかな内容を捉えようとしている。	・羽生さんについての出来事や考え・メッセージを読み取る。
		You Can Do It! 2☒☒☒ 誰もが楽しめるイベントを提案しよう	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、提案内容を発表したりすることができる。 (思判表力) 自分の意見や考えを整理して、「誰一人取り残さないイベント」を実現する提案をすることができる。 (学・人) 自分の意見や考えを整理して「誰一人取り残さないイベント」を実現する提案をしようすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、提案内容を発表したりする技能を身につけている。 (思・判・表) 自分の意見や考えを整理して、「誰一人取り残さないイベント」を実現する提案をしている。 (主学) 自分の意見や考えを整理して「誰一人取り残さないイベント」を実現する提案をしようとしている。	・必要な情報を聞き取り、イベントのコンセプトを実現するための提案をする。
		Daily Life 7☒☒☒ オンラインツアー	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活用できる。 (思判表力) オンラインツアーの案内や参加者のレビューから、必要な情報を読み取ることができる。 (学・人) オンラインツアーの案内や参加者のレビューから、必要な情報を読み取ろうとすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活用している。 (思・判・表) オンラインツアーの案内や参加者のレビューから、必要な情報を読み取っている。 (主学) オンラインツアーの案内や参加者のレビューから、必要な情報を読み取ろうとしている。	・オンラインツアーの案内から、必要な情報を読み取る。
		World Tour 2☒☒☒ Working Around the World	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 世界で活躍する人について紹介する音声聞いて、おおまかな内容を捉えることができる。 (学・人) 世界で活躍する人について紹介する音声聞いて、おおまかな内容を捉えようすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 世界で活躍する人について紹介する音声聞いて、おおまかな内容を捉えている。 (主学) 世界で活躍する人について紹介する音声聞いて、おおまかな内容を捉えようとしている。	・世界で活躍する人を紹介している音声から、おおまかな内容を捉える。
		Unit 7☒☒☒ Working Together	(知及技) er, -estを使う比較級や最上級more, most, as ~ as ... の文の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。 (思判表力) 複数のポスター案を比べて、自分の意見とその理由を伝えることができる。 (学・人) 複数のポスター案を比べて、自分の意見とその理由を伝えようすることができる。	(知・技) -er, -estを使う比較級や最上級more, most, as ~ as ... の文の意味・形・使い方を理解し、活用している。 (思・判・表) 複数のポスター案を比べて、自分の意見とその理由を伝え合っている。 (主学) 複数のポスター案を比べて、自分の意見とその理由を伝え合おうとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中で-er, -est/more, mostを使う比較級や最上級の意味・形・使い方を理解し、練習する。
		Active Grammar 7☒☒☒ 比較表現	(知及技) 比較表現の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。	(知・技) 比較表現の意味・形・使い方を理解し、活用している。	・比較表現の使用場面、意味、文の形を整理し、使う練習をする。
		Unit 8☒☒☒ Performing a Play	(知及技) 「want+人+不定詞」、「make+人・もの+形容詞」、受け身の文の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。 (思判表力) Eriの手紙を読み取り、Hajinになったつもりで伝えたいことを整理して、手紙の返事を書くことができる。 (学・人) Hajinになったつもりで伝えたいことを整理して、手紙の返事を書こうとすることができる。	(知・技) 「want+人+不定詞」、「make+人・もの+形容詞」、受け身の文の意味・形・使い方を理解し、活用している。 (思・判・表) Eriの手紙を読み取り、Hajinになったつもりで伝えたいことを整理して、手紙の返事を書いている。 (主学) Hajinになったつもりで伝えたいことを整理して、手紙の返事を書こうとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中で「want+人+不定詞」・「make+人・もの+形容詞」の意味・形・使い方を理解し、練習する。
		Active Grammar 8☒☒☒ 受け身の文	(知及技) 受け身の文の意味・形・使い方を理解して、活用することができる。	(知・技) 受け身の文の意味・形・使い方を理解して、活用している。	・受け身の文の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。
		World Tour 3☒☒☒ New Seven Wonders of the World	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活用ができる。 (思判表力) 世界のワンダーについての動画を見て、おおまかな内容を捉えることができる。 (学・人) 世界のワンダーについての動画を見て、おおまかな内容を捉えようすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活用している。 (思・判・表) 世界のワンダーについての動画を見て、おおまかな内容を捉えている。 (主学) 世界のワンダーについての動画を見て、おおまかな内容を捉えようとしている。	・日本の絵文字が世界に広まった経緯とその理由、国による絵文字の使い方の違いや、他国で新たに生まれた絵文字について読み取る。

3 学期	35	You Can Do It! 3 かるたで地域のPRをしよう ☒	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活用することができる。 (思判表力) かるたにして紹介したいものについて、意見やその理由などを整理して伝え合うことができる。 (学・人) かるたにして紹介したいものについて、意見やその理由などを整理して伝え合おうとすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活用している。 (思・判・表) かるたにして紹介したいものについて、意見やその理由などを整理して伝え合っている。 (主学) かるたにして紹介したいものについて、意見やその理由などを整理して伝え合おうとしている。	・郷土かるたの札の説明を聞き、おおまかな内容を捉え、自分たちの地域に取り上げたい物を選ぶ。
		Let' s Read More 1 Plastic Food Samples ☒	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活用することができる。 (思判表力) 食品サンプルを知るために、記事を読み、おおまかな内容を捉えることができる。 (学・人) 食品サンプルの記事を読み、おおまかな内容を捉えようとするすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活用している。 (思・判・表) 食品サンプルを知るために、記事を読み、おおまかな内容を捉えている。 (主学) 食品サンプルの記事を読み、おおまかな内容を捉えようとしている。	・食品サンプルの歴史や変化を読み取り、食品サンプルについて話し合う。
		Let' s Read More 2 Ainu, My Voice ☒	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活用することができる。 (思判表力) ブログを読み、おおまかな内容を捉えることができる。 (学・人) ブログを読み、おおまかな内容を捉えようとするすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活用している。 (思・判・表) ブログを読み、おおまかな内容を捉えている。 (主学) ブログを読み、おおまかな内容を捉えようとしている。	・アイヌの歴史と、主人公の女性がアイヌ語の歌でアイヌ文化を広めるに至るまでの出来事を読み取り、Tinaの感想を読み取る。
		Story Retelling	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活用することができる。 (思判表力) 情報を整理して、登場人物や出来事などについて説明することができる。 (学・人) 情報を整理して、登場人物や出来事などについて説明しようとするすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活用している。 (思・判・表) 情報を整理して、登場人物や出来事などについて説明している。 (主学) 情報を整理して、登場人物や出来事などについて説明しようとしている。	・ストーリーについて、簡単な語句や文を使って話す。
		Let' s Talk!	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活用することができる。 (思判表力) 相手のことをよく知るために、自分自身や興味のあることについてその場で伝え合うことができる。 (学・人) 相手のことをよく知るために、自分自身や興味のあることについてその場で伝え合おうとすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活用している。 (思・判・表) 相手のことをよく知るために、自分自身や興味のあることについてその場で伝え合っている。 (主学) 相手のことをよく知るために、自分自身や興味のあることについてその場で伝え合おうとしている。	・自分や相手のことについて、その場でやり取りする。
		留意点 引継ぎ等		特になし	

令和7年度 中学部3年（Ⅰ課程） 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	担当者	児童生徒	教科書／副教材
3/105		中学部3年	Here We Go! 3 (光村図書)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語の音声、語彙、表現、文法、言語の基本を理解し実際の場面に於いて活用しようとする態度を身につける。 (思判表力) 目的や場面に応じて自分の事や社会問題などを簡単な英語で表現したり、順序立てて伝え合ったり、理解しようとする態度を養う。 (学・人) 背景となる文化についての理解を深め、相手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
1 学期	38	Unit 1 Virtual Safari Tour ☒	(知及技) 受け身の文、「let [help]+人・もの+動詞の原形」、「tell+人+that+文」の意味・形・使い方を理解して、活用ができる。 (思判表力) 読み取った事実などをもとに、伝える内容を整理し、感心したことや驚いたことを発表ができる。 (学・人) 読み取った事実などをもとに、伝える内容を整理し、感心したことや驚いたことを発表しようすることができる。	(知・技) 受け身の文、「let [help]+人・もの+動詞の原形」、「tell+人+that+文」の意味・形・使い方を理解して、活用している。 (思・判・表) 読み取った事実などをもとに、伝える内容を整理し、感心したことや驚いたことを発表している。 (主学) 読み取った事実などをもとに、伝える内容を整理し、感心したことや驚いたことを発表しようとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中で受け身の文・「let [help]+人・もの+動詞の原形」、「tell+人+that+文」の意味・形・使い方を理解し、練習する。
		Daily Life 1 計画を立てよう ☒	(知及技) be going to、曜日や時刻を表す語句、want to ～ など、予定や希望を表す表現や語句の意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 週末の計画を立てるために、週末の予定についての相手からの質問に、予定表や案内ポスターをもとにその場で答えることができる。 (学・人) 週末の計画を立てるために、週末の予定についての相手からの質問に、予定表や案内ポスターをもとにその場で答えようすることができる。	(知・技) be going to、曜日や時刻を表す語句、want to ～ など、予定や希望を表す表現や語句の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 週末の計画を立てるために、週末の予定についての相手からの質問に、予定表や案内ポスターをもとにその場で答えている。 (主学) 週末の計画を立てるために、週末の予定についての相手からの質問に、予定表や案内ポスターをもとにその場で答えようとしている。	・音声聞いて、質問された内容に答える。
		Unit 2 Our School Trip ☒	(知及技) 現在完了形の〈完了〉や〈経験〉の用法の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。 (思判表力) 参加するコースを決めるために、聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりすることができる。 (学・人) 聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりすることができる。	(知・技) 現在完了形の〈完了〉や〈経験〉の用法の意味・形・使い方を理解し、活用している。 (思・判・表) 参加するコースを決めるために、聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりしている。 (主学) 聞いた話をまとめたり、自分の意見を伝えたりしようとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中で現在完了形〈完了〉や〈経験〉の用法の意味・形・使い方を理解し、練習する。
		Daily Life 2 留守番電話 ☒	(知及技) 不定詞の副詞的用法、Could you ～? など依頼を表す表現や語句、接続詞if、交通手段や場所や持ち物に関する語句の意味や働きを理解し、活用できる。 (思判表力) 相手からの依頼に答えるために、情報を整理して、メッセージを書くことができる。 (学・人) 相手からの依頼に答えるために、情報を整理して、メッセージを書くことができる。	(知・技) 不定詞の副詞的用法、Could you ～? など依頼を表す表現や語句、接続詞if、交通手段や場所や持ち物に関する語句の意味や働きを理解し、活用できる。 (思・判・表) 相手からの依頼に答えるために、情報を整理して、メッセージを書いている。 (主学) 相手からの依頼に答えるために、情報を整理して、メッセージを書こうとしている。	・留守番電話を聞いて用件を把握し、返答をする。
		Unit 3 Lessons From Hiroshima	(知及技) 現在完了形の「継続」の用法、現在完了進行形、「疑問詞+to+動詞の原形」の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。 (思判表力) 読んだことをもとに感想や考えを整理してレポートを書くことができる。 (学・人) 読んだことをもとに感想や考えを整理してレポートを書こうすることができる。	(知・技) 現在完了形の「継続」の用法、現在完了進行形、「疑問詞+to+動詞の原形」の意味・形・使い方を理解し、活用している。 (思・判・表) 読んだことをもとに感想や考えを整理してレポートを書いている。 (主学) 読んだことをもとに感想や考えを整理してレポートを書こうとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中で現在完了形〈継続〉・現在完了進行形、「疑問詞+to+動詞の原形」の用法の意味・形・使い方を理解し、練習する。
		Active Grammar 1 現在完了形／現在完了進行形 ☒	(知及技) 現在完了形や現在完了進行形の文の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。	(知・技) 現在完了形や現在完了進行形の文の意味・形・使い方を理解し、活用している。	・現在完了形〈完了〉〈経験〉〈継続〉の用法の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。
		Let' s Read 1 Visas for 6,000 Lives ☒	(知及技) 時間の経過や人物の行動・思いを表す表現や語句などの意味や働きを理解することができる。 (思判表力) 読んだ伝記のおおまかな内容を整理して、自分の言葉で説明することができる。 (学・人) 読んだ伝記のおおまかな内容を整理して、自分の言葉で説明しようすることができる。	(知・技) 時間の経過や人物の行動・思いを表す表現や語句などの意味や働きを理解している。 (思・判・表) 読んだ伝記のおおまかな内容を整理して、自分の言葉で説明している。 (主学) 読んだ伝記のおおまかな内容を整理して、自分の言葉で説明しようとしている。	・ユダヤ人の置かれた状況や杉原千畝の決断を読み取る。

2 学 期	42	You Can Do It! 1 学校生活について意見をまとめよう ☒	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 学校生活について書かれた意見文をもとに話し合い、グループの意見をまとめることができる。 (学・人) 学校生活について書かれた意見文をもとに話し合い、グループの意見をまとめようすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 学校生活について書かれた意見文をもとに話し合い、グループの意見をまとめている。 (主学) 学校生活について書かれた意見文をもとに話し合い、グループの意見をまとめようとしている。	・海外の中学生の意見文を読んでおおまかな内容を捉え、自分の考えを書き込む。
		World Tour 1 Speak Up! ☒	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 紹介動画を見て、おおまかな内容を捉えることができる。 (学・人) 紹介動画を見て、おおまかな内容を捉えようすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 紹介動画を見て、おおまかな内容を捉えている。 (主学) 紹介動画を見て、おおまかな内容を捉えようとしている。	・世界を変える若者たちを紹介している動画から、おおまかな内容を捉える。
		Unit 4 AI Technology and Language ☒	(知及技) 関係代名詞which, who, thatが主語となる文の意味・形・使い方を理解し、活用できる。 (思判表力) 読んだ投稿文の内容をもとに伝える情報を整理して、自分の意見を書くことができる。 (学・人) 読んだ投稿文の内容をもとに伝える情報を整理して、自分の意見を書こうとすることができる。	(知・技) 関係代名詞which, who, thatが主語となる文の意味・形・使い方を理解し、活用できる。 (思・判・表) 読んだ投稿文の内容をもとに伝える情報を整理して、自分の意見を書いている。 (主学) 読んだ投稿文の内容をもとに伝える情報を整理して、自分の意見を書こうとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中で関係代名詞which, who, thatが主語となる文の意味・形・使い方を理解する。
		Let' s Read 2 Living with Robots ☒	(知及技) 「let [help]+人・もの+動詞の原形」、関係代名詞which, who, thatが主語となる文、動作を表す語句などの意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 情報を整理して、おすすめのロボットを紹介する記事を書くことができる。 (学・人) 情報を整理して、おすすめのロボットを紹介する記事を書こうとすることができる。	(知・技) 「let [help]+人・もの+動詞の原形」、関係代名詞which, who, thatが主語となる文、動作を表す語句などの意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 情報を整理して、おすすめのロボットを紹介する記事を書いている。 (主学) 情報を整理して、おすすめのロボットを紹介する記事を書こうとしている。	・説明文全体を通して聞いたり読んだり、内容を捉える。
		Daily Life 3 レシピ	(知及技) 調理に関わる動作や道具を表す語句、前置詞句などの意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) レシピから、必要な情報を読み取ることができる。 (学・人) レシピから、必要な情報を読みとろうとすることができる。	(知・技) 調理に関わる動作や道具を表す語句、前置詞句などの意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) レシピから、必要な情報を読み取っている。 (主学) レシピから、必要な情報を読み取ろうとしている。	・レシピから、必要な情報を読み取る。
		Unit 5 My Dreams for the Future ☒	(知及技) 関係代名詞which, thatが目的語になる文や、文による後置修飾の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。 (思判表力) 調べたことや自分の考えを整理し、順序立てて発表することができる。 (学・人) 調べたことや自分の考えを整理し、順序立てて発表しようとする。	(知・技) 関係代名詞which, thatが目的語になる文や、文による後置修飾の意味・形・使い方を理解し、活用している。 (思・判・表) 調べたことや自分の考えを整理し、順序立てて発表している。 (主学) 調べたことや自分の考えを整理し、順序立てて発表しようとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中で関係代名詞which, thatが目的語になる文の意味・形・使い方を理解し、練習する。
		Daily Life 4 講演 ☒	(知及技) 環境問題に関する語句や、資料を示すときに用いる語句や表現などの意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 聞いたことをもとに、メッセージを書くことができる。 (学・人) 聞いたことをもとに、メッセージを書こうとすることができる。	(知・技) 環境問題に関する語句や、資料を示すときに用いる語句や表現などの意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 聞いたことをもとに、メッセージを書いている。 (主学) 聞いたことをもとに、メッセージを書こうとしている。	・講演を聞いて、おおまかな内容を捉え、感想を書く。
		Unit 6 The Chorus Contest ☒	(知及技) 動詞の-ing形による後置修飾、過去分詞による後置修飾、間接疑問文の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。 (思判表力) 情報を整理して説明したり、相手からの質問に答えることができる。 (学・人) 情報を整理して説明したり、相手からの質問に答えたりしようとする。	(知・技) 動詞の-ing形による後置修飾、過去分詞による後置修飾、間接疑問文の意味・形・使い方を理解し、活用している。 (思・判・表) 情報を整理して説明したり、相手からの質問に答えたりしている。 (主学) 情報を整理して説明したり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中で動詞の-ing形による後置修飾の意味・形・使い方を理解、練習する。
		Active Grammar 2 後置修飾 ☒	(知及技) 後置修飾を使った文の意味・形・使い方を理解し、活用することができる。	(知・技) 後置修飾を使った文の意味・形・使い方を理解し、活用している。	・前置詞、不定詞、動詞の-ing形、過去分詞・接触節や関係代名詞を使った後置修飾の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。
		You Can Do It! 2 持続可能な社会に向けレポートしよう ☒	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 情報を整理して持続可能な社会に向けた取り組みの報告を書くことができる。 (学・人) 情報を整理して持続可能な社会に向けた取り組みの報告を書こうとすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 情報を整理して持続可能な社会に向けた取り組みの報告を書いている。 (主学) 情報を整理して持続可能な社会に向けた取り組みの報告を書こうとしている。	・10代の若者たちの持続可能な社会の実現に向けた取り組みについての投稿を読み、要点を捉える。
		World Tour 2 If the World Were a Village of 100 People ☒	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 音声を聞いたり紹介動画を見たりして、おおまかな内容を捉えることができる。 (学・人) 音声を聞いたり紹介動画を見たりして、おおまかな内容を捉えようとする。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用している。 (思・判・表) 音声を聞いたり紹介動画を見たりして、おおまかな内容を捉えている。 (主学) 音声を聞いたり紹介動画を見たりして、おおまかな内容を捉えようとしている。	・世界の現状を紹介している音声を聞いて、おおまかな内容を捉える。

3 学 期	25	Unit 7 Tina' s Speech ☒	(知及技) If I could ～.やI wish I could ～.の仮定法 の文の意味・形・使い方を理解し、活用する ことができる。 (思判表力) 伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチを することができる。 (学・人) 伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチを しようすることができる。	(知・技) If I could ～.やI wish I could ～.の 仮定法の文の意味・形・使い方を理解し、 活用している。 (思・判・表) 伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチ をしている。 (主学) 伝え方を工夫して、思いが伝わるスピーチ をしようとしている。	・本文の内容を捉え、文脈の中でIf I could ～. I wish I could ～.の仮定法の文の意味・形・使い方を理解し、練習す る。
		Let' s Read 3 Changing the World ☒	(知及技) want＋人＋不定詞」、「疑問詞＋to＋動詞の原 形」、間接疑問文、If の仮定法などの意 味や働きを理解し、活用することができる。 (思判表力) 伝えたい情報を整理して、セヴァンさんのス ピーチについて考えたことを伝え合うことがで きる。 (学・人) 伝えたい情報を整理して、セヴァンさんのス ピーチについて考えたことを伝え合おうとす ることができる。	(知・技) 「want＋人＋不定詞」、「疑問詞＋to＋動 詞の原形」、間接疑問文、If の仮定 法などの意味や働きを理解し、活用してい る。 (思・判・表) 伝えたい情報を整理して、セヴァンさんの スピーチについて考えたことを伝え合っ ている。 (主学) 伝えたい情報を整理して、セヴァンさんの スピーチについて考えたことを伝え合 おうとしている。	・人類は1つの家族であり分かち合うことが大切であること や、大人の言行不一致を非難し、行動を起こすよう訴えている セヴァンさんの主張を読み取る。
		Active Grammar 3 仮定法 ☒	(知及技) 仮定法の意味・形・使い方を理解し、活用がで きる。	(知・技) 仮定法の意味・形・使い方を理解し、活用 している。	・仮定法の形や意味、働きを整理し、使う練習をする。
		Unit 8 Goodbye, Tina ☒	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用 することができる。 (思判表力) 内容や表現を工夫して、手紙を書くことがで きる (学・人) 内容や表現を工夫して、手紙を書こうとす ることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、 活用している。 (思・判・表) 内容や表現を工夫して、手紙を書してい る。 (主学) 内容や表現を工夫して、手紙を書こうと している。	・本文の内容を捉える。
		You Can Do It! 3 自分たちのこれからに言葉を贈ろ う ☒	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用 することができる。 (思判表力) 内容や表現を工夫して、気持ちが伝わる言葉 を書くことができる。 (学・人) 内容や表現を工夫して、気持ちが伝わる言葉 を書こうとすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、 活用している。 (思・判・表) 内容や表現を工夫して、気持ちが伝わる言 語を書いている。 (主学) 内容や表現を工夫して、気持ちが伝わる言 語を書こうとしている。	・それぞれの言葉に込められた思いを読み取り、友達や自分の これからに向けて贈る言葉を書く。
		Let' s Read More 1 Elections in Norway ☒	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活 用することができる。 (思判表力) 記事を読み、おおまかな内容を捉えることが できる。 (学・人) ノルウェーの選挙を紹介する記事を読み、お おまかな内容を捉えようとするこができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し て、活用している。 (思・判・表) 記事を読み、おおまかな内容を捉えてい る。 (主学) ノルウェーの選挙を紹介する記事を読み、 おおまかな内容を捉えようとしている。	・記事全体を通して読み、ノルウェーの子供たちと選挙や政治 との関わりについて読み取る。
		Let' s Read More 2 Fight for Equality ☒	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活 用することができる。 (思判表力) 伝記を読み、おおまかな内容を捉えることが できる。 (学・人) 伝記を読み、おおまかな内容を捉えようと することができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、 活用している。 (思・判・表) 伝記を読み、おおまかな内容を捉えてい る。 (主学) 伝記を読み、おおまかな内容を捉えよう としている。	・伝記全体を通して読み、20世紀中頃のアメリカ南部での黒人 への差別や隔離について読み取る。
		Let' s Read More 3 A story from The Adventures of Tom Sawyer ☒	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して、活 用することができる。 (思判表力) 物語を読み、おおまかな内容を捉えることが できる。 (学・人) 物語を読み、おおまかな内容を捉えようと することができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、 活用している。 (思・判・表) 物語を読み、おおまかな内容を捉えてい る。 (主学) 物語を読み、おおまかな内容を捉えよう としている。	・物語全体を通して読み、ある土曜日の朝のトムの状況を読み 取る。
		Story Retelling	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、活用 することができる。 (思判表力) 情報を整理して、登場人物や出来事などに ついて説明することができる。 (学・人) 情報を整理して、登場人物や出来事など について説明しようことができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解し、 活用している。 (思・判・表) 情報を整理して、登場人物や出来事など について説明している。 (主学) 情報を整理して、登場人物や出来事など について説明しようとしている。	・ストーリーについて、簡単な語句や文を使って話す。
		Let' s Talk!	(知及技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して活用 することができる。 (思判表力) 自分自身や興味のあることについてその場 で伝え合うことができる。 (学・人) 自分自身や興味のあることについてその場 で伝え合おうとすることができる。	(知・技) 既習の表現・語句の意味や働きを理解して 活用している。 (思・判・表) 自分自身や興味のあることについてその 場で伝え合っている。 (主学) 自分自身や興味のあることについてその 場で伝え合おうとしている。	・自分や相手のことについて、その場でやり取りする。
留意点 引継ぎ等	特になし				

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部2年		「中学道徳 あすを生きる②」 日本文教出版

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等

評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(中学部の目標) ・ 病弱等に基づく学習上又は生活上の困難を克服し、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図る。 ・ 経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる力を培う。 (中学部2学年の目標) ・ 個性を伸ばして充実した生き方を追求する。 ・ 役割と責任を自覚し集団生活の向上に努める。 ・ 時と場に応じた適切な言動をとる正しい判断力と実践力を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
		自らの弱さを自覚し、それを克服しようとする強さをもって、人間として気高く生きようとする態度を育む。	自分の弱さや醜さを克服し、強さや気高さに変える思いをもとうとする発言や記述が見られたか。	自分の弱さと戦え	・ 国枝さんと車椅子テニスについて知る。 ・ 教材「自分の弱さと戦え」を読み、考える。 ・ 今日の学習を振り返る。
		働く喜びを得て自分の仕事に誇りをもつことが充実した生き方につながることを理解して、主体的に将来の生き方を考えようとする実践意欲を育てる。	働く喜びや自分の仕事への誇り、充実感の面から仕事について理解し、自分なりに将来の生き方を考えようとする発言や記述が見られたか。	おばちゃんのくれた `おまじない、	・ 学習内容に対する問題意識をもつ。 ・ 教材「おばちゃんのくれた `おまじない、」を読み、考える。 ・ 今日の学習を振り返る。
		心と形が一つになった礼儀や作法の意義に気づき、相手を尊重する心を込めて、形に表していこうとする態度を養う。	礼儀が、相手を尊重し敬愛する気持ちにつながり、コミュニケーションの基本になることを理解し、「…の気持ちで挨拶したい。」「形式だけの挨拶にならないように気をつける。」のような今後の実践につながる前向きな発言や記述が見られたか。	挨拶は言葉のスキンシップ	・ ふだんの自分の挨拶の仕方や場面について振り返る。 ・ 教材「挨拶は言葉のスキンシップ」を読み、考える。 ・ 今日の学習を振り返る。
		生命がかけがえのないものであることを理解し、自他の生命を尊重する心を育て、周りの人と支え合って生きること感謝する心情を養う。	周りの人たちや動植物が互いに支え合っているといった生命の尊さに関わる発言や記述が見られたか。	最後のパートナー	・ 本時のめあてを知る。 ・ 教材「最後のパートナー」を読み、考える。 ・ 今日の学習を振り返る。
		周囲に惑わされず、自分で考え決めたことを大切にし、誠実に実行していこうとする判断力を育成する。	周囲に惑わされず、自分で考え決めたことを大切にし、誠実に実行することについて、自分なりに考えた発言や記述が見られたか。	五月の風―カナ―	・ 教材への関心を高める。 ・ 教材「五月の風―カナ―」を読み、考える。 ・ 教師の説話を聞く。
		友達からの信頼に対して誠実に応え、互いに励まし合い、高め合う本当の友達になろうとする実践意欲を育てる。	信頼し合える本当の友達とはどんな友達かを考え、よりよい友人関係を築いていこうとする発言や記述が見られたか。	五月の風―ミカー	・ 前回の学習を振り返る。 ・ 教材「五月の風―ミカー」を読み、考える。 ・ 教師の説話を聞く。
		他者の個性と人権を尊重する大切さに気づき、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする実践意欲を育む。	「他の人のことを尊重する」という考え方をとおして、歴史的な背景、風土などを踏まえてアメリカと日本の考え方を比べ、公正、公平な社会をめざし、よりよい生き方、考え方を模索するような発言や記述が見られたか。	リスペクト アザース	・ 「文化の違い」について考える。 ・ 教材「リスペクト アザース」を読み、考える。 ・ 教師の説話を聞く。
		相手の立場を尊重したさりげない親切やいたわりの行動が多様な感謝を生むことを理解し、潤いのある温かな人間関係を築こうとする態度を養う。	さりげない思いやりの心と感謝の心をもつ大切さについて発言や記述が見られたか。	名乗り出なかった友	・ 事前アンケート結果から考える。 ・ 教材「名乗り出なかった友」を読み、考える。 ・ 「日本の高齢化の現状と将来像」に関わる教師の話聞く。
		真理や真実を求めることでよりよい社会が実現されることを理解し、理想の実現をめざして、よりよく生きようとする実践意欲を育てる。	山本さんの悩みを自分との関わりで考え、真実を明らかにし、理想の実現に向かってよりよく生きようとする発言や記述が見られたか。	戦争を取材する	・ 山本美香さんについて知る。 ・ 教材「戦争を取材する」を読み、考える。 ・ 教師の説話を聞く。
		同じ世界に生きる人間として、国や時代を超えて助け合う重要性を理解し、世界平和と人類の発展に貢献しようとする実践意欲を育てる。	「同じ人間として他国と尊重し合うことが大切である。」「国際人としてこんな生き方をしたい。」といった発言や記述が見られたか。	海と空―檜野の人々―	・ トルコと日本のつながりについて知る。 ・ 教材「海と空―檜野の人々―」を読み、考える。 ・ 今日の学習を振り返って考える。

	互いに住みよい社会をめざす精神の大切さを理解し，調和と規律を保つための法やきまりを進んで守ろうとする態度を育てる。	社会には法やきまりが守られない状況があるが，知恵を出し合って粘り強くよい方向に改善していこうとする視点での発言や記述が見られたか。	美しい鳥取砂丘	・教材に対して関心を持つ。 ・教材「美しい鳥取砂丘」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。
	地域の伝統と文化を形成，維持するのは自分たちであるという自覚をもって，郷土の発展に努めようとする実践意欲を育てる。	地域社会の一員として，郷土の発展に努めようとする発言や記述があったか。	和樹の夏祭り	・生活する地域の伝統や文化などについて考える。 ・教材「和樹の夏祭り」を読み、考える。 ・教師の説話を聞く。
	集団で協力し合う大切さに気づき，狭い仲間意識を超え，よりよい校風をつくろうとする実践意欲を育てる。	自己中心的な考えや狭い仲間意識を超え，互いに理解し協力し合ってよい学校をつくることが大切だといった発言や記述が見られたか。	ハイタッチがくれたもの	・いじめへの取り組みを知る。 ・教材「ハイタッチがくれたもの」を読み、考える。 ・話し合ったことをもとに、自分の考えをまとめる。
	同調圧力に流され差別や偏見を傍観してしまう人間の弱さに気づき，集団の一人として差別や偏見を許さず正義を実現しようとする態度を育てる。	自分の学校生活などを振り返って，偏った見方や考え方によって生じている不公平に気づき，それらをなくすよう努力していこうとする発言や記述が見られたか。	ヨシト	・「少数派」に対する自分の気持ちについて振り返る。 ・教材「ヨシト」を読み、考える。 ・話し合ったことをもとに、自分の考えをまとめる。
	誠実に行動することの大切さを理解し，自主的に行動して，その結果に責任をもとうとする態度を育てる。	善悪の判断を正しく行い，目には見えない相手であっても誠実に行動しようとする発言や記述が見られたか。	ネット将棋	・将棋に対して興味を持つ。 ・教材「ネット将棋」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。
	自然の美しさや神秘さ，偉大さを感じ，人間の力をはるかに超えたものをおそれ敬おうとする心情を育てる。	自然のかけがえのなさや偉大さを感じとり，畏敬の念を深めているような発言や記述があったか。	樹齢七千年の杉	・自然の美しさや雄大さに感動した体験を発表する。 ・教材「樹齢七千年の杉」を読み、考える。 ・教師の体験談を聞く。
35	人それぞれにかならず固有のよさがあることを理解し，その発見と自己受容，自己理解に努め，自分らしく生きようとする態度を育む。	自分には自分のよさがあり，他人にもよさがあることを発見して，自分に自信をもとうとする発言や記述が見られたか。	「自分」ってなんだろう	・自分のよいところを考える。 ・お互いのよいところを探す。 ・教材「『自分』ってなんだろう」を読み、考える。 ・教師の説話を聞く。
	それぞれの職業が社会の発展に貢献していることを理解し，将来の生き方について考えを深めようとする実践意欲を養う。	自己の資質・能力を生かして社会に貢献することに意味があるといった職業観に関わる発言や記述が見られたか。	小さな工場の大きな仕事	・将来なりたい職業について、自由に発表する。 ・教材「小さな工場の大きな仕事」を読み、考える。 ・教師の説話を聞く。
	かけがえのない生命を与えられていることに気づいて感謝し，自他の生命を尊重しようとする心情を培う。	生命の尊さを理解し，生命の尊厳について理解を深めた発言や記述が見られたか。	体験ナースをとおして	・「命」について考える。 ・教材「体験ナースをとおして」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。
	社会参画の意識を高め，公共の精神をもってよりよい社会の実現のために貢献しようとする態度を育む。	社会に参画することの意義を理解し，積極的に社会に関わっていこうとする発言や記述が見られたか。	行動する建築家 坂 茂	・今日の学習課題を把握する。 ・教材「行動する建築家 坂 茂」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。
	国際社会に生きる日本人としての自覚や，我が国の伝統と文化への誇りをもち，そのよさを発展させ，発信していこうとする実践意欲を育てる。	国際社会に生きる日本人としての自覚を深め，日本のよさの理解や伝統と文化の継承に努めようとする発言や記述が見られたか。	さよなら，ホストファミリー	・教材への関心を高める。 ・教材「さよなら，ホストファミリー」を読み、考える。 ・外国で日本人が戸惑う場面やエピソードを聞き、日本人としての自覚を深めるために必要なことは何かを考える。
	人間は多くの人々のさりげない善意や思いやりによって支えられ，守られていることに気づき，それに感謝しようとする態度を育てる。	周りの人の優しさや思いやりに気づき，それに感謝する発言や記述があったか。	夜のくだもの屋	・暗い夜道を下校したときの気持ちを振り返る。 ・教材「夜のくだもの屋」を読み、考える。 ・少女はお見舞いに行って、友達にどんな話をするか考える。
	目標や希望をもった当初の志の大切さを理解し，その達成をめざして，困難などがあっても強い意志でやり遂げようとする実践意欲を育てる。	目標達成のために努力したり困難を乗り越えたりすることの意義について，発言や記述が見られたか。	初心	・学習内容に興味をもつ。 ・教材「初心」を読み、考える。 ・教師の説話を聞く。
	生涯にわたる尊敬と信頼に支えられた真の友情について深く理解し，互いに認め，高め合う友情を育もうとする態度を育てる。	啓介と康夫の心の葛藤に共感し，真の友情について深く考えているような姿勢が，発言や記述に見られたか。	ライバル	・ライバルについて考える。 ・教材「ライバル」を読み、考える。 ・話し合ったことをもとに、自分の考えをまとめる。
	規則は幸福な社会を実現するためにあることを理解し，それを遵守しようとする判断力を育む。	規則の必要性や守らないことによる影響を，自分の生活の問題として考えているような発言や記述が見られたか。	オーストリアのマス川	・「規則」に関しての日頃の自分たちの生活を振り返る。 ・教材「オーストリアのマス川」を読み、考える。 ・今日の学習で感じたことや考えたことを振り返る。
	人間は自然界のつながりの中で多くの恩恵を受けていることを理解し，そのありがたさに感謝するとともに，自然を守り大切にしようとする態度を育む。	人間が自然界のつながりの中で生かされていることに気づき，自然を守り行動しようとする発言や記述が見られたか。	よみがえれ，えりもの森	・自分の経験を振り返る。 ・教材「よみがえれ，えりもの森」を読み、考える。 ・教師から自然の恩恵についての説話を聞く。

		それぞれの国の伝統と文化に各国民が誇りをもっていることを理解し、日本人として国際協力を積極的に行おうとする実践意欲を培う。	国際協力とは、一時的な物資の援助ではなく、その国が自立して成長していけるように継続的かつ相互理解に基づいた双方向的なものでなければならないことについて考え、日本人として国際協力を積極的に行おうとする発言や記述が見られたか。	ダショー・ニシオカ	・JICAの活動について知る。 ・教材「ダショー・ニシオカ」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。
		人にはさまざまな考え方があることを理解し、自分の考えを伝えつつ、わかり合い、他者に学ぼうとする謙虚な態度を育てる。	自分の考えを伝えつつ、わかり合い、他者に学ぼうとすることの大切さに気づいているような発言や記述があったか。	コトコの涙	・高齢化の問題について関心をもつ。 ・教材「コトコの涙」を読み、考える。 ・話し合ったことをもとに、自分の考えをまとめる。
		社会連帯の根底にある相互扶助や思いやりの心を理解し、よりよい社会を生み出す主体者として行動しようとする態度を養う。	「門掃き」に込められた社会連帯の大切さについて深く考えているような発言や記述が見られたか。	門掃き	・自分の住む地域について考える。 ・教材「門掃き」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。
		調和のある生活や節制を心がけるために、周りの人の生活を見つめることで自分の生活を見直し、思慮深く内省しようとする実践意欲を養う。	周りの人たちが困難な状況を乗り越え生活するために力を合わせていることに気づき、自分もそうした生き方を大切にしていこうとする発言や記述が見られたか。	避難所にて	・震災時の避難所の写真を見る。 ・教材「避難所にて」を読み、考える。 ・「しあわせを運べるように」を聴く。
		限りある生命を懸命に生きることの大切さを理解し、互いに支え合って生きようとする実践意欲を育てる。	かけがえのない生命を大切にし、互いに支え合って生きること感謝しようとする発言や記述が見られたか。	命を見つめて―猿渡瞳さんの六百四十六日―	・事前のアンケート結果から考える。 ・教材「命を見つめて―猿渡瞳さんの六百四十六日―」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。
		人間にある弱さや醜さを自覚しながらも、強く気高く、人間として生きる喜びを見いだそうとする態度を深める。	おばあさんの死から、「許しを得られない失敗は人間としてけつてしない」と考え生きてきた「私」の思いと深い人間性に共感するような発言や記述が見られたか。	足袋の季節	・「私」の当時の生活状況を考える。 ・教材「足袋の季節」を読み、考える。 ・自分の考えと友達の考えを振り返る。
		真の友情は悩みや葛藤を乗り越えることで培われるものであることを理解し、相手に信頼される自分になろうとする実践意欲を高める。	冷静に自分を見つめることで、友情を深めていこうとする発言や記述が見られたか。	恋する涙	・恋について想起する。 ・教材「恋する涙」を読み、考える。 ・教師の説話を聞く。
		我が国の優れた伝統と文化についての理解を深め、そこに込められた「日本人の心」に気づき、大切にしようとする心情を育てる。	我が国の伝統と文化のよさに興味をもち、「日本人の心」の奥深さに気づく発言や記述があったか。	包む	・ふろしきを見て、使った経験や感じたことを話し合う。 ・教材「包む」を読み、考える。 ・今日の学習内容から、さらに広げて考える。
		自分も家族にとってかけがえのない存在であることに気づき、家族の一員としての役割を果たそうとする心情を育てる。	きいちゃんの心の変化や言動をとおして、きいちゃんの家族のそれぞれの思いを感じとるだけでなく、生徒自身の家族への思いや、将来の家庭生活の在り方に思いをさせている発言や記述があったか。	きいちゃん	・家族について話し合う。 ・教材「きいちゃん」を読み、考える。 ・今日の学習で感じたこと、考えたことをまとめる。
留意点 引継ぎ等		・学校行事、学部行事、学校美化などを通して体験的な活動を行う。 ・生徒の実態に応じて、適時休憩を入れながら活動する。 ・生徒の安全を最優先にする。 (評価) ・授業への参加や、活動ができたか、自分の自己評価を行う。 ・人権教育学習会実施予定。			

令和7年度 中学部 3年（Ⅰ課程） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部3年		「中学道徳 あすを生きる③」 日本文教出版

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(中学部の目標) ・病弱等に基づく学習上又は生活上の困難を克服し、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図る。 ・経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる力を培う。 (中学部3学年の目標) ・理想の実現を目指して自己の人生を切り開いていく態度を養う。 ・生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する。 ・経験の拡充を図り、社会的適応能力を育てる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
		内なる弱さと向き合い、それを克服することで、生きること喜びを見いだそうとする実践意欲を育てる。	人間として生きること喜びを見いだそうとする意欲が発言や記述に見られたか。	風に立つライオン	・ケニア（東アフリカ）のイメージについて語り合う。 ・教材「風に立つライオン」を読み、考える。 ・「私の生き方」に学ぶ。
		より高い目標を設定し、その実現のために努力や希望、勇気の必要性を理解するとともに、困難や失敗を乗り越えてやり遂げようとする実践意欲を高める。	目標に向かって諦めずに努力する大切さや、自分に打ち勝つ強い意志の重要性を捉えた発言や記述が見られたか。	銀メダルから得たもの	・写真を見て吉田選手の気持ちを考えて、発表する。 ・教材「銀メダルから得たもの」を読み、考える。 ・今日の学習で学んだことを、互いに発表する。
		礼儀は形と心が溶け合ったものであることを理解し、相手に対する敬愛の念を示そうとする態度を育てる。	話し合いや体験中の態度や様子に、相手を敬愛しようとする思いが見られたか。	出迎え三步，見送り七歩	・ねらいとする価値を捉える。 ・出迎えと見送りの仕方について話し合う。 ・今日の学習を振り返る。
		日本人としての自覚を深め、受け継がれてきた歴史や伝統文化の素晴らしさを理解し、発展させようとする心情を培う。	先人が育んだ伝統と文化の素晴らしさに気づき、自らも伝統と文化を受け継ぐ役割をになっているという意識が、発言や記述に見られたか。	昔と今を結ぶ糸	・日本の伝統や文化を感じる場面について発表する。 ・教材「昔と今を結ぶ糸」を読み、考える。 ・今日の学習をまとめ、自分を振り返る。
		いじめがいかに非情であるかを理解し、差別や偏見を人間としてぜったいに許さない態度を育てる。	いじめが差別的で人間として許されないものであり、加害者が相手の痛みに対し無頓着かつ傲慢なことに気づくような発言や記述があったか。	卒業文集最後の二行	・学校での生活の楽しさについて考える。 ・教材「卒業文集最後の二行」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返って考える。
		友情の尊さを理解するとともに、友達をよき理解者として心から信頼し、互いに励まし高め合い、協力し合おうとする実践意欲を育てる。	「僕」になりきったうえで、共感し葛藤する場面をとおして、本当の友情とは何かに気づいた発言や記述が見られたか。	違うんだよ，健司	・登場人物を知る。 ・教材「違うんだよ，健司」を読み、考える。 ・ケツメイシの「友よ～この先もずっと・・・」を聴く。
		国際的視野に立ち、人類愛について理解を深め、世界平和と人類の幸福に貢献しようとする実践意欲を育てる。	ユダヤ人を救おうと決心した杉原千畝をとおして，世界平和や人類の幸福を大切に思う発言や記述が見られたか。	命のトランジットビザ	・教材の時代背景について教師の説明を聞く。 ・教材「命のトランジットビザ」を読み、考える。 ・教師の説明を聞く。
		生きていることの奇跡と尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする心情を養う。	生きていることの尊さや生命のつながり，かけがえのない生命を軽々しく扱ってはならないといった発言や記述が見られたか。	エリカー奇跡のいのちー	・第二次世界大戦中のユダヤ人に対する迫害について知る。 ・教材「エリカー奇跡の命ー」を読み、考える。 ・教師の話聞く。
		主体的に自分の生き方を考え、やろうと決めたことを誠実に実行し、その結果に責任をもとうとする態度を育てる。	よりよい人生に向け，主体的に考え誠実に実行しようとする発言や記述が見られたか。	私も高校生	・今までに、何か自分で決めて実行したことがあるか振り返る。 ・教材「私も高校生」を読み、考える。 ・教師の話聞く。
		自分の考え方次第で仕事の素晴らしさが見いだせることを理解し，将来，自分の能力や個性を生かした働き方をしようとする心情を深める。	働くことによって，充実した生き方が得られることに気づき，その素晴らしさについてさらに考えようとする発言や記述があったか。	あるレジ打ちの女性	・自分の進路について考える。 ・教材「あるレジ打ちの女性」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。
		自分たちが生活する社会に自ら進んで参画し，よりよい共生社会を実現していこうとする実践意欲を育てる。	よりよい社会を実現するために自分はどういう貢献ができるのか考えている発言や記述があったか。	No Charity, but a Chance!	・車椅子マラソンやパラリンピックについて知っていることを出し合う。 ・教材「No Charity, but a Chance!」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。
		自己を見つめ，これまでの自分を冷静かつ客観的に振り返るとともに，経験を生かして自分らしく新しい生き方をしようとする態度を育てる。	自分自身を見つめ，それまでの経験を生かして新しい生き方をしようという発言や記述が見られたか。	新しい夏のはじまり	・部活動を引退したときのこと、または中学3年生での試合のことを思い出す。 ・教材「新しい夏の始まり」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。

1 学 期 ～ 3 学 期	35	郷土のために尽くした先人の生き方を理解し、自らも地域社会の一員であるという帰属意識をもって郷土に貢献しようとする態度を育てる。	郷土に対する自分自身の思いを認識し、郷土に貢献していきたいという発言や記述が見られたか。	「稲むらの火」余話	・たいまつを持った濱口儀兵衛の銅像の写真を見る。 教材「稲むらの火」を読み、考える。 ・現在の自分自身に置き換えて考える。
		それぞれの立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもとうとする態度を育てる。	自分の発する言葉の向こうにそれを受け取る他者がいることや、異なった考えを受け入れることの大切さを理解した発言や記述があったか。	言葉の向こうに	・ねらいに関わる事前アンケートの結果から考える。 ・教材「言葉の向こうに」を読み、考える。 ・教師の説話を聞く。
		不公正な言動をせず、お互いの生命を尊重し、差別や偏見のない社会の実現に努めようとする態度を育てる。	差別や偏見のない社会の実現に努めようとする発言や記述が見られたか。	命の大切さ	・好奇の視線で見られた経験について語り合う。 ・教材「命の大切さ」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。
		異性への理解を深め、相手の内面的なよきに目を向けて、互いを向上させようとする実践意欲を育む。	異性を尊重し、互いに高め合う関係を築くことの大切さに触れる発言や記述があったか。	ゴリラのまねをした彼女を好きになった	・自分の成人式の姿を想像する。 ・教材「ゴリラのまねをした彼女を好きになった」を読み、考える。 ・教師の説話を聞く。
		法やきまりは人々の幸福を守るためにあることを理解し、それらを主体的に守るとともに、よりよい在り方について考えようとする態度を育てる。	法やきまりの意義について理解しようとし、そのよりよい在り方について深く考えているような発言や記述があったか。	二通の手紙	・法やきまりの種類を確認する。 ・教材「二通の手紙」を読み、考える。 ・話し合ったことをもとに、自分の考えをまとめる。
		望ましい生活習慣を身につけ、充実した人生を送るために、節度を守り節制に心がけ、調和のある生活を自ら実践しようとする態度を養う。	人生をより豊かにするためには望ましい生活習慣を身につけることが大切であり、それを実践していこうという発言や記述が見られたか。	独りを慎む	・自分を振り返る。 ・教材「独りを慎む」を読み、考える。 ・「私」の経験をとおして、自分の生活の中で改められそうなことを考え、まとめる。
		心の通い合いのよきに気づき、他者の立場を尊重しながら思いやりの心をもって人に接しようとする態度を養う。	お互いが他者の立場を尊重することで心の通い合いが生まれることに気づき、思いやりの心をもって人に接していきたいといった発言や記述が見られたか。	電車の中で	・今日の学習課題を把握する。 ・教材「電車の中で」読み、考える。 ・宮澤章二「行為の意味」から、思いを行為にする大切さについて考える。
		公共の場での心構えを理解し、一人ひとりが協力して、誰もが安心して生活できる社会をつくっていこうとする実践意欲を育てる。	公共の場での心構えを理解し、よりよい社会の実現のために自ら積極的に参画しようとする発言や記述が見られたか。	自分・相手・周りの人	・自分たちの周りで見かける表示について考える。 ・教材「自分・相手・周りの人」を読み、考える。 ・教師の説話を聞く。
		働くことによって社会や他者の生き方を支えるという仕事の意義を理解し、社会に貢献する生き方をしようとする実践意欲を高める。	臼井さんの心情と自己のさまざまな体験を対比させ、社会貢献の視点で仕事の意義について考えているような発言や記述が見られたか。	失った笑顔を取り戻す	・職場体験学習を振り返る。 ・教材「失った笑顔を取り戻す」を読み、考える。 ・今日の感想を書く。
		人間は自然の中で生かされていることを自覚し、自然環境を大切にするとともに、自分のできる範囲で自然愛護に努めようとする態度を育てる。	「川端」が人々の暮らしにどのように根づき、生活に溶け込んでいるのかについて理解を深め、人間と自然との共生の在り方を理解し、自然愛護に努めようとする発言や記述が見られたか。	「川端」のある暮らし	・鉢江地区の「川端」の写真や動画を見る。 ・教材「「川端」のある暮らし」を読み、考える。 ・教師の説話を聞く。
		自然の神秘に感動し、人間の力を超えたものへの畏敬の念を深めようとする心情を育てる。	魁夷が見た「輝く生命の姿」をとおして、自然の神秘に感動し、人間の力を超えたものへの畏敬の念について深く考えようとしている様子があったか。	風景開眼	・東山魁夷の作品を見る。 ・教材「風景開眼」を読み、考える。 ・東山魁夷の言葉を知る。
		臓器提供という現代的な課題をとおして、生命の尊さを深く理解し、自他の生命をかけがえのないものとして尊重しようとする判断力を育てる。	臓器提供について自分の考えをもち、仲間の考えを受け入れて、より生命に対する畏敬の念を深め、尊重するような発言や記述が見られたか。	臓器ドナー	・臓器移植について知る。 ・教材「臓器ドナー」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。
		よりよく生きるために、真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうとする実践意欲を育てる。	よりよく生きたいという願いや、新しいものを創造していくことへの意欲を示す発言や記述が見られたか。	iPS細胞で難病を治したい	・ヒトiPS細胞について知る。 ・教材「iPS細胞で難病を治したい」を読み、考える。 ・教師の説話を聞く。
		先人の残した有形無形の文化遺産の中に優れたものを見だし、それを生み出してきた精神に学んで、継承し発展させようとする実践意欲を養う。	竜夫の内面的成長から学んだことをもとに、能楽などの伝統文化を受け継ぎ発展させることの意味や意義について考えている発言や記述があったか。	父は能楽師	・日本の伝統芸能「能楽」について知る。 ・教材「父は能楽師」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。
		国際的視野に立って、自分にできることで世界平和と人類の幸福に貢献しようとする実践意欲を育てる。	マララの姿をとおして、世界平和を自分のこととして考える発言や記述が見られたか。	本とペンで世界を変えよう	・マララについて知る。 ・教材「本とペンで世界を変えよう」を読み、考える。 ・教師の説話を聞く。

		家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や自分があることに感謝し、進んで周囲の思いに応えようとする態度を育てる。	「私」が周囲に喜んでもらえたことや、おばさんたちの気配りについて深く考えようとしている発言や記述があったか。	塩むすび	・東日本大震災に関する写真や動画を見て、知っていることを発表する。 ・教材「塩むすび」を読み、考える。 ・教師の説話を聞く。
		自主的に考え、自らを律し、自分の決めたことを実行していこうとする判断力を養う。	□自分の意志で行動することの大切さを捉えた発言や記述があったか。	町内会デビュー	・自律に関わって、ふだんの生活を振り返る。 ・教材「町内会デビュー」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返り、まとめる。
		祖母の苦悩や不安、家族への思いに気づく主人公の姿をとおして、家族への敬愛を深め、家族の一員としての役割を果たそうとする態度を養う。	「僕」に共感しながら、祖母の苦悩や不安、自分の家族に思いをはせる発言や記述が見られたか。	一冊のノート	・家庭科の教科書の、中学生が高齢者と関わる写真を見る。 ・教材「一冊のノート」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。

		社会の一員としての権利を積極的に理解し、主体的に社会に参画することで、よりよい社会の実現に寄与しようとする態度を養う。	「将来の一票」がよりよい社会の実現につながることに気づいた様子が、発言や記述に見られたか。	サトシの一票	・社会での学習を振り返る。 ・教材「サトシの一票」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。
		社会の成員としての正しい行いを実現する公德心の大切さを理解し、規律ある社会の実現に努めようとする実践意欲を育成する。	規律ある社会のために法やきまりを守ることの大切さについて発言や記述があったか。	ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン	・モースの顔写真を見て、社会（歴史）で学んだ貝塚遺跡や縄文土器を思い出す。 ・教材「ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン」を読み、考える。 ・道徳ノートに意見を記入後、全体で意見交換をする。
		さまざまな環境の中で人間としてよりよく生きようとする大切さを学び、自分の生き方について考えを深めようとする心情を育む。	話し合い活動への積極的な参加や発言、記述をとおして、授業の初めよりも「自分の人生をよりよく生きること」への関心が高まっている様子が見られたか。	世界を動かした美	・オードリー・ヘプバーンについて知る。 ・教材「世界を動かした美」を読み、考える。 ・オードリーが好んだ詩を読み、人生
		自校に対する愛着を深め、協力して校風を継承し、発展させようとする態度を育てる。	自校の校風を見だし、愛着をもつとともに、それを継承し、発展させていこうとする発言や記述が見られたか。	お別れ会	・自校について振り返る。 ・教材「お別れ会」を読み、考える。 ・自校の校風や伝統について考える。
		生命の重さと絶対的な有限性を理解し、自他の生命を尊重して懸命に生きようとする実践意欲を高める。	生命の有限性などを理解し、生命を大切にするために、自分にできることは何かを考えている発言や記述が見られたか。	希望	・東日本大震災の写真や動画を見て、感想を発表する。 ・教材「希望」を読み、考える。 ・今日の学習を振り返る。
留意点 引継ぎ等		・学校行事、学部行事、学校美化などを通して体験的な活動を行う。 ・生徒の実態に応じて、適時休憩を入れながら活動する。 ・生徒の安全を最優先にする。 （評価） ・授業への参加や、活動ができたか、自分の自己評価を行う。 ※人権教育学習会実施予定。			

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
1/35		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できる。 (思判表力) 実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現ができる。 (学・人) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	(知及技) 身近な生活や他者との関わりの中から、自分の好きなことを見いだしたり関心を広げたりすることができる。 (思判表力) 自分の関心のあることや楽しさを感じることにについて、自分で考え、伝えることができる。 (学・人) 自分の意思や目標をもって、自他のよさを生かしながら協働して課題解決に向けた探究活動に取り組むことができる。	(知・技) 身近な生活や他者との関わりの中から、自分の好きなことを見いだしたり関心を広げたりしている。 (思・判・表) 自分の関心のあることや楽しさを感じることにについて、自分で考え、伝えている。 (主学) 自分の意思や目標をもって、自他のよさを生かしながら協働して課題解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「自分や友達の好きなことや得意なことを知ろう」 「キャリアパスポートの取組み」	・自分のことや友達のことを知る ・わかったことを掲示したり、発表したりする ・個人目標の設定（年間・学期） ・1学期の振り返り
	2	(知及技) 働くことについて意識を持ち、卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 (学・人) 意思や目標をもって進路学習に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けることができる。	(知・技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 (主学) 意思や目標をもって進路学習に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「働くことについて」	・「働いてどういうことだろう？」 自分で調べたり、動画を見たりして学ぶ。
	2	(知及技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 (学・人) キャリア教育推進週間の活動に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けることができる。	(知・技) 卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 (主学) 就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「キャリア教育推進週間」	・キャリア教育推進週間 ・事前事後学習
	2	(知及技) 郷土の歴史を知り、平和な社会の大切さについて知ることができる。 (思判表力) 平和な社会の形成者として、身近な生活の中で自分ができることを考え、他者に伝えることができる。 (学・人) 教師の話や絵本、映像などに関心を向け、平和について自分なりの考えをもつことができ、異なる意見や他者の考えを尊重することができる。	(知・技) 郷土の歴史を知り、平和な社会の大切さについて知ることができる。 (思・判・表) 平和な社会の形成者として、身近な生活の中で自分ができることを考え、他者に伝えている。 (主学) 教師の話や絵本、映像などに関心を向け、平和について自分なりの考えをもち、異なる意見や他者の考えを尊重している。	地域や学校の特色に応じた課題 「平和学習」	・絵本や映像から平和について学ぶ ・パネル展示見学 ・「平和について」話し合い、お互いの考えを知ろう
	2	(知及技) 卒業後の進学、就職について考え、知識を得ることができる。 (思判表力) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 (学・人) 進路学習に意欲をもって取り組むことができる。	(知・技) 卒業後の進路、就職について必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表) 卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 (主学) 意思や目標をもって進路学習に取り組もうとしている。	職業や自己の将来に関する課題 「進路学習」	・卒業後の進学先について調べる ・目標を持って取り組む
2	2	(知及技) 自分ができることや自分の課題（頑張りたいこと、伸ばしたいこと）について知ることができる。 (思判表力) 現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現ができる。 (学・人) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技) 自分ができることや自分の課題（頑張りたいこと、伸ばしたいこと）について知っている。 (思・判・表) 現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現している。 (主学) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「キャリアパスポートの取組み」	・2学期の目標設定 ・2学期の振り返り

二学期	2	(知及技)自分の周り(地域や学校)で働く人の様子を知ることができ、働くことの意義を知ることができる。 (思判表力)自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を集め、整理して、まとめ・表現する力を身に付けることができる。相手の意見を聞いて自分の考えを伝えることができる。 (学・人)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技)自分の周り(地域や学校)で働く人の様子を知ることができ、働くことの意義を知っている。 (思・判・表)自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を集め、整理して、まとめ・表現する力を身に付けている。相手の意見を聞いて自分の考えを伝えている。 (主学)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「働くことについて」 「地域や学校、自分の周りで働く人」	・地域や学校,自分の周りで働く人について調べる ・お互い調べたことについてまとめ,話し合う
	3	(知及技)郷土の文化や行事について知ることができる。 (思判表力)郷土の行事や文化について調べたことをまとめ,意見や考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)郷土の文化や行事についての学習に主体的・協働的に取り組むことができ,異なる意見や他者の考えを尊重することができる。	(知・技)郷土の文化や行事について知っている。 (思・判・表)郷土の行事や文化について調べたことをまとめ,考えたことを他者に伝えている。 (主学)郷土の文化や行事についての学習に主体的・協働的に取り組み,異なる意見や他者の考えを尊重している。	地域や学校の特色に応じた課題 「郷土の文化や行事」	・郷土の文化や行事について調べたり,体験したりする。
3学期	2	(知及技)自分ができることや自分の課題(頑張りたいこと,伸ばしたいこと)について知ることができる。 (思判表力)現在の課題を発見し,見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現ができる。 (学・人)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに,自身の活動を振り返り,次の活動に生かすことができる。	(知・技)自分ができることや自分の課題(頑張りたいこと,伸ばしたいこと)について知っている。 (思・判・表)現在の課題を発見し,見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現している。 (主学)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに,自身の活動を振り返り,次の活動に生かそうとしている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「キャリアパスポートの取り組み」	・3学期の目標を設定 ・1年間の振り返りと評価 ・次年度へ向けての目標設定
	4	(知及技)卒業後の進学、就職について考え、知識を得ることができる。 (思判表力)卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち,課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 (学・人)進路学習に意欲をもって取り組むことができる。	(知・技)卒業後の進路、就職について必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表)卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち,課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 (主学)意思や目標をもって進路学習に取り組もうとしている。	職業や自己の将来に関する課題 「進路学習」	・目標や課題を持って取り組み、高等部等への進学意識や勤労意識を高める。
1 ～ 3学期	9	(知及技)働くことについて意識を持ち、卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力)自分の役割を考えることができる。 (学・人)意思や目標をもって活動に取り組み,最後まで責任を持ってやりきることができる。	(知・技)卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表)自分の役割を考え取り組んでいる。 (主学)意思や目標をもって活動に取り組み,最後まで責任を持ってやりきろうとしている。	職業や自己の将来に関する課題 「働くことについて」 「清掃活動」	0
	3	(知及技)各教科で身に付けた知識及び技能を探究の中で繰り返し活用し,教科横断的に活用する活動を通して,実社会実生活における様々な場面で活用できる。 (思判表力)知識・技能を活用する中で,課題を解決するため,自ら問題を発見し,解決していくために必要な,情報収集能力・分析能力等を育成し,他者に表現できるようにする。 (学・人)学習に主体的・協働的に取り組み積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技) ・様々な余暇の過ごし方があることを理解しようとしている。 (思・判・表)インターネット等を活用し,情報収集等を行い,他者と情報を共有し計画をたて課題を解決する資質や能力を身につけようとしている。 (主学)学習に主体的・協働的に取り組み積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	校外学習	・校外学習の企画、実施、振り返り
留意点 引継ぎ等		校外学習は各学期に設定する。			

令和7年度 中学部 2・3年（I課程） 特別活動 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部2・3年		無し

目標：（知・技）知識及び技能 （思・判・表）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主・学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知・技）多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につける。 （思・判・表）集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定できるようにする。 （学・人）自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するするとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	（知・技） ・学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 （思・判・表） ・学級集団の中で課題を発見し、目標を決める。 （学・人） ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。	（知・技） ・学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 （思・判・表） ・学級集団の中で課題を発見し、目標を決めようとしている。 （主・学） ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・学級開き、新年度を迎えて ・新入生歓迎会	・新しい学年を迎えるとともに中学生としての自覚を深める。 ・一学期の目標設定、時間割の作成、役割分担などをとする。 ・他の学年や学部の生徒と親睦を図る。
		（知・技） ・児童生徒会の活動内容について知る。 ・火災が発生したときの避難方法を学ぶ。 （思・判・表） ・学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだすことができる。 ・どこで火災が発生したのか、どの経路で避難した方がいいのか判断することができる。 （学・人） ・様々な生徒と協力し、学校生活の充実と向上を図ることができる。 ・火災を起こさないために日頃から気をつけることができる。	（知・技） ・児童生徒会の活動内容について知ろうとしている。 ・火災が発生したときの避難方法を学ぼうとしている。 （思・判・表） ・学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだそうとしている。 ・どこで火災が発生したのか、どの経路で避難した方がいいのか判断しようとしている。 （主・学） ・様々な生徒と協力し、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。 ・火災を起こさないために日頃から気をつけようとしている。	・児童生徒総会 ・火災避難訓練	・今年度の活動内容、予算について知る。 ・災害時の避難経路、避難方法について学習する。
		（知・技） ・戦争や平和について考えることができる。 （思・判・表） ・平和な生活を送るためにどうすれば良いかを考える。 （学・人） ・戦争の悲惨さを知り、平和な世界が続くための行動につなげることができる。	（知・技） ・戦争や平和について考えようとしている。 （思・判・表） ・平和な生活を送るためにはどうすればよいかを考えようとしている。 （主・学） ・戦争の悲惨さを知り、平和な世界が続くための行動につなげようとしている。	・平和集会	・講話 ・平和を守るには、何ができるのか話し合い活動をする。
		（知・技） ・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解する。 ・校外学習を行う意味や意義を理解する。 ・キャリア教育の理解を深める。 ・自分の進路について考える。 ・一学期を振り返る。 （思・判・表） ・校内放送を聞いて教師の指示に従って行動する。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出す。 ・どのような職業があるかなどを調べる。 ・一学期の反省を発表する。 （学・人） ・不審者に遭遇した時の対応の仕方を学ぶ。	（知・技） ・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解している。 ・校外学習を行う意味や意義を理解している。 ・キャリア教育の理解を深めている。 ・自分の進路について考えようとしている。 ・一学期を振り返ることができる。 （思・判・表） ・校内放送を聞いて教師の指示に従って行動している。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出している。 ・どのような職業があるかなどを調べている。 ・一学期の反省を発表している。 （主・学） ・不審者に遭遇した時の対応の仕方を学ぼうとしている。	・不審者対応訓練 ・校外学習 ・進路について、キャリアパスポート学期の振り返り ・1学期終業式	・自身の身の守り方などを学習する。 ・目的地、移動手段、活動について話し合い、決定する。 ・キャリアパスポートに必要事項を記載する。 ・緊急時の避難経路について学習する。 ・1学期の反省の発表
2 学期	14	（知・技） ・学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 （思・判・表） ・1学期の振り返りから、目標を決定する。 （学・人） ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。	（知・技） ・学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 （思・判・表） ・1学期を振り返り、目標を設定しようとしている。 （主・学） ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・2学期始業式	・2学期の諸行事の確認と目標を設定する。
		（知・技） ・少年犯罪について考えることができる。 （思・判・表） ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 （学・人） ・事件、事故等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につける。	（知・技） ・少年犯罪について考えようとしている。 （思・判・表） ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 （主・学） ・事件、事故等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につけようとしている。	・安全学習支援授業 （少年犯罪被害防止）	・少年犯罪の現状を知り、理解を深める。
		（知・技） ・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につける。 ・地震・津波が発生したときの避難方法を身につける。 ・様々なジャンルの本に親しみ、視野を広げることができる。 （思・判・表） ・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組む。 ・地震・津波が発生したときの避難経路、避難場所を把握する。 ・本を読んで感想を書くことができる。 （学・人） ・文化的行事に積極的に取り組む。 ・地震・津波などの自然災害への備えを日頃から意識することができる。 ・作品を通して、読む力、書く力を身につけることができる。	（知・技） ・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につけている。 ・地震・津波が発生したときの避難方法を身につけている。 （思・判・表） ・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組もうとしている。 ・地震・津波が発生したときの避難経路、避難場所を把握している。 ・本を読んで感想を書こうとしている。 （主・学） ・文化的行事に積極的に取り組もうとしている。 ・地震・津波などの自然災害への備えを日頃から意識している。 ・作品を通して、読む力、書く力を身につけている。	・森川フェス ・総合避難訓練 ・読書週間	・与えられた役割に責任を持って取り組む。 ・避難方法、避難経路を確認する。 ・読書週間を通して読書に関心を持つ。

		(知・技) - 志望校を調べ、絞り込みを行い、受験に必要な心得などを知る。 - 生徒会役員選挙、投票の方法を学ぶ。 (思判表力) - 志望校の特色を調べる。 - 立候補者の考えを聞いて投票する。 (学・人) - 志望動機を考え、文章にする。	(知・技) - 志望校について調べ、受験に必要な心得などを知っている。 (思・判・表) - 志望校の特色を調べている。 (主学) - 志望動機を考えることができ、文章にしている。	進路について	志望校を絞り込み、入試に向けて取り組む。
		(知・技) - エイズについての正しい知識を得る。 - キャリアパスポートの内容を振り返る。 - 校外学習を行う意味や意義を理解する。 2学期を振り返る。 (思判表力) - エイズが及ぼす影響を知る。 - キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 - 目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出す。 2学期の振り返り自己評価できる。 (学・人) - 偏見や差別のない世界の実現に向けて考える。 - キャリアパスポートの自己評価から課題や目標を見つける。 2学期の自己評価から、3学期に向けての課題を見つける。	(知・技) - エイズについての正しい知識を得ている。 - キャリアパスポートの内容を振り返っている。 - 校外学習を行う意味や意義を理解している。 2学期を振り返り自己評価している。 (思・判・表) - エイズが及ぼしている影響を知り、解決方法を考えている。 - キャリアパスポートの内容を自己評価をしている。 - 目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出している。 2学期の振り返り自己評価している。 (主学) - 偏見や差別のない世界の実現に向けて考えている。 - キャリアパスポートの自己評価から課題や目標を見つけている。 2学期の自己評価から、3学期に向けての課題を見つけている。	- エイズ指導 - キャリアパスポート学期の振り返り - 校外学習 2学期終業式	- DVDなどを鑑賞する。 - キャリアパスポートに必要事項を記載する。 2学期の反省の発表 - 目的地、移動手段、活動について話し合い、決定する。
3 学 期	9	(知・技) - 学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 - 集団行動や公共の場でのマナーを学ぶ。 (思判表力) - 学級集団の中で課題を発見し、目標を意思決定する。 - 環境に即したマナーを学ぶ。 (学・人) - 自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。 - 集団行動や公共の場でのマナーを守る意義を理解し、実践する。	(知・技) - 学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 - 生徒会役員選挙、投票の方法を学び投票できている。 - 集団行動や公共の場でのマナーを学んでいる。 (思・判・表) - 学級集団の中で課題を発見し、目標を意思決定しようとしている。 - 立候補者の考えを聞いて投票している。 - 環境に即したマナーを学んでいる。 (主学) - 自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。 - 集団行動や公共の場でのマナーを守る意義を理解し、実践している。	3学期始業式 - 児童生徒会役員選挙 - 校外学習	3学期の諸行事の確認と目標設定。 - 児童生徒会役員選挙、投票などについて学ぶ。 - テーブルマナーやお金の支払の仕方を学ぶ。
		(知・技) - サイバー犯罪について考えることができる。 - キャリアパスポートを通して、キャリア教育を振り返る。 (思判表力) - サイバー犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 - キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 (学・人) - 事件等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につける。 - キャリアパスポートの自己評価からの次年度課題や目標を見つける。	(知・技) - サイバー犯罪について考えようとしている。 - キャリアパスポートを通して、キャリア教育を振り返ろうとしている。 (思・判・表) - サイバー犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 - キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 (主学) - 事件等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につけようとしている。 - キャリアパスポートの自己評価からの次年度課題や目標を見つけている。	- 安全学習支援授業 (サイバー犯罪被害防止) - キャリアパスポート年間の振り返り	- サイバー犯罪について理解を深める。 - キャリアパスポートに必要事項を記載する。
		(知・技) - 儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解する。 - 規律や気品のある行動の仕方などを身につける。 (思判表力) - 学校生活の節目の場において先を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をする。 (学・人) - 厳粛で清新な気分を味わい、行事の節目として、見通しをもったり振り返ったりしながら、新たな生活への希望や意欲につなげる。	(知・技) - 儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解している。 - 規律や気品のある行動の仕方などを身につけている。 (思・判・表) - 学校生活の節目の場において先を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をしている。 (主学) - 厳粛で清新な気分を味わい、行事の節目として、見通しをもったり振り返ったりしながら、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。	- 高等部卒業式 - 中学部卒業式 - 修了式、離任式	- 卒業式の歌の練習。 - 送辞の準備、卒業式の歌の練習などをする。 1年間を振り返りお世話になった先生方へ感謝の思いを伝える。
留意点 引継ぎ等					

特になし

令和7年度 中学部 2・3年（Ⅱ課程A） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	中学部1～3年		国語☆☆☆☆（東京書籍） 国語☆☆☆☆☆（東京書籍）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） 日常生活や社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しむことができるようにする。 （中学部1段階） （思判表力） 順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、日常生活や社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。（中学部1段階） （学・人） 言葉がもつよさに気づくとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。（中学部1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期		（知及技） ・長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読みかた・書き方を知ること。 （中学部1段階 知・技ア(ウ)） （思判表力） ・文の構成、語句の使い方に気を付けて書くこと。 （中学部1段階 思判表Bウ）	（知・技） ・長音、拗音、促音、撥音、助詞の正しい読みかた・書き方を理解している。 （思・判・表） ・文の構成、語句の使い方に気を付けて書くこと。 【評価資料】 ・学習プリント	国語オリエンテーション 書いてみよう スクリーニングテスト	（知及技に関する活動） 1書き写す 2文章を読む 3スクリーニングテスト （思判表力に関する活動） 1聞き取って書く 2文章に合う語句を選択する 3並び替えて言葉をつくる 4スクリーニングテスト
		（知及技） ・幅広く読書に親しみ、本にはいろいろな種類があることを知ること。 （中学部2段階 知・技ウ(エ)） （思判表力） ・様々な読み物を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像すること。 （中学部2段階 思判表Cア） （学・人） ・言葉がもつよさに気づくとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。 （中学部1段階 目標ウ）	（知・技） ・幅広く読書に親しみ、本にはいろいろな種類があることを知ろうとしている。 （思・判・表） ・様々な読み物を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像しようとしている。 （主学） ・言葉がもつよさに気づくとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとしている。 【評価資料】 ・学習プリント ・活動視察	詩 われは草なり	（知及技に関する活動） 1「～なり」「～とす」の意味を確認し内容を把握する 2詩の用語や形式を学ぶ 3リズムを意識して音読させる （思判表力に関する活動） 1気になった言葉や好きな表現を選ばせる 2選んだ理由を考えさせ、発表させる 3互いの発表を聞き、多様な感じ方に触れさせる
		（知及技） ・幅広く読書に親しみ、本にはいろいろな種類があることを知ること。 （中学部2段階 知・技ウ(エ)） （思判表力） ・日常生活や社会生活、職業生活に必要な語句、文章、表示などの意味を読み取り、行動すること。 （中学部2段階 思判表Cウ） （学・人） ・言葉がもつよさに気づくとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。 （中学部1段階 目標ウ）	（知・技） ・幅広く読書に親しみ、本にはいろいろな種類があることを知ろうとしている。 （思・判・表） ・日常生活や社会生活、職業生活に必要な語句、文章、表示などの意味を読み取り、行動しようとしている。 （学・人） ・言葉がもつよさに気づくとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとしている。	本を探そう	（知及技に関する活動） 1図書の整理の仕方を知る 2図書室から指定された図書を分類ごとに探す （思判表力に関する活動） 1分類番号と棚やポップの表示に気をつけながら目的の図書を探す
		（知及技） ・内容の大体を意識しながら音読すること。 （中学部2段階 知・技ア(キ)） （思判表力） ・様々な読み物を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像すること。 （中学部2段階 思判表Cア） （学・人） ・言葉がもつよさに気づくとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。 （中学部1段階 目標ウ）	（知・技） ・内容の大体を意識しながら音読しようとしている。 （思・判・表） ・様々な読み物を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像しようとしている。 （主学） ・言葉がもつよさに気づくとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合おうとしている。	声を出して読んでみよう 役になりきろう	（知及技に関する活動） 1物語の内容を確認（時系列や心情の変化） 2抑揚や声色によって聞こえ方に変化が生まれることを知る （思判表力に関する活動） 1絵や言葉から、登場人物の性格や心情の変化を想像しながら読む 2役になりきりながら、声色や抑揚を自己でアレンジして読む

(知及技) 必要な語や語句の書き留め方や、比べ方などの情報の整理の仕方を理解し使うこと。(中学部2段階 知・技イ(イ)) (思判表力) 身近な人の話や放送などを聞きながら、聞いたことを簡単に書き留めたり、分からないときは聞き返したりして、内容の大体を捉えること。(中学部2段階 思判表Aア)	(知・技) ・必要な語や語句の書き留め方や、比べ方などの情報の整理の仕方を理解し使おうとしている。 (思・判・表) ・身近な人の話や放送などを聞きながら、聞いたことを簡単に書き留めたり、分からないときは聞き返したりして、内容の大体を捉えようとしている。	校外学習に行く前に確認しよう	(知及技に関する活動) 1 説明を聞いて大切なことを聞き漏らさないように気をつけながら書き留めていくことを確認する。 2 メモを手がかりに聞き取った内容を生徒同士で比較させる。 (思判表力に関する活動) 1 メモを取りながら聞く 2 メモを使いながらわからない点や確かめたい点を友達に質問して、内容の大体を理解できるようにする。
(知及技) 長音、拗音、促音、撥音などの表記や助詞の使い方を理解し、文や文章の中で使うこと。(中学部2段階 知・技ア(ウ)) (思判表力) 相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えること。(中学部2段階 思判表Bイ)	(知・技) ・長音、拗音、促音、撥音などの表記や助詞の使い方を理解し、文や文章の中で使おうとしている。 (思・判・表) ・相手に伝わるように事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	順序よく書こう 伝わりやすくなるように書こう (キャリア週間に関連)	(知及技に関する活動) 1 教科書音読 2 順序を示す言葉に線を引く (思判表力に関する活動) 1 キャリア週間の振り返り 2 印象に残っていることを選択する 3 印象に残っているできごとを順序よく示し、感想や学んだことを書く

2 学 期	(知及技) 共通語と方言の果たす役割について理解する。(中学校1年 知・技(3)ウ) ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、使える範囲を広げること。(中学部2段階 知・技ア(I)) (学・人)言葉がもつよさに気づくとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。(中学部1段階 目標)	(知・技) ・共通語と方言の果たす役割について理解している。 ・沖縄方言の特徴を理解している。 (主学) ・共通語と方言の果たす役割について理解しようとしている。	しまくとうばで桃太郎を読もう	(知及技に関する活動) 1 地域による言葉の違いがあることを理解する。 2 方言のアクセントの特徴について考える。 3 方言と共通語の使い分けについて考える。
	(知及技) 言葉には、意味による語句のまとまりがあることを理解するとともに、話し方や書き方によって意味が異なる語句があることに気付くこと。(中学校1年 知・技ア(イ)) (思判表力)日常生活に必要な語句や文章などを読み、行動すること。(中学部1段階 思判表Cウ)	(知・技) ・言葉には、意味による語句のまとまりがあることを理解するとともに、話し方や書き方によって意味が異なる語句があることを理解している。 (思・判・表) ・日常生活に必要な語句や文章などを読み、行動しようとしている。	言葉のページ 言葉の意味 仲間の言葉	(知及技に関する活動) 1 同音異義語の文章や助詞の発音を意識して音読する。 2 同じ語句でもアクセントの違いによって表す事柄が異なることを考える。 (思判表力に関する活動) 1 日常生活の中で同音異義語の文を作る。 2 発表する。
	(知及技) 読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを知ること。(中学校1年 知・技ウ(エ)) (思判表力)簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像すること。(中学部1段階 思判表Cア)	(知・技) ・読書に親しみ、簡単な物語や、自然や季節などの美しさを表した詩や紀行文などがあることを理解している。 (思・判・表) ・簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像しようとしている。	日本を旅して 沖縄編日本を旅して	(知及技に関する活動) 1 文章のみを提示し、想像した情景を絵に描く。 2 情景と本文の写真がっているか確認する。 3 本やインターネットを活用して、沖縄県内で行ってみたい場所を見つける。 (思判表力に関する活動) 1 読んだ内容を絵にする。 2 絵と写真をみて想像と異なっていた部分や想像通りだったところを発表する。 3 行きたい場所について調べ、まとめて発表する。
	(知及技) 主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解すること。(中学校1年 知・技ア(オ)) (思判表力)語や語句の意味を基に時間的な順序や事柄の順序など内容の大体を捉えること。(中学部1段階 思判表Cイ)	(知・技) ・主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解している。 (思・判・表) ・語や語句の意味を基に時間的な順序や事柄の順序など内容の大体を捉えようとしている。	点字の話	(知及技に関する活動) 1 点字について知っていることを発表し合う。 2 学校のどこに点字があるか探す。 3 文章の全体を捉える。 (思判表力に関する活動) 1 ページごとに、点字の何について書かれているか考えられるようにする。 2 自分の名前を点字で表してみる。
	(知及技) 発音や声の大きさに気を付けて話すこと。 主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解すること。 (中学校1年 知・技ア(イ・オ)) (思判表力) 身近な人の話や簡単な放送などを聞き、聞いたことを書き留めたり分からないことを聞き返したりして、話の大体を捉えること。 相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝えあい、考えをもつこと。 (中学部1段階 思判表Aア・オ)	(知・技) ・発音や声の大きさに気を付けて話そうとしている。 ・主語と述語との関係や接続する語句の役割を理解しようとしている。 (思・判・表) ・身近な人の話や簡単な放送などを聞き、聞いたことを書き留めたり分からないことを聞き返したりして、話の大体を捉えようとしている。 ・相手の話に関心をもち、分かったことや感じたことを伝え合い、考えをもつようとしている。	自分の夢を話そう	(知及技に関する活動) 1 例文を音読し、どのような構成で書かれているか考えさせる。 2 文章の内容を短く箇条書きにする。 3 発表のポイントを確認する。 (思判表力に関する活動) 1 文章の内容についての考えや感想を書く。 2 主語・述語に気をつけながら将来の夢について文章を書く。 3 お互いに発表する。
	(知及技) 敬体と常態があることを理解し、その違いに注意しながら書くこと。(中学部2段階 知・技ア(カ)) (思判表力)書く内容の中心を決め、自分の考えと理由などとの関係を明確にして、文章の構成を考えること。(中学部2段階 思・判・表Bイ) (学・人)言葉がもつよさに気づくとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。(中学部1段階 目標)	(知・技) ・敬体と常態を理解し、その違いに注意しながら書こうとしている。 ・年賀はがきの書き方や賀詞の意図について理解している。 (思・判・表) ・はがきの書き方や賀詞の使用方法に沿って、文章の構成を考えながら書こうとしている。 (主学) ・言葉がもつよさに気づき、思いや考えを伝えようとしている。	敬語・年賀状	(知及技に関する活動) 1 敬体と常態の文末表現の違いについて学ぶ。 2 場面に応じた表現方法について知る。 3 賀詞の種類や表現方法について知る。 (思判表力に関する活動) 1 年賀はがきの書き方に沿って年賀状を書く。

3 学期	(知及技) 点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこと。(中学部2段階 知・技ウ(ウ)㉗) ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。(中学部2段階 知・技ウ(ウ)㉘) (学・人)言葉がもつよさに気づくとともに、図書に親しみ、国語で考えたり伝え合ったりしようとする態度を養う。(中学部1段階 目標)	(知・技) ・書道用具の名称や用法を理解している。 ・点画の書き方や文字の形に注意しながら、筆順に従って丁寧に書くこととしている。 ・漢字の特徴や筆順について調べようとしている。 ・漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこととしている。 (主学) ・書道のよさを感じ、筆を用いて書くことに取り組もうとしている。	書き初め	(知及技に関する活動) 1 書道用具の名称を学ぶ。 2 準備・片付けの手順に沿って書道に取り組む。 3 「とめ」、「はね」、「はらい」、「折れ」、「点」の書き方に注意して書く。
	(知及技) 自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しむこと。(中学部1段階 知・技ウ(ア)) (思判表力) 簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像すること。 (中学部1段階 思判表Cア)	(知・技) ・自然や季節の言葉を取り入れた俳句などを聞いたり作ったりして、言葉の響きやリズムに親しもうとしている。 (思・判・表) ・簡単な文や文章を読み、情景や場面の様子、登場人物の心情などを想像しようとしている。	俳句	(知及技に関する活動) 1 音読させる 2 五・七・五の音で構成されていることに気づく 3 季語が入ることに気づく (思判表力に関する活動) 1 情景や場面の様子について感じたことを話す 2 実際に俳句を作る 3 お互いの作成した句を聞く
	(知及技) ・発音や声の大きさに気を付けて話すこと。(中学部1段階 知・技ア(オ)) (思判表力) ・話す事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決めること。(中学部1段階 思判表Aイ)	(知・技) ・発音や声の大きさに気を付けて話そうとしている。 (思・判・表) ・話す事柄を思い浮かべ、伝えたいことを決めようとしている。	送辞・答辞	(知及技に関する活動) 1 抑揚をつける。 (思判表力に関する活動) 1 1年間の思い出や学びを振り返り、伝えたいことを決める。
留意点 引継ぎ等	年間を通して ・習熟度に合わせた漢字の読み・書きを行う。 ・デジタル本の作成を適宜行い、音読、発声の練習を行う。 ・各領域における教材は、生徒の実態および興味・関心に応じて取り入れるものとする。			

令和7年度 中学部 2年（Ⅱ課程Cグループ） 国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2年生（1名）		だるまさんの（ブロンズ新社）他 各種絵本、動画、画像、CD等

目標：（知及技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）日常生活に必要な身近な言葉が分かり使うようになるとともに、いろいろな言葉や我が国の言語文化に触れることができるようにする。（小学部1段階） （思判表力）言葉をイメージしたり、言葉による関わりを受け止めたりする力を養い、日常生活における人とのかかわりの中で伝え合い、自分の思いをもつことができるようにする。（小学部1段階） （学・人）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。（小学部1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	（知及技）身近な人の話し掛けに慣れ、言葉が事物の内容を表していることを感じる。（小学部1段階ア（ア）） （思判表力）身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりすること。（小学部1段階A（イ）） （学・人）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。（小学部1段階）	（知・技）呼びかけた相手や提示した人の名前や顔を理解している。 （思・判・表）名前の呼びかけに対し、声や表情、身振りなどで応答している。 （主学）名前や呼びかけの言葉に耳を傾け、応答しようとしている。 【評価資料】 ・活動の観察（行動記録）	呼んでみよう 返事をしよう （新しい先生、学部の間）	（知及技に関する活動） ・身近な人から話し掛けられた状況を受け止め、関心を持って相手を見たり、声を出したり、身振りで答えたりする。 （主な活動内容） ・出席点呼 ・先生の名前と顔写真のマッチング ・学部生徒の名前と顔写真のマッチング ・あいさつ活動
		（知及技）言葉のもつ音やリズムに触れたり、言葉が表す事物やイメージに触れたりすること。（小学部1段階ア（イ）） （思判表力）伝えたいことを思い浮かべ、身振りや音声などで表現すること。（小学部1段階A（ウ）） （学・人）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。（小学部1段階）	（知・技）身近な人からの言葉や指示、合図の意味を理解している。 （思・判・表）相手の応答に対し、身振りや音声などで表現している。 （主学）相手の応答に対して応じようとする態度が見られる。 【評価資料】 ・活動の観察（行動記録）	聞いてみよう 動いてみよう （リズム遊び）	（思判表力に関する活動） ・身近な人からの言葉や合図に注目し、声を出す、身振りで答える、指差しするなど行動に表す。 （主な活動内容） ・リズム遊び（手を触れる、叩く、つなぐなど） ・体の部位を指す（顔、指、手など） ・好きな活動を選択する
2 学期	27	（知及技）読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味を持つこと。（小学部1段階イ（エ）） （思判表力）絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指差しなどで表現すること。（小学部1段階C（イ）） （学・人）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。（小学部1段階）	（知・技）絵本に視線を向けたり声を聞くなど注目している。 （思・判・表）読み聞かせに対して、表情を変えたり指差しするなど反応を示している。 （主学）読み聞かせに対して、声や身体動きなどで応答し、言葉を受け止めようとしている。 【評価資料】 ・活動の観察（行動記録）	絵本を読もう	（知及技に関する活動） ・絵本や動画などを見て、繰り返される絵や台詞、効果音などに注意を向け、物語を楽しむ。 （主な活動内容） ・絵本（教科書「だるまさんの」他） ・学校図書館利用 ・パワーポイント資料 ・歌（CD）、動画（DVD） ・NHK for school「おはなしのくに」など
		（知及技）いろいろな筆記具に触れ、書くことを知ること。（小学部1段階イ（ウ）㊦） （思判表力）自分の名前や物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名をなぞったり、書いたりすること。（小学部2段階B（イ）） （学・人）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。（小学部1段階）	（知・技）いろいろな筆記用具を用いて、点や線、円などを描いている。 （思・判・表）自分なりの方法で簡単な平仮名をなぞったり、書いたりしている。 （主学）書くことを通して、自分の考えや気持ちを表現しようとしている。 【評価資料】 ・活動の観察（行動記録） ・アプリデータ ・学習プリント	書いてみよう 塗ってみよう	（知及技に関する活動） ・いろいろな筆記具に触れて自分に合った用具を知り、名前を文字で表現することを学ぶ。 （主な活動内容） ・マーカーペン、クレヨン、絵の具（刷毛）など ・シールや電子ペン、手指を用いた活動 ・iPad、パソコンアプリ ・学習プリント（自分や先生、級友の名前）
3 学期	18	（知及技）遊びを通して、言葉のもつ楽しさに触れること。（小学部1段階イ（イ）） （思判表力）絵本などを見て、次の場面を楽しみにしたり、登場人物の動きなどを模倣したりすること。（小学部1段階C（エ）） （学・人）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。（小学部1段階）	（知・技）教師との関わりを通して、言葉の持つ意味や内容を理解して楽しんでいる。 （思・判・表）絵本の内容や音楽等に合わせ模倣しようとしている。 （主学）言葉の響きやリズムに興味を持ち、もっと活動を楽しみたいという意欲が見られる。 【評価資料】 ・活動の観察（行動記録）	いろいろな物語を楽しむ （触れ合い・リズム遊び）	（思判表力に関する活動） ・絵本や触れ合い遊び、リズム遊びを通して、教師との触れ合いを楽しみながら物語を楽しむ。 （主な活動内容） ・動きや触れ合いを含む絵本（「ぎゅっ」他） ・学校図書館利用 ・エプロンシアター、ペープサートなど ・パワーポイント資料 ・歌（リトミック教材等）
		（知及技）昔話などについて、読み聞かせを聞くなどして親しむこと。（小学部1段階イ（ア）） （思判表力）絵本などを見て、知っている事物や出来事などを指差しなどで表現すること。（小学部1段階C（イ）） （学・人）言葉で表すことやそのよさを感じるとともに、言葉を使おうとする態度を養う。（小学部1段階）	（知・技）絵本に視線を向けたり声を聞くなど注目している。 （思・判・表）読み聞かせに対して、表情を変えたり指差しするなど反応を示している。 （主学）我が国の文化に親しもうとしている。 【評価資料】 ・活動の観察（行動記録）	我が国の文化に親しもう （日本の昔話）	（知及技に関する活動） ・日本の昔話やお正月、節分など、日本文化に関連した絵本等を用いて、我が国の文化に親しむ。 （主な活動内容） ・昔話の絵本（「かぐやひめ」他） ・祝祭日の絵本（「十二支のはじまり」他） ・祝祭日の学習（カレンダーなど） ・NHK for school「おはなしのくに」など

留意点 引継ぎ等	年間を通して ・生徒の健康状態に応じて、適宜休憩やリラックスを取り入れる。 ・各領域における教材は、生徒の実態および興味・関心に応じて取り入れる。 ・iPadなどのICT機器や、具体物に触れたり操作する機会を設けるなど、体験活動を通した学習を取り入れる。 ・身近な日常生活の場面を設定し、生活経験を豊かにすることをねらいとした題材を設定する。 ・学校図書館の利用を通して、読書に親しむ時間を設ける。
---------------------	--

令和7年度 中学部 2・3年(ⅡA課程) 社会科 年間指導計画

配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	中学部2・3年		ひかりのくに みじかなマーク 小学館 ちずずかん2

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや役割、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について、具体的な活動や体験を通して理解するとともに、経験したことと関連付けて、調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 社会的事象について、自分の生活と結び付けて具体的に考え、社会との関わりの中で、選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (学・人) 社会に主体的に関わろうとする態度を養い、地域社会の一員として人々と共に生きていくことの大切さについての自覚を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技) 身近な地域や自分の住んでいる市町村の様子が分かる。 (思判表力) 沖縄県内における市町村の位置や地形、土地利用などに着目して、身近な地域や市町村の様子を捉え、場所による違いを考え、表現する。 (学・人) 沖縄県の様子や自分たちの住んでいる地域に対して関心をもつ。	(知・技) ・身近な地域や自分の住んでいる市町村の様子が分かっている。 (思・判・表) ・沖縄県内における市町村の位置や地形、土地利用などに着目して、身近な地域や市町村の様子を捉え、場所による違いを考え、表現している。 (主学) ・沖縄県の様子や自分たちの住んでいる地域に対して関心をもとうとしている。	●沖縄県の地理	・沖縄県の市町村(名前、位置など) ・沖縄県の地形や気候 ・主な産業の分布 ・他県とのちがいが、地理的環境の特色
		(知及技) 県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや歴史上の出来事、文化遺産などを知る。 (思判表力) 歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現する。 (学・人) 沖縄県の歴史や文化財、年中行事等について関心をもつ。	(知・技) ・県内の主な歴史を手掛かりに、先人の働きや歴史上の出来事、文化遺産などを知っている。 (思・判・表) ・歴史的背景や現在に至る経緯などに着目し、県内の文化財や年中行事の様子を捉え、それらの特色を考え、表現している。 (主学) ・沖縄県の歴史や文化財、年中行事等について関心をもとうとしている。	●沖縄県の歴史	・沖縄県の時代区分 ・主な歴史的な事象 ・県の発展に尽くした先人の働き ・沖縄県の文化財、世界遺産 ・沖縄の年中行事 ・生活や道具などの変化
2学期	27	(知及技) 世界の様々な地域に関わる学習活動を通して、文化や風習の特徴や違いを知り、人々の生活の様子を大まかに理解する。 (思判表力) 世界の中の日本と国際交流に関わる学習活動を通して、そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現する。また、世界の出来事などに着目して、多様な文化について考え、表現する。 (学・人) 世界の出来事や多様な文化など、外国の様子に関心をもつ。	(知・技) ・世界の様々な地域に関わる学習活動を通して、文化や風習の特徴や違いを知り、人々の生活の様子を大まかに理解している。 (思・判・表) ・世界の中の日本と国際交流に関わる学習活動を通して、そこに暮らす人々の生活などに着目して、日本との違いを考え、表現している。また、世界の出来事などに着目して、多様な文化について考え、表現している。 (主学) ・世界の出来事や多様な文化など、外国の様子に関心をもとうとしている。	●外国の様子	・世界の国々(名前、位置、国旗など) ・世界各国の自然と歴史、産業 ・世界各国の生活習慣と文化(衣服、料理、住居など) ・日本とのちがいが ・世界の出来事(オリンピックなど)
3学期	18	(知及技) 家庭や学校、地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解する。 (思判表力) 社会生活ときまりとの関連を考え、表現する。 (学・人) 身近なマークに関心をもつ。また、そのマークが示すことに従うことができる。	(知・技) ・家庭や学校、地域社会でのきまりは、社会生活を送るために必要であることを理解している。 (思・判・表) ・社会生活ときまりとの関連を考え、表現している。 (主学) ・身近なマークに関心をもち、そのマークが示すことに従おうとしている。	●社会参加ときまり	・道路標識、交通ルール ・ごみの分別 ・身近なマーク ・きまりを守る意義
留意点 引継ぎ等		生徒の理解度に応じて学習を進めること。			

令和7年度 中学部 2年（Ⅱ課程Cグループ） 社会科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2年生（1名）		各種絵本、動画、画像、CD等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な習慣や技能を身に付けるようにする。 (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、社会と自分との関わりについて理解し、考えたことを表現することができるようにする。 (学・人)自分のことに取り組んだり、身近な人々、社会に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活を豊かにしようとしたりする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 身近な人と簡単なコミュニケーションをとるための、自分なりの接し方を身に付けることができる。 (思判表力) 身近な人と自分との関わりが分かり、簡単な応対などをしようとする ことができる。 (学・人) 多くの人たちとの関わりの中で、名前を覚えたり、挨拶したり、コミュニケーションを楽しもうとする態度を身に付けることができる。	(知・技) 身近な人と簡単なコミュニケーションをとるための、自分なりの接し方を身に付けている。 (思・判・表) 身近な人と自分との関わりが分かり、簡単な応対などをしている。 (主学) 多くの人たちとの関わりの中で、名前を覚えたり、挨拶をしたり、会話を楽しもうとする態度を身に付けている。	・先生や友だちに自己紹介をしよう	・あいさつ活動 ・自己紹介 ・コミュニケーションゲーム
		(知及技) 教師と一緒に沖縄戦や平和に関する内容の映像を見たり説明を聞いたりすることができる。 (思判表力) 教師と一緒に順番やマナーを守って遺留品に触れたり、感触を味わうことができる。 (学・人) 安定した気持ちで平和学習に参加したり、友達や先生と楽しく時間を過ごしたりする活動に取り組むことができる。	(知・技) 教師と一緒に沖縄戦や平和に関する内容の映像を見たり説明を聞いたりしている。 (思・判・表) 教師と一緒に順番やマナーを守って遺留品に触れたり、感触を味わったりしている。 (主学) 安定した気持ちで平和学習に参加したり、友達や先生と楽しく時間を過ごしたりする活動に取り組んでいる。	・国民の祝日について学ぼう ・平和について学ぼう	・国民の休日 ・沖縄戦 ・平和学習
2学期	14	(知及技) 身近な人や公共施設などが、どのように自分と関わっているのか気付くことができる。 (思判表力) 具体物に触れたり施設を利用したりした気持ちを、発声や体を動かしてみんなに伝えることができる。 (学・人) 先生や友だちと、社会の仕組みについて知り、自分なりの方法で活用することができる。	(知・技) 身近な人や公共施設などが、どのように自分と関わっているのか気付いている。 (思・判・表) 具体物に触れたり施設を利用したりした気持ちを、発声や体を動かしてみんなに伝えようとしている。 (主学) 先生や友だちと、社会の仕組みについて知り、自分なりの方法で活用しようとしてる。	・公共施設を利用しよう	・公共施設の役割や利用の仕方 ・校内散策（スタンプラリー）
		(知及技) 教師の言葉かけや級友の動きをみてルールに従い行動できる。 (思判表力) ルールに従いゲームに参加して、気持ちを身振り手振りで教師に伝えることができる。 (学・人) 教師と一緒に日常生活の中で守るべきルールに気付き、体験を通して実際に守ることができる。	(知・技) 教師の言葉かけや級友の動きをみてルールに従い行動している。 (思・判・表) ルールに従いゲームに参加して、気持ちを身振り手振りで教師に伝えようとしている。 (主学) 教師と一緒に日常生活の中で守るべきルールに気付き、体験を通して実際に守ろうとしている。	・決まりを守って行動しよう	・きまりやルール ・ゲーム交流
3学期	9	(知及技) 学校の中、家族の中など社会生活における自分の役割に気付くことができる。 (思判表力) 自分のできること、苦手なことを意識して、教師に自分はどうしたいかを表情や発声で伝えることができる。 (学・人) 社会生活におけるそれぞれの仕事や役割について関心をもち、自分なりに関わろうとすることができる。	(知・技) 学校の中、家族の中など社会生活における自分の役割に気付き行動している。 (思・判・表) 自分のできること、苦手なことを意識して、教師に自分はどうしたいかを声や表情で伝えている。 (主学) 社会生活におけるそれぞれの仕事や役割について関心をもち、自分なりに関わろうとしている。	・世の中の仕事について知ろう	・社会生活 ・世の中の仕事
		(知及技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけることができる。 (学・人) 安全についての理解を深め、安全に生活しようとする態度を身に付けることができる。	(知・技) 安全や防災に関わる知識や技能を身に付けようとしている。 (思・判・表) 日常生活の安全や防災に関心をもち、安全な生活をするよう心がけている。 (主学) 安全についての理解を深め、安全に生活しようとしている。	・安全や防災について知ろう	・安全と防災 ・日常で気をつけるべきこと
留意点 引継ぎ等		年間を通して ・生徒の健康状態に応じて、適宜休憩やリラックスを取り入れる。 ・教師が作成したスライドなどを、生徒の実態に合わせて視聴しやすいように、生徒各自のiPadを準備して使用する。 ・学校行事や学部行事での学習活動と関連させながら評価をする。 ・身近な日常生活の場面設定を行ったり、具体物を用いたりすることで、生活経験が豊かになるよう題材を工夫する。			

令和 7 年度 中学部 2・3年（Ⅱ課程A） 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	中学部2・3年		ひとりだちするための算数・数学

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を高める。 (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き、関心や興味をもち、学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度、算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を高める。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) ・授業の流れが理解できる ・コグトレの問題の意味を理解できる ・四則演算ができる (思判表力) ・数え方や計算方法を工夫しミスを減らす意識をしながら取り組む (学・人) ・授業の流れに慣れ安心して授業に参加できる	(知・技) ・授業の流れが分かっている ・問題の意味が分かり答えることができる。 ・四則演算ができる (思・判・表) ・数え方の工夫でミスを減らすよう考えている。 (主学) ・授業に慣れ、安心して授業参加している。	オリエンテーション ビジョントレーニング コグトレ 四則演算	・1年の大まかな内容の流れ ・1～35まで数える ・記号さがし(数える) ・たし算・引き算・かけ算
		(知及技) ・記号を数えることができる ・ものさしや手、ipadを使って長さを測ることができる ・お金の支払い方がわかる (思判表力) ・手やipadで測定するときにより正確な値に近づけるにはどうしたらよいか考える (学・人) ・正確な値を測定しようとする	(知・技) ・記号を数えることができる ・手やipadを使って長さを測定することができる ・過不足なく支払いができる (思・判・表) ・手やipadで測るときに、より正確な値に近づけるにはどうしたらよいか考える事ができる (主学) ・正確な値を測定しようとしている	ビジョントレーニング コグトレ 長さ① 金銭①	・1～35まで数える ・記号さがし(数える) ・長さの単位の変換 mmとcm ・ipadでの計測 ・お金の支払い方(おつりあり)
		(知及技) ・あい算ができる ・ピーカーの図から量を答える ・リットルとミリリットルの変換ができる ・おつりの小銭の枚数を減らす支払い方がわかる (思判表力) ・実際にピーカーを使って量を考える事ができる ・おつりの小銭の枚数を減らす方法を考える事ができる (学・人) ・おつりの小銭を減らそうとする	(知・技) ・あい算を答えることができる ・図から量を答えることができる ・単位を変換できている ・以前よりも小銭を減らした支払いができている (思・判・表) ・ピーカーを使って単位の変換を考えようとしている ・おつりの小銭をへらす方法を考えている (主学) ・おつりの小銭の枚数を減らそうとしている	ビジョントレーニング コグトレ かさ① 金銭②	・1～35まで数える ・あい算(数える) ・身のまわりにあるものの重さや量を調べる ・ゼリール作成調理実習 ・お金の支払い方(支払い方の工夫)
		(知及技) ・与えられた図形見ながら同じ図形を模写できる ・学校にある丸・三角・四角の形をしたものを見るける (思判表力) ・形をグループ化してその形の特徴を捉える (学・人) ・いろんな形について知ろうとする	(知・技) ・与えられた図形を見ながら同じ図形を模写することができる ・様々な形を見つけることができる (思・判・表) ・それぞれのグループの特徴を捉えることができる (主学) ・いろんな形について知ろうとしている	コグトレ 図形	・点つなぎ(写す) ・いろんな図形を探そう ・立体集め
2 学期	27	(知及技) ・数字の場所を覚えて記入できる ・時刻がわかる ・時間の計算を知る (思判表力) ・アナログ時計を活用して時間について考える (学・人) ・何分前何分後をアナログ時計を活用してイメージしようとする	(知・技) ・数字の場所を覚えて記入できている ・時刻を答えることができる ・何分前何分後を答えられる (思・判・表) ・アナログ時計を使って時間を考える事ができる (主学) ・何分前何分後をアナログ時計を活用してイメージしようとしている	コグトレ 時計	・数字はどこ?(覚える) ・時計の読み方 ・時刻と時間
		(知及技) ・記号を数えることができる ・バスの利用の仕方を知る (思判表力) ・地図検索アプリを活用して学校から佐喜真美術館までのバスの乗り方を考える ・自分にとってベストなバス員の支払い方を考える(現金orオキカ) (学・人) ・佐喜真美術館にバスで行く方法を知ろうとする	(知・技) ・記号を数えることができる ・バスの利用の仕方を理解している (思・判・表) ・地図検索アプリを活用して学校から佐喜真美術館までのバスの乗り方を考える事ができる ・自分にとってベストなバス員の支払い方を考える事ができる (主学) ・バスを利用する方法を知ろうとしている	コグトレ 公共交通機関の利用	・記号さがし②(数える) ・バス賃はいくら? ・オキカの使い方 ・地図検索アプリを活用してバスで佐喜真美術館に行ってみよう(模擬)

		(知及技) ・文字の場所を覚えて記入できる ・調べた物を表にする方法を知る ・表からグラフを作成する ・結果の大小関係がわかる (思判表力) ・どのように表すことで結果がわかりやすいか考える ・様々な項目の比較を考える (学・人) ・他にどんなグラフの形があるか知ろうとする	(知・技) ・文字の場所を覚えて記入できている ・調べた物を表にすることができている ・表から棒グラフを作成することができている ・結果の大小関係が理解できている (思・判・表) ・ぱっと見て結果がわかりやすいグラフを考える事ができている ・項目の大小関係の比較を考える事ができている (主学) ・他にどのようなグラフの形があるのかしろうとしている	コグトレ 表とグラフ	・文字はどこ？(覚える) ・周りの生徒や先生の好きな物を聞いて、グラフを作ろう
		(知及技) ・与えられた図形を見ながら同じ図形を模写できる ・校外学習の予算について知る ・予算内にどんなものが購入できるか知る (思判表力) ・予算内におさめるためにどのメニューを選ぶ事ができるのか考える。 ・おつりの小銭を少なくする方法を考える (学・人) ・お金の支払いをするための工夫をしようとしている	(知・技) ・与えらた図形を見ながら同じ図形を模写できている ・校外学習の予算について理解している ・予算内にどんなものを購入できるか理解することができている (思・判・表) ・予算内におさめるためにどのメニューを選ぶ事ができるか考えることができる ・おつりの小銭を少なくする方法を考える事ができる (主学) ・お金の支払い方の工夫をしようとしている	コグトレ 予算を考えて買い物しよう (校外学習に向けて)	・点つなぎ②(写す) ・校外学習で何を購入するか考えよう ・校外学習でのお金の支払い方について考えよう
3 学期	18	(知及技) ・耳で聞いた情報を覚えて記入できる ・映画館まで行く方法を知る ・映画を観るまでに必要な流れを知る ・必要な予算を知る (思判表力) ・移動方法を考える ・映画館での飲食代を考える ・自分にとってよりよいチケットの購入方法を考える (学・人) ・映画館で映画を観る方法を知ろうとする	(知・技) ・耳で聞いた情報を覚え記入できている ・映画館まで行く方法を理解できている ・映画を観るまでに必要な流れを知ることができている ・必要な予算を計算することができている (思・判・表) ・移動方法を考える事ができている ・映画館での飲食代を考える事ができている ・映画チケット購入方法を考える事ができている (主学) ・映画館で映画を観る方法を知ろうとしている	コグトレ 休日に映画館に出かけよう	・最初とボン(覚える) ・見たい映画に間に合わせて移動しよう(模擬) ・予算内に飲み物と食べ物を購入しよう(模擬)
		(知及技) ・同じイラストを見つけることができる ・クッキーを作るために必要な材料や予算を知る (思判表力) ・どんな材料がどれだけの分量必要か考える (学・人) ・おいしいクッキーを作るために分量をきちんと量ろうとする	(知・技) ・同じイラストを見つけることができている ・クッキー作成の材料・予算を知ることができている (思・判・表) ・どんな材料がどれだけの分量必要か考える事ができる (主学) ・おいしいクッキーを作るため分量をきちんと量ろうとしている	コグトレ クッキーを作ろう	・同じ絵はどれ(見つける) ・予算から購入できるものを考える ・調理実習
留意点 引継ぎ等	買い物学習				

令和 7 年度 中学部 2年（Ⅱ課程C） 数学科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	中学部2年		ひとりだちするための算数・数学／その他

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などに気付き理解するとともに、日常の事象を数量や図形に注目して処理する技能を身に付けるようにする。(小学部) (思判表力) 日常の事象の中から数量や図形を直感的に捉える力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などに気付き感じ取る力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり柔軟に表したりする力を養う。(小学部) (学・人) 数学的活動の楽しさに気付き，関心や興味をもち，学習したことを結び付けてよりよく問題を解決しようとする態度，算数で学んだことを学習や生活に活用しようとする態度を養う。(小学部)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) 10までの数の概念や表し方について分かり、数についての感覚をもつとともに、ものと数との関係関心をもって関わることについての技能を身に付けることができる。 (思判表力) 日常生活の事象について、ものの数に着目し、具体物や図を用いながら数の数え方を考え、表現することができる。 (学・人) 数量に関心をもち、算数で学んだことの楽しさやよさを感じながら興味をもって学ぶことが態度を養うことができる。	(知・技) 10までの数が分かり、具体物を数えたり、指定された個数を取ったりしている。 (思・判・表) 表示された数字に注目し、指定された数字を3つの数字の中から選ぼうとしている。 (主学) 具体物を操作する楽しさを味わい、興味関心をもって学習に取り組もうとしている。	【数と計算】 「10までの数」 ・数えてみよう ・数字を当てよう	・「すすくすプラス」ひよこ かずのきほん5まで かずをえらぼう かずにあうものをえらぼう かずのきほん6まで かずをえらぼう10まで かずにあうものをえらぼう10まで かずをつなごう10まで ・「かぞえ10」 ・指定された個数のおもちゃを選ぶ
2 学期	27	(知及技) 身の回りにあるものの形に関心をもち、丸や三角、四角という名称を知ることができる。 (思判表力) 身の回りにあるものの形に関心を向け、丸や三角、四角を考えながら分けたり、集めたりすることができる。 (学・人) 図形に関心をもち、楽しみながら学習することができる。	(知・技) 丸や三角、四角という名称と形を一致させている。 (思・判・表) 身の回りの形に関心をもち、形の違いに気付いている。 (主学) 形集めに進んで取り組もうとしている。	【図形】 「まる、さんかく、しかく」 ・○△□の名前を知ろう ・形で分けよう 「形を探そう」 ・○△□を集めよう	・「すすくすプラス」ひよこ いろやかたちのきほん ・○、△、□の形と名称を確認する。 ・同じ色、大きさで○、△、□の分類をする。 ・異なる大きさで○、△、□の分類をする。 ・異なる色、大きさで○、△、□の分類をする。 ・身の回りの物の写真を撮り、○、△、□で分類する。
3 学期	18	(知・技) 身の回りの具体物の長さや大きさに注目し、それらの違いが分かり、比べようとしている。 (思・判・表) 具体物を操作し、二つの長さや大きさを比べたり、一方を基準として他方と比べようとしている。 (主学) 具体物を操作する楽しさを味わい、興味関心をもって学習に取り組もうとしている。	(知・技) 身の回りの具体物の長さや大きさに注目し、それらの違いが分かり、比べようとしている。 (思・判・表) 具体物を操作し、二つの長さや大きさを比べたり、一方を基準として他方と比べようとしている。 (主学) 具体物を操作する楽しさを味わい、興味関心をもって学習に取り組もうとしている。	【測定】 「ながいとみじかい」 ・一番長い物を探そう ・一番短い物を探そう ・同じ長さを探そう ・長さクイズをしよう 「おおきいとちいさい」 ・一番大きい物を探そう ・一番小さい物を探そう ・同じ物を探そう 「比べてみよう」 ・二種類のものを比べてみよう ・比べ方について	・「長い・短い」という言葉の意味を確認する。 ・「すすくすプラス」うさぎ いろいろなひかく ・「すすくすプラス」きつね おなじものちがうもの ・えんぴつ、モール、ひも、りぼんなどの具体物を直接比べ、どれが一番長い（短い）か予想した後に長さを比べる。 ・身の回りの具体物から長いもの、短いものを探す。 ・「大きい・小さい」という言葉の意味を確認する。 ・数種類の形を用意し、その中から大きいものや小さいもの、同じ大きさのものを探す ・比較する対象となるものの比べ方について確認する。
留意点 引継ぎ等					

令和 7年度 中学部2・3年（Ⅱ課程A） 理科 年間指導計画					
単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2／70		中学部2・3年			理科☆☆☆☆(東京書籍) 沖縄の理科(沖縄時事出版) 他
目標：(知・技)知識及び技能 評価：(知・技)知識・技能		(思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 (学・学)主体的に学習に取り組む態度			
年間目標		(知・技) 季節と生物、光や音の性質及び物と重さについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付ける。(中1・2段階) (思・判・表) 季節と生物、光や音の性質及び物と重さについて調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を 考える力を身につける。(中1・2段階) (学・人) 季節と生物、光や音の性質及び物と重さについて進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を身につける。(中1・2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知・技) ・動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(中2段階A7) (思・判・表) ・動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて調べる中で、見出した疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。(中2段階A7イ) (主学) ・動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を身につけることができる。(中2段階A7ウ)	(知・技) ・動物の活動は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 ・植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 (思・判・表) ・身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や絵垂れた結果を分かりやすく記録している。 (学・人) ・身近動物や植物について、既習の内容や生活経験を基に、根拠ある予想や仮説を妄想し、表現するなどして問題解決している。 ・身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ・身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に活かそうとしている。	【季節と生物(春の生き物)】 ・動物の活動と季節 ・植物の生長と季節	・春と早春の自然の様子の資料写真を見比べて、このごろの植物や動物の様子について、気づいたことや疑問に思ったことを話し合う。 ・1年間の植物や動物の様子の変化について話し合い、観察計画を立てる。 ・このごろの植物(木)の様子を観察して、記録する。 ・ヘチマの種を観察して、記録する。 ・このごろの動物の活動の様子を観察して、記録する。 ・これまでの記録を個人別とクラス全体やグループ別でまとめる。 ・植物や動物のこれからの変化について、これまでに学んだことや経験したことを基に予想し、話し合う。 ・資料を読んで、春の季節の特徴を捉える。
		(知・技) ・光や音の性質について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を知らうとすることができる。(中1段階A7) (思・判・表) ・光や音の性質から、主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつを身につけることができる。(中1段階C1イ) (学・人) ・光や音の性質について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を身につけることができる。(中1段階C7ウ)	(知・技) ・日光は直進し、集めたり反射させたりできることを理解している。 ・物に日光を当てると、物の明るさやあたたかさが変わることを理解している。 (思・判・表) ・光の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 ・物から音が伝わりやすくなること、物は震えていること、また、音の大きさが変わるときの物の震え方が変わること理解している。 ・音の性質について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (思・判・表) ・光の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 ・光の性質について、観察、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 ・音の性質について、差異点や共通点を基に、問題を見だし、表現するなどして問題解決している。 ・音の性質について、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ・光の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・光の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 ・音の性質についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・音の性質について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【光や音の性質】 ・光の当て方と明るさや暖かさ ・音の伝わり方	・鏡を使って日光をはね返し、日陰にある的に当ててみる活動を通して、問題を見出す。 ・はね返した日光を日陰の地面にはわせ、日光の進み方を調べる。 ・はね返した日光が当たった所の明るさや、はね返した日光の進み方についてまとめる。 ・はね返した日光が当たった所の温度について調べる。 ・日光が当たった所の明るさや温度についてまとめる。 ・虫眼鏡で集めた日光が当たった所の明るさやあたたかさを調べる。 ・日光を集めた所を小さくしたとき、明るく、あたたかくなることをまとめる。 ・太陽の光について、学んだことをまとめる。 ・トライアングルを使って音を出し、音を出しているときのトライアングルの様子について気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い、音が出ているときの様子について調べる問題を見出す。 ・問題を解決するための実験の方法を考える。 ・楽器で音を出して、楽器がどのように震えているか調べる。 ・音が出るときの物の様子や、音の大きさと物の震え方の関係についてまとめる。 ・音が伝わるとき、音を伝える物が震えているか調べる。 ・音が伝わるとき、音を伝える物が震えていることをまとめる。 ・音が出るときの物の様子について、学んだことをまとめる。
2 学期	30	(知・技) ・動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(中2段階A7) (思・判・表) ・動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて調べる中で、見出した疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。(中2段階A7イ) (主学) ・動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を身につけることができる。(中2段階A7ウ)	(知・技) ・動物の活動は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 ・植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 (思・判・表) ・身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や絵垂れた結果を分かりやすく記録している。 (学・人) ・身近動物や植物について、既習の内容や生活経験を基に、根拠ある予想や仮説を妄想し、表現するなどして問題解決している。 ・身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ・身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に活かそうとしている。	【季節と生物(夏の生き物)】 ・動物の活動と季節 ・植物の生長と季節	・夏と春の自然の様子の資料写真を見比べて、このごろの自然の様子について気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、植物や動物の様子の変わり方について疑問を見出す。 ・サクラやヘチマなどの成長の様子を観察して、記録する。 ・このごろの動物の活動の様子を観察して、記録する。 ・これまでの記録を基に、ヘチマなどの成長と気温の変化をグラフなどにまとめ、育ち方と気温との関係を考える。 ・これまで観察してきた植物や動物のこれからの変化について、これまでに学んだことや経験したことを基に予想して話し合う。 ・資料を読んで、夏の季節の特徴を捉える。
		(知・技) ・動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて調べる中で、見出した疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。(中2段階A7) (思・判・表) ・動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を身につけることができる。(中2段階A7ウ)	(知・技) ・動物の活動は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 ・植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 (思・判・表) ・身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や絵垂れた結果を分かりやすく記録している。 (学・人) ・身近動物や植物について、既習の内容や生活経験を基に、根拠ある予想や仮説を妄想し、表現するなどして問題解決している。 ・身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ・身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に活かそうとしている。	【季節と生物(秋の生き物)】 ・動物の活動と季節 ・植物の生長と季節	・秋と夏の自然の様子の資料写真を見比べて、このごろの植物や動物の様子について話し合う。 ・サクラやヘチマなどの成長の様子を観察して、記録する。 ・このごろの動物の活動の様子を観察して、記録する。 ・これまでの記録を整理して、植物や動物の様子と気温との関係を考える。 ・これまで観察してきた植物や動物のこれからの変化を予想して、話し合う。 ・資料を読んで、秋の季節の特徴を捉える。
3 学期	18	(知・技) ・月や星について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(中2段階B7) (思・判・表) ・月や星について調べる中で、見出した疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。(中2段階B7イ) (主学) ・月や星について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を身につけることができる。(中2段階B7ウ)	(知・技) ・月は日によって形が変わって見え、1日のうちでも時刻によって位置が変わることを理解している。 ・空には、明るさや色の違う星があることを理解している。 ・星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、並び方は変わらないが、位置が変わることを理解している。 ・月や星の特徴について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 (思・判・表) ・月や星の特徴について、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を妄想し、表現するなどして問題解決している。 ・月や星の特徴について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ・月や星についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・月や星について学んだことを学習や生活に活かそうとしている。	【月と星】 ・月の形と位置の変化 ・星の明るさ、色	・星間に見える月を観察したり資料写真を見たりして、気づいたことや疑問に思ったことを話し合い、月の見える位置の変わり方について問題を見出す。 ・月の見える位置は、時刻によってどのように変わっていくのか、これまでに学んだことや経験したことを基に予想する。 ・月の見える位置の変わり方を調べる方法を考える。 ・星に見える月の位置の変わり方を観察する。また、夜に見える月の位置や数日後に見られる月の見える位置を観察する。 ・月の形や月の見える位置の変化についてまとめる。 ・星や星座の見える位置や並び方について予想する。 ・星の見える位置の変わり方を調べる方法を考える。 ・夜間に星の見える位置と並び方を観察する。 ・星や星座は時間がたつと、見える位置は変わるが、並び方は変わらないことをまとめる。 ・月や星の見え方について、学んだことをまとめる。
		(知・技) ・動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を身につけることができる。(中2段階A7) (思・判・表) ・動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて調べる中で、見出した疑問について、既習の内容や生活経験を基に予想し、表現することができる。(中2段階A7イ) (主学) ・動物の活動や植物の成長と環境との関わりについて進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を身につけることができる。(中2段階A7ウ)	(知・技) ・動物の活動は、あたたかい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 ・植物の成長は、暖かい季節、寒い季節などによって違いがあることを理解している。 (思・判・表) ・身近な動物や植物について、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や絵垂れた結果を分かりやすく記録している。 (学・人) ・身近動物や植物について、既習の内容や生活経験を基に、根拠ある予想や仮説を妄想し、表現するなどして問題解決している。 ・身近な動物や植物について、観察などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 (主学) ・身近な動物や植物についての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 ・身近な動物や植物について学んだことを学習や生活に活かそうとしている。	【季節と生物(冬の生き物)】 ・動物の活動と季節 ・植物の生長と季節	・冬と秋の自然の様子の資料写真を見比べて、このごろの植物や動物の様子について話し合う。 ・このごろの動物の活動の様子を観察して、記録する。 ・寒い頃のサクラの枝先の様子と枯れたヘチマの様子との違いを基に、サクラとヘチマの冬越しの仕方について考え、まとめる。 ・これまで観察してきた植物や動物のこれからの変化について、これまでに学んだことや経験したことを基に予想して、話し合う。 ・資料を読んで、冬の季節の特徴を捉える。

792	【知・技】 - 物の性質について気づき、観察、実験などに関する初歩的な技能を知ろうとすることができる。(中1段階Cア) 【思・判・表】 - 物の性質から、主に差異点や共通点に気づき、疑問をもつ力を身につけることができる。(中1段階Cイ) 【主学】 - 物の性質について進んで調べ、生物を愛護する態度や学んだことを日常生活などに生かそうとする態度を身につけることができる。(中1段階Cウ)	【知・技】 - 物は、形が変わっても重さは変わらないことを理解している。 - 物は、体積が同じでも重さは違うことがあることを理解している。 - 物の形や体積と重さについて、器具や機器などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録している。 【思・判・表】 - 物の形や体積と重さについて、差異点や共通点を基に、問題を見いだし、表現するなどして問題解決している。 - 物の形や体積と重さについて、実験などを行い、得られた結果を基に考察し、表現するなどして問題解決している。 【主学】 - 物の形や体積と重さについての事物・現象に進んで関わり、他者と関わりながら問題解決しようとしている。 - 物の形や体積と重さについて学んだことを学習や生活に生かそうとしている。	【物と重さ】 - 形と重さ - 体積と重さ	- 形を変えた粘土の重さを比べて、気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い、物の重さについて調べる問題を見いだす。 - 粘土やアルミニウムはくの形を変えて、重さが変わるかどうか調べる。 - 物の形と重さについてまとめる。 - 塩と砂糖の重さを比べてみて、気づいたことや疑問に思ったことを発表し合い、体積が同じ物の重さについて調べる問題を見いだす。 - 塩と砂糖の体積を同じにする方法を考える。 - 塩と砂糖の体積を同じにして、重さを比べる。 - 体積が同じでも、物によって重さが違うことをまとめる。 - 同じ体積のいろいろな物の重さを比べる。 - 物の重さについて、学んだことをまとめる。
	留意点 引継ぎ等			

令和7年度 中学部 2年（Ⅱ課程Cグループ） 理科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1／35	2年生		各種絵本、動画、画像、CD等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活に必要な基本的な習慣や技能を身に付けるようにする。(小学部2段階) (思判表力)自分自身や身の回りの生活のことや、身近な人々、自然と自分との関わりについて理解し、考えたことを自分なりに表現することができるようにする。(小学部2段階) (学・人)自分のことに取り組んだり、身近な人々、自然に自ら働きかけ、意欲や自信をもって学んだり、生活に生かそうとしたりする態度を養う。(小学部2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 身近な人と簡単なコミュニケーションをとるための、自分なりの接し方を身に付けることができる。 (思判表力) 身近な人と自分との関わりが分かり、簡単な応対などをしようとする ことができる。 (学・人) 多くの人たちとの関わりの中で、名前を覚えたり、挨拶したり、コミュニケーションを楽しもうとする態度を身に付けることができる。	(知・技) 身近な人と簡単なコミュニケーションをとるための、自分なりの接し方を身に付けようとしている。 (思・判・表) 身近な人と自分との関わりが分かり、簡単な応対などをしようとしている。 (主学) 多くの人たちとの関わりの中で、名前を覚えたり、挨拶をしたり、会話をしようとする態度を身に付けようとしている。	・先生や友だちに自己紹介をしよう ・一緒に遊ぼう	・あいさつ活動 ・自己紹介 ・コミュニケーションゲーム ・磁石で遊ぼう
		(知及技) 花や葉、土などの自然に触れることができる。 (思判表力) 身のまわりにある生命や自然に気付き、教師と一緒に皆に伝えることができる。 (学・人) 身の回りの生命や自然について関心をもつ。	(知・技) ・花や葉、土などに触れることができる。 (思・判・表) ・身のまわりにある生命や自然に気付き、教師と一緒に皆に伝えようとしている。 (主学) ・身の回りの生命や自然について関心をもち、まわりを見渡したり手を伸ばしたりして自ら自然に触れようとしている。	・自然に触れる	・校庭を散策し、花や葉、土の感触を確かめる ・野菜や花を育てる ・生き物のようすを観察する
2学期	14	(知及技) 天気や気温、季節の移り変わりに気付くことができる。地域の行事と季節の関係について知る。 (思判表力) 気温や季節の変化を感じて気付いたことを自分なりに表すことができる。 (学・人) 晴れや雨などの天候の変化に気付くなど天気や空の様子に関心を持つことができる。	(知・技) 天気や気温、季節の移り変わりに気付いている。地域の行事と季節の関係について知る。 (思・判・表) 気温や季節の変化を感じて気付いたことを自分なりに表そうとしている。 (主学) 晴れや雨などの天候の変化に気付くなど天気や空の様子に関心を持っている。	・水に触れる (冷たい、ぬるい、熱いなど) ・季節の行事を知ろう	・空や雲のようすを観察する ・水の温度と気温の変化を感じる ・季節にちなんだ行事に取り組む
		(知及技) 身の回りの生活の中で、ものの質感や重さに違いがあることを感じる ことができる。 (思判表力) 具体物に触れ、気付いたことや感じたことを自分なりに表すことができる。 (学・人) 身のまわりにあるものに関心をもつ。	(知・技) 身の回りの生活の中で様々なものに触れ、質感や重さに気付き、違いを感じている。 (思・判・表) 具体物に触れ、気付いたことや感じたことを自分なりに表そうとしている。 (主学) 身のまわりにある物に注意を向けたり触れようとしたりしている。	・ものに触れる ・ものづくり	・ペットボトル、缶、ビンなど素材に注目しよう ・質感や重さの違いを感じよう ・ぶつけたときの音や持ったときの感触で素材をみわけよう
3学期	9	(知及技) 風やゴムの力は、ものを動かすことができることを知る。 (思判表力) 身のまわりにあるものの仕組みや働きに気付き、感じたことを自分なりに表すことができる。 (学・人) 風やゴムの力によって物が動く様子に関心を持ち、どうなるかを予想したり確かめようとしたりすることができる。	(知・技) 教師の言葉かけや級友の動きをみてルールに従い行動しようとしている。 (思・判・表) 身のまわりにあるものの仕組みや働きに気付き、感じたことを教師や周りに伝えようとしている。 (主学) 風やゴムの力によって物が動く様子に関心を持ち、動きを確かめようとしている。	・風やゴムの力とその働き ・ものの仕組みや働きを知る ・風やゴムを使った道具を使ってみよう	・うちわやサーキュレーター、風船を使った実験 ・風の強さを変えたときに物がどう動くかを確かめよう ・紙コップや輪ゴムを使った実験
留意点 引継ぎ等		・年間を通して、栽培や飼育に関わる活動を行う。 ・生徒の健康状態に応じて、適宜休憩やリラックスを取り入れる。 ・学校行事や地域行事と関連させながら取り組む。 ・身近な日常生活の場面設定を行ったり、具体物を用いたりすることで、生活経験が豊かになるよう題材を工夫する。 ・V O C A、スイッチ教材、視線入力装置などの支援機器を活用する。			

令和7年度 中学部2・3年（Ⅱ課程Aグループ） 音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
70	中学部2・3年ⅡA課程		音楽☆☆☆☆☆/音楽☆☆☆☆（東京書籍）

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）曲名や曲想と音楽の構造などとの関わりについて気づくとともに、音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、音楽づくり、身体表現の技能を身に付けるようにする。（中1段階） （思判表力）音楽表現を考えて表したい思いや意図をもつことや、音や音楽を味わいながら聴くことができるようにする。（中1段階） （学・人）進んで音や音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に触れるとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。（中1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	（知及技）曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わりに気付くことができる。示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現ができる。 （思判表力）歌唱表現、身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら歌唱表現、身体表現に対する思いや意図をもつことができる。 （学・人）音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持ち、学習活動に取り組むことができる。	（知・技）曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わりに気付いている。音楽表現を楽しむために必要な歌唱の技能を身に付け、歌ったり、体を動かしたりしている。 （思・判・表）歌唱表現、身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら歌唱表現や身体表現に対する思いや意図をもっている。 （主学）音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に歌唱や身体表現の学習活動に取り組もうとしている。	友達と歌おう 【歌唱】 「校歌」「花」 【歌唱、手話】 「あの青い空のように」	・CDや動画で曲を聴き、曲の雰囲気をつかむ。 ・伝統的な歌曲を聴き、曲想と歌詞の情景やイメージとの関わりを感じ取る。 ・歌詞のうち古語による表現の箇所については、生徒がイメージできるよう絵や写真、映像を示し、歌詞の意味を調べる時間を設定し、理解を促す。 ・「喜び」「寂しさ」「明るさ」等感情を表す歌詞について気持ちを込めて歌う。 ・互いの声を聞き合いながら歌うことや歌詞に合わせた動作や手話をつけて歌う。 ・友達に投げかけるような気持ちで歌うように促すことで、交互唱の生み出す面白さを感じ取る。
		（知及技）曲名や歌詞と体の動きとの関わりについて気付くことができる。示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体表現ができる。 （思判表力）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながらリズムの特徴や曲の雰囲気を感知取り、体を動かすことに対する思いや意図をもつことができる。 （学・人）音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持ち、学習活動に取り組むことができる。	（知・技）曲名や歌詞と体の動きとの関わりについて気付いている。示範を見て体を動かしたり、曲の速度やリズム、曲の雰囲気に合わせて身体を動かしている。 （思・判・表）身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら身体表現に対する思いや意図をもっている。 （主学）音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に身体表現の学習活動に取り組もうとしている。	リズムに合わせて表現しよう 【身体表現、音楽づくり】 「手拍子の花束」 「Head Shoulders, Knees And Toes」 【ボディークラップ】 「Make You Happy」	・体全体をパーカッションにしてリズムをきざみ、その重なりで音楽を奏でる（ボディパーカッション） ・身体表現を通して付点があるリズムの特徴や曲の雰囲気を感知取る。 ・タイミングを合わせる工夫をしなが友達と協力して主体的に動きを合わせるようにする。
		（知及技）いろいろな音の響きの特徴に気付くことができ、リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴に気付くことができる。 設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせて表現する技能、音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくる技能を身に付ける。 （思判表力）音遊びを通して、どのように音楽をつくるのかについて発想を得ることができる。音を音楽へと構成することについて思いや意図をもつことができる。 （学・人）音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持ち、学習活動に取り組むことができる。	（知・技）いろいろな音の響きの特徴に気付いている。リズム・パターンや短い旋律のつなげ方の特徴に気付いている。 設定した条件に基づいて、音を選択したり組み合わせて表現する技能、音楽の仕組みを生かして、簡単な音楽をつくる技能を身に付けている。 （思・判・表）音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、どのように音楽をつくるか発想を得たり、音楽づくりに対する思いや意図をもっている。 （主学）音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。	音楽をつくろう① 【音楽づくり】 「いろいろな音をつくろう」 「音びや休みのきまり」 「楽器をつくろう」 レインスティックをつくろう	・自然の音、校内の音を録音してみる、(iPad) ・身近な素材やiPadを使って音を出してみることで、音の不思議さや面白さを感じ取る。 ・友達同士で互いの表現について感じたことを話し合う。 ・音符や休符の名前、長さについて学習する。 ・手作りしたレインスティックを見て奏法を考える ・筒の中に入れる物によって音色に違いが生じることを聴き比べる。 【ストロー、コップ、ペットボトル、新聞紙、洗面器、水など】 【iPad】 ・ボイスメモ ・Chrome Music Lab ・Paintone 【レインスティック材料】 ラップの芯、竹串、豆、米、ビーズなど
		（知及技）範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりすることができる。曲名や歌詞と体の動きとの関わりについて気付くことができる。友達と動きを合わせて表現することができる。 （思判表力）歌唱表現、身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫したり、リズムの特徴を感じ取り身体を動かしたりすることについて思いや意図をもつことができる。 （学・人）音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持ち、学習活動に取り組むことができる。	（知・技）範唱を聴いて歌ったり、歌詞を見て歌ったりしている。曲名や歌詞と体の動きとの関わりについて気付いている。友達と動きを合わせて表現しようとしている。 （思・判・表）歌唱表現、身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気に合いそうな表現を工夫したり、リズムの特徴を感じ取り身体を動かしたりすることについて思いや意図をもっている。 （主学）音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に歌唱表現、身体表現の学習活動に取り組もうとしている。	歌っておどろろ 【歌唱、身体表現】 「セブンスステップ」 「マイム マイム」 「エイサー」 ・唐船ドレー	・英語の歌を歌う ・歌詞に合わせてステップをしたり手拍子をしたりなどの身体表現をする。 ・輪になって歩いたり、隣の人と手を合わせたりするなど、友達と関わる。 ・映像を示し、特徴を捉えられるようにする（楽器、講成、合いの手、指笛、衣装）

2 学 期	27	(知及技) 曲想と音楽の構造との関わりについて気づくことができる。曲の速度やリズム曲想に合わせて表現したり、友達と動きを相談して表現したりすることができる。 (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲想を感じ取り、身体を動かしたりすることについて思いや意図をもつことができる。 (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持ち、学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想と音楽の構造との関わりについて気づいている。曲の速度やリズム曲想に合わせて表現したり、友達と動きを相談して表現したりしている。 (思判表力) 身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、リズムの特徴や曲想を感じ取り、身体を動かしたりすることについて思いや意図をもっている。 (学・人) 音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に鑑賞や身体表現の学習活動に取り組みようとしている。	音楽を聴いて表現しよう 組曲《動物の謝肉祭》より水族館 アフリカン シンフォニー	・曲想からイメージしたことを体で表現する。 ・曲に合わせて水族館の生き物や水の音、気泡などの動きを表現する。友達と相談して表現の仕方を工夫する。 ・楽器の音で表現している動物の鳴き声を意識できるよう、映像唐を使って動物が鳴く様子を見せ、イメージしやすいようにする。
		(知及技) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて知ることができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴くことができる。 (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持ち、学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かっている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴こうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	音楽のちがいをくらべよう 【鑑賞】 「音色のちがいをくらべよう」 「声の重なりを感じよう」 「旋律の重なりを感じよう」	・音色の異なる曲を比較しながら鑑賞する。 「アメイジング グレイス」「フーガ ト短調」「四季より"春"」「アルルの女より"メヌエット"」 ・声の重なり、旋律の重なりを感じながら鑑賞する。 「オペラまてきより パ・パ・パ」 「パッヘルベルのカノン」 「アルルの女第2組曲からファランドール」
		(知及技) 曲名や曲想と音楽の構造との関わり、歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付くことができる。多様な楽器の音色と全体との響きとの関わりに気付くことができる。 (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合うような表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。 (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持ち、学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲名や曲想と音楽の構造との関わり、歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付いている。多様な楽器の音色と全体との響きとの関わりに気付いている。 (思・判・表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合うような表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもっている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に鑑賞表現、器楽表現の学習活動に取り組もうとしている。	世界の楽器と音楽を調べよう 「ラ クカラチャ」メキシコ民謡 「コンドルは飛んでいく」ペルーその他	・各国の音楽・楽器・曲を聴き、雰囲気や特徴を知ろう。 ・世界地図で場所を確認する。 ・写真や映像で見たり、視聴したりして世界の音楽・楽器・曲について知る。
		(知及技) 楽器の音色と全体の響きとの関わりに気付くことができる。音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能、友達の楽器の音や伴奏を聴き、音に合わせて演奏する技能を身に付ける。 (思判表力) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合うような表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもつことができる。 (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持ち、学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 楽器の音色と全体の響きとの関わりに気付いている。音色や響きに気を付けて、打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能、友達の楽器の音や伴奏を聴き、音に合わせて演奏する技能を身に付けている。 (思・判・表) 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合うような表現を工夫し、器楽表現に対する思いや意図をもっている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に器楽表現の学習活動に取り組もうとしている。	合奏をしよう 【器楽】 「笛星人」：リコーダー 「パフ」 「マンボNo. 5」	・リコーダーの管の長さや音の高低の関係を知る。 ・ソプラノリコーダーの持ち方、音の出し方を知る。 ・シの音だけで演奏する。 ・リコーダー、キーボード、鉄琴などで合奏する。 ・ボンゴ、マラカス等好きな打楽器を選び曲を聴きながら演奏する。 ・友達の楽器の音や伴奏を聴いて演奏する。
3 学 期	18	(知及技) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて知ることができる。 (思判表力) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴くことができる。 (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持ち、学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想とリズムや速度、旋律の特徴との関わりについて分かっている。 (思・判・表) 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見いだして聴こうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	いろいろな音楽を聴こう 【鑑賞】 「アイネクライネナハトムジーク」 「A列車でいこう」 「カルメン前奏曲」 「Let It Be」 「ハリポッターのテーマ」	・CDを聴いたり、映像を見たりする。 ・弦楽器について知る。 ・ビックバンドによるジャズ音楽や楽器について知る。 ・旋律を口ずさんだり、手拍子(裏打ち)をししたりして曲想を味えるようにする。 ・オーケストラの響きに親しみ歌劇(オペラ)に興味関心を持つ。 ・歌とエレクトリックギタードラムなどによるロックバンドの様式や楽器を知る。 ・曲を聴きながらモチーフ(ヘッドウィッグのテーマ)を探す。チェレスタという楽器で演奏されていることを知る。 ・鑑賞して気付いたことや感想を話し合う。
		(知及技) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付く。友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付ける。 (思判表力) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合うような表現を工夫し歌唱表現に対する思いや意図をもつことができる。 (学・人) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味を持ち、学習活動に取り組むことができる。	(知・技) 曲想と歌詞の表す情景やイメージとの関わりに気付いている。友達の歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う技能を身に付けている。 (思・判・表) 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の雰囲気合いに合うような表現を工夫し歌唱表現に対する思いや意図をもっている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら、主体的、協働的に歌唱表現の学習活動に取り組もうとしている。	みんなで歌おう 【歌唱】 「花は咲く」「栄光の架橋」「ベストフレンド」など	・CD、映像、範唱などで曲を知る。 ・歌詞を読んで内容を理解する。 ・曲や歌詞に合う歌い方(明るい、優しい、力強い、穏やかなど)を伝え、歌い方を工夫する。 ・伴奏や友達の歌を聴き、声を合わせて歌う。
留意点 引継ぎ等		○儀式・行事の曲(「校歌」「月桃」「いのちのリレー」「卒業式の歌」等)			

令和7年度 中学部 2年（Ⅱ課程(グループ)）音楽科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	中学部2年ⅡC課程		なし

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現, 器楽, 歌唱, 音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。 (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して行う		(知及技) 音や音楽に注意を向けて気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。	(知・技) 音や音楽に気付き、身体の一部を動かす、楽器の音を出す、声を出す等の活動をしようとする。 (思・判・表) 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取り、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとしている。 (主学) 教師の働きかけに応えたり、音や音楽を通しての教師とのやりとりの楽しさを感じ、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽活動に取り組もうとしている。	一緒に音楽を楽しもう 音楽に合わせて身体を動かそう	「はじまりのうた」「なまえうた」「おわりのうた」「パンパン」・タッピング「お星さまとアリサ」「天国と地獄」等 身体表現 「手と手と手と」「おおきなわ」「オブラディオブラダ」「イルカはざんばらこ」「わらべうた」「おどりの好きなウンパッパ」「ヤッホッホ夏休み」「ハッピークリスマス」等
1学期	25	(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとする事ができる。 (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気付き、じつと動きを止めて聴いたり、音楽に合わせて楽器を鳴らしたりする。 (思・判・表) 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取り、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽遊びの学習活動に取り組もうとしている。	曲の雰囲気や季節を感じよう	「雨ふり水族館」「あめふりりんちゃん」「だから雨ふり」「月桃」「いのちのリレー」「うみ」「カイト」「海の声」等 ※バルーン, 布, スズランテープ, 傘, 音源, 楽器等を使用し視覚・聴覚・感触で感じよう
		(知及技) 音や音楽に注意を向けて気付くことができ、音や音楽を感じて体を動かすことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。	(知・技) 音楽の速度や強弱, リズムを感じて体を動かそうとする。 (思・判・表) 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取り、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽遊びの学習活動に取り組もうとしている。	速度や強弱, リズムを感じよう	「リズムとリズム」「ボールをポーン!」「めだかのがっこう」～音の強弱を感じ取ろう「海のオルゴール」 ※ボール, バルーン, 布
2学期	27	(知及技) いろいろな音に注意を向けて気付くことができ、音や音楽を感じて楽器の音を出すことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。	(知・技) 色々な素材の音や楽器の音を出そうとする。 (思・判・表) 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取り、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	いろいろな素材の音や楽器の音を聴いてみよう いろいろな素材の音を出したり、楽器を鳴らしたりしよう	新聞紙、筒、布、金属音、豆等 「ハンガリー舞曲」「お料理行進曲」「おもちゃのシンフォニー」等
		(知及技) 音や音楽に注意を向けて気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。	(知・技) 聴こえてくる音や音楽に気付き、じつと動きを止めて聴いたり、音楽に合わせて楽器を鳴らしたりする。 (思・判・表) 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取り、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽遊びの学習活動に取り組もうとしている。	曲の雰囲気や季節を感じよう	「もみじ」「まっかな秋」 ※バルーン, 布, スズランテープ, 傘, 音源, 楽器等を使用し視覚・聴覚・感触で感じよう

3 学 期	18	(知及技) 音や音楽に注意を向けて気付くことができ、音や音楽を感じて楽器の音を出すことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすることができる。 (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。音楽経験を生かして生活を楽しむものにしようとする態度を養う。	(知・技) 音楽に合わせて楽器の音を出そうとする。 (思・判・表) 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取り、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	器楽を楽しもう	「ラデツキー行進曲」 「エルクンバンチェロ」 「クリモカベル」等
		(知及技) 聴こえてくる音や音楽に気付くことができる。 (思判表力) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見付けようとするすることができる。 (学・人) 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じることができる。音楽経験を生かして生活を楽しむものにしようとする態度を養う。	(知・技) いろいろな音楽に触れ、聞こえてくる音や音楽に気付き、じっと動きを止めて聴いたり、反応したりする。 (思・判・表) 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取り、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとしている。 (主学) 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	様々な国の音楽を聴こう 郷土の音楽に親しもう	「諸外国の民族音楽」「クラシック」「ジャズ」「ロック」「沖縄民謡」等
留意点 引継ぎ等		○儀式・行事の曲（「校歌」「月桃」「いのちのリレー」「卒業式の歌」等）			

単位数 ／配当時数		児童生徒	担当者	教科書／副教材	
2/70		中学部2・3年		美術2・3(光村図書)／他	
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技) 生徒の実態に応じて、造形的な視点について理解し、表したいことに合わせて材料や用具を使い、表し方を工夫する技能を身に付ける。(中学部2段階) (思判表力)造形的なよさや面白さ、美しさ、表したいことや表し方などについて考え、経験したことや材料などを基に、発想し構想するとともに、造形や作品などを鑑賞し、自分の見方や感じ方を深める。(中学部2段階) (学・人)創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性豊かにし、心豊かな生活を営む態度を養い、豊かな情操を培う。(中学部2段階)			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技) ●材料や用具の扱いを身に付け、表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かしたり組み合わせたりして見通しをもって表すことができる。中学部2段階Aア(イ) (思判表力) ●身近な風景を見つめ、感じ取った特徴、想像したことを基にどのようにあらわしたいか考えて、構想することができる。中学部2段階Aア(ア) (学・人) ●自分たちの作品や参考作品を鑑賞し、よさや面白さを感じ取り、自分の見方や感じ方を深めることができる。中学部2段階Bア(ア)	(知・技) ○材料や道具の扱いが分かり、形や色、質感などが感情にもたらす効果をもとに、見通しを持って制作しようとしている。 (思・判・表) ○自分の表したいものに合った材料や用具を選択し構想を練っている。 (主学) ○作品の造形的なよさや美しさを感じ取ることができている。	絵や彫刻など 〔描く活動〕 『身近な風景を描く』	・身近な風景をよく見たとて特徴をとらえ、主題を生み出し、工夫し表現する。 ・作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。 ・水彩画の基本的な技法について学び、作品制作に活かす。
		(知及技) ●形や色彩材料などの特徴について理解することができる。中学部2段階A共通事項ア(ア) (思判表力) ●季節感や季節の風物などから表したいことを考えて構想することができる。中学部2段階Aア(ア) (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組む、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。中学部2段階ウ	(知・技) ○形や色などが感情にもたらす効果や造形的な特徴をもとに季節感のイメージをとらえることができるか (思・判・表) ○季節感や季節の風物をもとに構想をすることができているか。 (主学) ○創造活動の喜びを味わい、主体的に季節感をはが作品にどのように取り入れられているかを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	デザインや工芸など 〔描く・つくる活動〕 『季節感のある暮らしを楽しむ』	・日本人が昔から楽しんできた、衣食住の中にある季節を感じるデザインや工芸品について鑑賞する。 ・ガラスの内側あから彩色する江戸風鈴の技法について知る。 ・暑い夏に涼しさを感じられるような風鈴デザインを考え、アクリル絵の具で風鈴に描く。
		(知及技) ●表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かしたり組み合わせたりして見通しをもって表すことができる。中学部2段階Aア(イ) (思判表力) ●造形的な良さや面白さ、表したいことや想像したことについて表現の発想を練ることができる。中学部2段階A(1)イ(ア) (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組む、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。中学部2段階ウ	(知・技) ○文様の形や色、構成などが見る人に与える効果について気付き、デザインを考えようとしている。 (思・判・表) ○地域の特産物や魅力から感じ取ったことや考えたことをもとに文様をあらわそうとしている。 (主学) ○地域の土産物のパッケージやデザインの意図や工夫、美しさについて主体的に見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	デザインや工芸など 〔つくる活動・鑑賞〕 『地域の魅力をデザインにしよう』	・タブレット端末などを利用し、身近な地域の自然や歴史、産業などを調べ、デザインの手掛かりにする。 ・身近な地域から見つけた形を手がかり連続したパターンを構想 ・ゴム版にパターンの一つを彫り、スタンプをつくる。 ・スタンプを使い、皿や一筆箋、布などへの模様の構成を考える。 ・完成した作品を実際に使ってみる。

2 学 期	27	(知及技) ●美術作品の表し方や特徴の違いなどを捉え、色や構図、色彩、作風などに着目して作品の特徴を捉えることができる。 (思判表力) ●美術作品の鑑賞を通して、作品の良さなどに気づき、自分の見方や感じ方を深めることができる。 中学部2段階Bア(ア) (学・人) ●主体的に作品を鑑賞する活動に取り組み、自分の見方や感じ方を深めることができる。中学部2段階ウ	(知・技) ○形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や作品の特徴などを基に、作者が作品に隠した思いなどをとらえようとしている。 (思・判・表) ○作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の意図や工夫について考えるなどして見方や感じ方を深めることができる。 (主学) ○作品の良さや美しさを感じたり表現の意図や工夫など自分の見方や感じ方を深める活動に主体的に取り組もうとしている。	鑑賞 〔考える・描く活動〕 『ゲルニカ・明日への願い』	・ピカソのゲルニカを鑑賞し、作者の表現の意図や作品に込めた思いを感じ取り、感じたことや考えたことを話し合う。 ・タブレット端末やワークシートなどを活用し、調べたことを書き込んだり、作品が書かれた背景や作所について調べる。 ・ゲルニカの主題とは真逆の私たちの望む世界はどんなものかを話し合い共同制作で絵画に表す。
		(知及技) ●材料や用具の扱いを身につけ、表したいことに合わせて材料や用具の特徴を生かしたり組み合わせたりして見通しをもって表すことができる。中学部2段階Aア(イ) (思判表力) ●創造したことや体験したことをもとに、版画の特性を活かして構成を練ることができる。中学部2段階A (学・人) ●主体的鑑賞の活動に取り組み、自分の見方や感じ方を深めることができる。中学部2段階ウ	(知・技) ○版画の特性や表現方法が分かり、見通しを持って表現しようとしている。 (思・判・表) ○自分が創造したことや体験したことから、意図に応じて工夫して表し構想を練っている。 (主学) ○参考作品や友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、友だちと話し合ったり、意見を発表するなど主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	絵や彫刻など 〔描く活動〕 『版で表す』	・版画の特性や工程を知る。 ・体験したことや想像したことをもとに主題を生み出し、版画ならではの表現を活かして表す。 ・参考作品や自分たちの作品を鑑賞し、作者の意図や工夫について話し合う。
3 学 期	18	(知及技) ●タブレットやアプリなどの使い方を身に付け、特性を生かして表現することができる。中学部2段階Aア(イ) (思判表力) ●映像表現の視覚的なおもしろさについて考え、想像したことなどをもとに発想や構想することができる。中学部2段階Aア(ア) (学・人) ●映像メディアの表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の意図や表現の工夫などの面白さを感じ取ることができる。中学部2段階Bア(ア)、ウ	(知・技) ○意図に応じてカメラやアプリの特性を生かすとともに、表現方法を工夫しようとしている。 (思・判・表) ○身近な素材を見つめ、感じ取ったことや考えたことをもとに、映像メディアの特性を生かして構想を練っている。 (主学) ○映像メディアの特質や表現効果などを感じ取り、主題を伝えるために撮影の工夫をするなど主体的に創造活動に取り組もうとしている。	表現・鑑賞：映像メディア表現 『コマ撮りアニメーションに挑戦！』	・人物や学校生活の情景を撮影することに関心をもち、身近な人の表情や動き、その人との関係性などから主題を生成する。 ・主題をもとに、視点や構図、光、ポーズなどの構想を練る。 ・カメラ等の用具の特性を生かして制作する。 ・完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。
		(知及技) ●身近なものを見つめ、感じ取った特徴をどのようにあらわしたいか考えて、材料や用具を工夫して描く。 中学部2段階Aア(2) (思判表力) ●自分の気持ちや想像したこと、材料などをもとに表したいことを構想することができる。中学部2段階Aア(ア) (学・人) ●主体的に美術の活動に取り組み、美術を愛好する心情を高め、心豊かな生活を営む態度を養うことができる。中学部2段階ウ	(知・技) ○形や色、構成や構図などの特徴などをもとに、見えないものを全体のイメージで捉えようとしている。 (思・判・表) ○見えないものをあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げようとしている。 (主学) ○美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく見えないものを形や色であらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	共同制作の魅力 〔描く活動〕 〔つくる活動〕 〔鑑賞〕 『気持ちをあらわす』	・共同制作について学校全体や学年、クラスで意見を出し合い主題を生み出す。 ・材料や用具の特性を生かし、よりよいものになるよう共同で意見を出し合いながら見通しをもって制作する。 ・協力してつくったことで生まれた作品の魅力について話し合い、共同制作の素晴らしさを味わう。
留意点 引継ぎ等		※授業計画及び教材における描く活動やつくる活動について、理解度や興味・関心等に合わせ柔軟に対応する。 ※郷土の世界遺産や伝統工芸品の造形的な面白や見方、感じ方等も年間を通し授業内容に取り入れる。 ※年間を通し、多様な作品を味わい、自他の作品に親しむことができるよう、振り返り、鑑賞会、校内展示等を適宜取り入れる。 ※博物館や美術館を活用し、美術作品に親しむ機会を設ける。			

令和7年度 中学部 2年(Ⅱ課程C) 美術科 年間指導計画					
単位数 ／配当時数		児童生徒		担当者	教科書／副教材
2/70		中学部2年			自作教材等
目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)形や色など造形的な視点に気づき、表したいことに合わせて材料や用具を使い表し方を工夫することができる。 (思判表力)身の回りの作品や材料などから自分の見方感じ方を広げたりすることができる。 (学・人)つくり出す喜びを味わうとともに、感性を育み、豊かな情操を培う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技)(思判表力) ●一年の制作活動内容を知ることができ、楽しく創作しようという態度を養う。(小学部1段階(1)ウ)	(知・技)(思・判・表)(主学) ○教科書やスライドなどを見たり、教師の話を聞いているか	オリエンテーション 『うつくしい！/美術の広がり』	・美術はどんな授業か、1年間の計画や内容を知る。
		(知及技) ●形や色などに気づき、材料や道具を使おうとする。(小学部1段階A表(1)ア) (思判表) ●材料や素材を見たり、表したいことを思いついたりできる。(小学校1段階A表イ) (学・人) ●素材や作品を見たり自ら触れようすることができる。 (小学校1段階B鑑ア(ア))	(知及技) ○教師と一緒に材料や道具を見たり触れようとしている。 (思・判・表) ○教師と一緒に好きな素材を選ぶ事ができる。 (主学) ○教師と一緒に作品を見たり触れたりすることができる。	表現・鑑賞: 色・感触遊び かみねんど・寒天あそび ・ちぎり絵など	・かみねんど、寒天、色紙、色セロファンなど様々な色や感触の素材に触れ、材料や道具に親しむ。
		(知及技) ●粘土に触れながら形作ることができる。(小学部1段階表:A表ア(イ)) (思判表力) ●材料などから表したいことを思いつく事ができる。 (小学校1段階イ(ア)) (学・人) ●参考作品の実物や映像、自分の作品を見ることができる。 (小学部1段階B鑑:(ア))	(知・技) ○教師と一緒に粘土に触り、作品作りができる。 (思・判・表) ○教師と一緒に何を作るか考えることができる。 (主学) ○教師と一緒に参考作品や自分の作品を興味を持って鑑賞することができる。	表現・鑑賞:工芸 『暮らしの中のやきもの』	・日本や沖縄のやきものを実物や映像で鑑賞する。 ・粘土の感触を楽しみながら形や色、技法などを工夫して制作する。 ・自分や友だちの完成作品を鑑賞し、良さを味わう。
2 学期	27	(知及技) ●表したいことを思いついたり、作品を見たりできるようにする。(小学校1段階A表ア) (思判表力) ●材料などから表したいことを思いつく事ができる。 (小学校1段階A表ア(ア)) (学・人) ●自分の作品を見ることで形や色について気付くことができる。 (小学校1段階 共通事項ア)	(知・技) ○教師と一緒に様々なポスターの表現方法について知ることができる。 (思・判・表) ○教師と一緒に使いたい材料や画材などを選んで制作することができる。 (主学) ○教師と一緒に自分や友だちの作品を興味を持って鑑賞することができる。	表現・鑑賞:デザイン 『メッセージを広く伝える』行事等のポスターをつくらう	・さまざまなポスター作品などを鑑賞する ・伝える主題をもとに、教師と一緒に作品形態や表現方法などを考える。 ・形や色、構成などを工夫して制作する。 ・自分や友だちの完成作品を鑑賞し、良さを味わう。

		(知及技) ●表したいことを思いついたり、作品を見たりできるようにする。(小学校1段階A表ア)	(知・技) ○教師と一緒に様々な版画の表現方法や技法について知ることができる。	表現:絵画・デザイン 『コラグラフ版画』	・参考作品などを映像で鑑賞する。 ・木の葉や紙、紐など様々な材料を選んで構成し判を作る。 ・自分たちの完成作品を鑑賞する。
		(思判表力) ●材料などから表したいことを思いつく事ができる。 (小学校1段階A表ア(ア))	(思・判・表) ○教師と一緒に使いたい材料を選んで構成することができる。		
		(学・人) ●自分の作品を見ることで形や色について気付くことができる。 (小学校1段階 共通事項ア)	(主学) ○教師と一緒に自分や友だちの作品に興味を持って鑑賞することができる。		
3 学 期	18	(知及技) ●それぞれの作品の表現の違いに気づくことができる。 (小学部2段階ア)	(知・技) ○教師と一緒にコマ撮りアニメーションについて知ることができる。	鑑賞: 映像メディア表現 『コマ撮りアニメーション』	・他のグループの友だちが作った完成作品を鑑賞する。
		(思判表力) ●作品などの楽しさや面白さを感じ取ることができる。 (小学部2段階 A表現イ) (学・人) ●映像作品の面白さを感じ取り自分なりの見方や感じ方を広げる事ができる。 (小学部2段階 B鑑:ア(ア))	(思・判・表) ○教師と一緒に作品鑑賞を行い、表情や仕草などの反応が見られる。		
		(知及技) ●材料や素材を見たり、表したいことを思いついたりできる。(小学校1段階A表イ)	(知・技) ○教師と一緒に形や色、構成や構図、材料などから表すことを思いつく事ができる。	表現・鑑賞: 絵画・デザイン 『共同制作の魅力』	・過去の作品などを映像で鑑賞する。 ・自分の分担の部分を制作する。 ・友だちの作品と自分の作品を合わせて完成させ、飾る。 ・自分たちの完成作品を鑑賞する。
	(思判表力) ●材料などから表したいことを思いつく事ができる。 (小学校1段階A表ア(ア))	(思・判・表) ○教師と一緒に作品のよさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を広げようとしている。			
		(学・人) ●身近なものを見つめ、感じ取った特徴をどのようにあらわしたいか考えて、材料や用具を工夫して描く。	(主学) ○美術の創造活動の喜びを積極的に感じ、楽しく表現の学習活動に取り組もうとしている。		
留意点 引継ぎ等		○身近なものを触る際に、感染症対策に配慮する。 ○生徒の健康状態に応じて、適宜休憩やリラックスを取り入れる。 ○授業計画及び教材をにおける描く活動やつくる活動について、理解度や興味・関心等に合わせ柔軟に対応する。 ○郷土の世界遺産や伝統工芸品の造形的な面白さや見方、感じ方等も年間を通し授業内容に取り入れる。 ○年間を通し、多様な作品を味わい、自他の作品に親しむことができるよう、振り返り、鑑賞会、校内展示等を適宜取り入れる。			

令和 7 年度 中学部 2・3年（Ⅱ課程A） 保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3/105	中学部 2・3年		新しい保健体育(東京書籍)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 各種の運動の特性に応じた技能等及び自分の生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 各種の運動や健康・安全についての自分の課題を見付け、その解決に向けて自ら思考し判断するとともに、他者に伝える力を身につける。 (学・人) 生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を身につける。				
------	---	--	--	--	--

学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学 期	37	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさに触れるとともに、その行い方が分かり、友達と関わったり、動きを持続する能力などを高めたりすることができる。(中1段階ア) (思判表力) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動に進んで取り組み、きまりを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) ・ 体づくり運動の意義には、心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わう意義があることを言ったり書き出したりにしている。 (思・判・表) 体ほぐしの運動で「心と体の関係や心身の状態に気付く」、「仲間と積極的に関わり合う」ことを踏まえてねらいに応じた運動を選んでいる。 (主学) 体づくり運動に積極的に取り組もうとしている。	体づくり運動	<例示>体ほぐしの運動 ・ のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりする。 <例示>体の動きを高める運動 ・ 体の各部位をゆっくり伸展し、そのままの状態で約 10 秒間維持する。 ・ 人と組んだり、用具を利用したりしてバランスを保持する。 ・ 二人組で上体を起こしたり、脚を上げたり、背負って移動したりする。 ・ 走や縄跳びなどを、一定の時間や回数、又は、自己で決めた時間や回数を持続して行うこと。
		(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階ア) (思判表力) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) ・ 自分の得意な投げ方でねらった方向にボールを投げている・ サービスでは、ボールに変化をつけて打っている。 (思・判・表) 課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 (主学) 作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。	球技	○ターゲット型 ・ ターゲットに向かって力をコントロールしながら、ボールを投げるができる。 ・ 仲間と協力しながらゲームを進行すること。 ○ネット型 ・ サービスでは、ボールに変化をつけて打つこと。 ・ ボールを相手側のコートへの守備のない空間に緩急や高低などの変化をつけて打ち返すこと。 ・ ボールをコントロールして、ネットより高い位置から相手側のコートに打ち込むこと。
		(知及技) 初歩的な泳ぎの楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階ア) (思判表力) 初歩的な泳ぎについての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 初歩的な泳ぎに進んで取り組み、きまりなどを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) ・ 水泳は、それぞれの種目で主として高まる体力要素が異なることについて、学習した具体例を挙げている。 (思・判・表) 体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や競争を行う方法を見付け、仲間に伝えている。 (主学) 水の安全に関する事故防止の心得を遵守するなど、健康・安全に留意しようとしている。	水泳	○呼吸をしながらの泳ぎ ・ 補助具を使って浮き、呼吸をしながら手や足を動かして泳ぐこと。 ・ 補助具を使いながら頭の上方に腕を伸ばした姿勢で、バタ足泳ぎやかえる足泳ぎなど、手や足をバランス良く動かし、呼吸をしながら進むこと ・ クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。 ・ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。
		(知及技) 健康な生活と疾病や傷害の予防について知ることができる。 (思判表力) 健康な生活と疾病や傷害の予防について、課題を発見し、その解決に向けて考えているとともに、それらを表現することができる。 (学・人) 健康な生活と疾病や傷害の予防についての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) 健康は、主体と環境の関わりの中で成り立っていることを理解している。 (思・判・表) 自分の生活を振り返り、よい点や改善すべき点を考えたり見つけたりしている。 (主学) 自分の健康や安全な生活に関心を持ち、健康安全について考えようとしている。	保健分野（健康な生活と疾病の予防①、傷害の防止）	1 健康の成り立ち 2 運動と健康 3 食生活と健康 4 休養・睡眠と健康 5 調和のとれた生活 6 傷害の防止（傷害、交通事故の防止）

2 学 期	41	(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階ア) (思判表力) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) ・球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があることについて、言ったり書き出したりしている。・防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶことができる。(思・判・表) 選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。(主学) フェアなプレイを大切にしようとしている。	球技	○ゴール型 ・ 防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・ 味方が作り出した空間にパスを送ること。 ・ 守備者とボールの間に自分の体を入れて、味方と相手の動きを見ながらボールをキープすること。
		(知及技) 武道の楽しさや喜びに触れ、伝統的な考え方やその行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付けることができる。(中1段階ア) (思判表力) 武道についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 武道に進んで取り組み、友達の動きを認め協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) 武道の特徴をとらえて基本的な動きを身につけている。(思・判・表) 武道の学習成果を踏まえて、自己に適した簡単な技能を見付けている。(主学) 一人一人の違いに応じた動きや役割を大切にしようとしている。	武道	○空手 ・ 突き、蹴り等の基本的な動き。 ・ 上段受け、中段受け、下段受け等の動き。 ・ 普及型Ⅰ、Ⅱ
		(知及技) 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、仲間と連携した動きでゲームを展開することができる。(思判表力) 攻防などの自己の課題を発見し、考えたことを他者に伝えることができる。(学・人) 球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、作戦などについての話合いに参加しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを認めようとするができる。	(知・技) 球技には、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し、勝敗を競う楽しさや喜びを味わえる特性があることについて、言ったり書き出したりしている。(思・判・表) 提示された動きのポイントやつまずきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。(主学) 練習の補助をしたり仲間に助言したりして、仲間の学習を援助しようとしている。	球技	○バスケットボール、サッカーを基にしたゲーム ・ ボールを持ったときにゴールに体を向けること。 ・ ボール保持者と自分の間に守る者がいないように移動すること。 ・ コート内で攻守入り交じって、味方にパスをする、シュートをする、ドリブルをすること。
		(知及技) 心身の機能の発達と心の健康について理解しているとともに、ストレスへの対処についての技能を身に付ける。(思判表力) 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現することができる。(学・人) 心身の機能の発達と心の健康についての学習に積極的に取り組もうとすることができる。	(知・技) 思春期は、身長や体重が急速に発育する時期(発育急進期)に当たることを理解している。(思・判・表) 自分自身の性や心の変化を見つめるとともに、他者との望ましい関係について考えている。(主学) 望ましい発育・発達のためにどんな生活を送ったらよいかを考え、生活の実践への意欲を高めようとしている。	保健分野(心身の機能の発達)	1 体の発育・発達 体の各器官はどのように発育・発達するか理解する。 2 呼吸器・循環器の発達 呼吸器・循環器はどのように発達するか理解する。 3 生殖機能の成熟 思春期の体の変化や月経、射精、妊娠は、どんな仕組みで起こるか理解する。 4 性はどう向き合うか 性情報への対処について考える。
3 学 期	27	(知及技) 球技の楽しさや喜びに触れ、その行い方が分かり、基本的な動きや技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。(中1段階ア) (思判表力) 球技についての自分の課題を見付け、その解決のための活動を考えたり、工夫したりしたことを他者に伝えることができる。(中1段階イ) (学・人) 球技に進んで取り組み、きまりや簡単なルールを守り、友達と協力したり、場や用具の安全に留意したりし、最後まで楽しく運動をすることができる。(中1段階ウ)	(知・技) 学校で行う球技は近代になって開発され、今日では、オリンピック・パラリンピック競技大会においても主要な競技として行われていることについて、言ったり書き出したりしている。(思・判・表) 提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいく。(主学) マナーを守ったり相手の健闘を認めたりして、フェアなプレイを守ろうとしている。	球技	○バドミントンや卓球を基にしたゲーム ・ 相手コートから飛んできたシャトルやボールを、ラケットを使用して打つこと。 ・ ボールの方向に体を向けたり、ボールの落下点やボールを操作しやすい位置に移動したりすること。
		(知及技) 心身の機能の発達と心の健康について知るとともに、ストレスへの対処についての技能を身に付けることができる。(思判表力) 心身の機能の発達と心の健康について、課題を発見し、その解決に向けて思考し判断することができる。(学・人) 心身の機能の発達と心の健康についての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) 心の働きには知的機能や情意機能があり、様々な経験や学習によって発達することを理解している。(思・判・表) 人とのコミュニケーションについて、実習を通して考えているとともに、それらを表現している。(主学) 欲求不満やストレスへの対処について、実生活に結び付けて考え、実践への意欲を持っている。	保健分野(心の健康)	5 心の発達(1) 知的機能と情意機能の発達 心と脳の関係、知的機能・情意機能の発達の仕方について理解する 6 心の発達(2) 社会性の発達 人とのコミュニケーションについて、実習を通して考える。 7 自己形成 どのように自己形成がなされるかについて理解する。 8 欲求不満やストレスへの対処 リラクゼーションの方法を実習を通して身に付ける。実習

		(知及技) 運動やスポーツが多様であることについて知ることができる。 (思判表力) 運動やスポーツが多様であることについて、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えることができる。 (学・人) 運動やスポーツが多様であることについての学習に積極的に取り組むことができる。	(知・技) スポーツには「行うこと」「見ること」「支えること」「知ること」といったさまざまな関わり方があることを知るとともに、それぞれの関わり方の特徴や楽しさを理解している。 (思・判・表) スポーツの必要性や楽しさについて、自分自身の生活を振り返りながら考えているとともに、それらを表現している。 (主学) スポーツの多様な楽しみ方に関心を持ち、意欲的に取り組もうとしている。	体育理論 (運動やスポーツの多様性)	1 スポーツの始まりと発展 スポーツの始まりや発展について理解する。 2 スポーツへの多様な関わり方 スポーツへのさまざまな関わり方について理解する。 3 スポーツの多様な楽しみ方 具体的な場面を想定してスポーツの多様な楽しみ方について考える。
留意点 引継ぎ等	・ 体づくり運動は年間を通して行う。				

令和 7 年度 中学部2年（Ⅱ課程C） 保健体育科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	中学部2年		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）教師と一緒に遊びや基本的な運動を行うとともに、体調を整えて活動に参加できるようにする。 （小1段階） （思判表力）仲間や教師と遊びや基本的な運動を行い、体を動かす心地よさを感じ、その楽しさを伝える力を養う。 （小1段階） （学・人）体調を整えながら遊びや基本的な運動に親しみ、仲間や教師と活動する楽しさを体感する。（小1段階）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	（知及技） 教師と一緒に、手足を動かしたり、歩いたりして楽しく体を動かすことができる。 （思判表力） 手足を動かしたり、歩いたりして体を動かす楽しさや心地よさを表現することができる。 （学・人） 簡単な合図や指示に従って、体づくり運動遊びをすることができる。	（知・技） 心と体をほぐしながら体を動かす楽しさや心地よさを感じている。 （思・判・表） 体を動かす楽しさや心地よさを表現している。 （主学）・簡単な合図に合わせて体を動かそうとしている。 【評価資料】 ・行動の記録等	体づくり運動	「ラジオ体操」 「リトミック走」 ・言葉をかけながらのふれ合い体操。 ・笛や太鼓による簡単な合図や指示、曲による始まりや終わり、早く、ゆっくり、ジグザグ、バック等のリトミック走。
		（知及技） 教師と一緒にボールを使って楽しく体を動かすことができる。 （思判表力） ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 （学・人） 簡単な合図や指示に従ってボール遊びをすることができる。	（知・技） ボールを握ったり放したりして楽しく体を動かしている。 （思・判・表） ボールを使って簡単なゲームに参加し、楽しさを表現することができる。 （主学）・簡単な合図に合わせて体を動かそうとしている。 【評価資料】 ・行動の記録等	球技	ターゲット型 「ボッチャ」 ・ボールを握る、放す、転がす、渡す、投げるなどの動作をする。 ・仲間との活動を通して、ゲームの雰囲気を感じる。
		（知及技） 教師と一緒に水の特性を生かした簡単な水遊びをすることができる。 （思判表力） 水の中で体を動かす楽しさや心地よさを表現することができる。 （学・人） 簡単な合図や指示に従って水遊びをしようとする事ができる。	（知・技） 水中で手を動かしたり足を動かしたりして、楽しく水遊びをしている。 （思・判・表） 水中で力を抜いて浮力を感じながら体を動かす楽しさを表現することができる。 （主学） 簡単な指示に従って水遊びをしようとしている。 【評価資料】 ・行動の記録等	水泳	③「水遊び」 ・水かけ、顔つけ、水中歩行等水に慣れ親しみ、身体を自由に動かす。 ・浮力を感じて力を抜き、水流を感じながら手足を自発的に動かす。
2 学期	27	（知及技） 教師と一緒にボールを使って楽しく体を動かすことができる。 （思判表力） ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 （学・人） 簡単な合図や指示に従ってボール遊びをすることができる。	（知・技）・球技では、各型の各種目の局面ごとに技術や戦術、作戦の名称があることについて、言ったり書き出したりしている。・防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶことができる。 （思・判・表）選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 （主学）フェアなプレイを大切にしようとしている。 【評価資料】 ・行動の記録等	球技	①「ミニボウリング」 ・ボールを握る、放す、転がす、投げるなどの動作をしてピンを倒す。 ・仲間との活動を通して、ゲームの雰囲気を感じる。

		(知及技) 教師と一緒に音楽の流れている場所で楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) 音楽の流れている場所で体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図や指示に従って表現遊びをしようとすることができる。	(知・技) 音楽を聞きながら楽しく体を動かしている、 (思・判・表) 音楽に合わせて体を動かす楽しさや心地よさを表現している。 (主学) 簡単な合図に合わせて体を動かして、楽しさを伝えようとしている。	ダンス	②「エイサー」 ・リズムに合わせてパーランクーを叩く、手遊び、指遊び、足遊び、体遊び等をする。 ・曲に合わせて教師と一緒に簡単な隊形移動をする。 「車いすダンス」 ・仲間や教師と向かい合い、音楽に合わせてふれ合ったり、ゆっくり動いたりする。 ・曲に合わせて隊形移動をしたり、揺れたりする。
		(知及技) 教師と一緒にボールを使って楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図や指示に従ってボール遊びをすることができる。	(知・技) ボールを握ったり放したりして楽しく体を動かしている。 (思・判・表) ボールを使って簡単なゲームに参加し、楽しさを表現することができる。 (主学)・簡単な合図に合わせて体を動かそうとしている。 【評価資料】 ・行動の記録等	球技	風船バレー ・風船を見たり、触れたりしてゲームに参加する。 ・仲間を意識しながらゲームに参加する。
3 学期	18	(知及技) 教師と一緒にボールを使って楽しく体を動かすことができる。 (思判表力) ボールを使って体を動かすことの楽しさや心地よさを表現することができる。 (学・人) 簡単な合図や指示に従ってボール遊びをすることができる。	(知・技) ボールを握ったり放したりして楽しく体を動かしている。 (思・判・表) ボールを使って簡単なゲームに参加し、楽しさを表現することができる。 (主学)・簡単な合図に合わせて体を動かそうとしている。 【評価資料】 ・行動の記録等	球技	①「ティーベースボール」 ・ボールを握る、放す、転がす動作でゲームに参加する。 ・仲間との活動を通して、ゲームの雰囲気を感じる。
留意点 引継ぎ等		・体づくり運動は年間を通して行う。			

令和7年度 中学部2・3年（Ⅱ課程Aグループ）職業科年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4/140	中学部2・3年		職業・家庭 ☆☆☆☆

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技） ・生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係る基礎的な知識や技能を身につける。 （思判表力） ・将来の家庭生活や職業生活に必要な時柄を見いだし課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現する力を身につける。 （学・人） ・よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身につける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名 （関連教科）	単元・題材の活動内容
1学期 ～ 3学期	140	・季節の野菜の栽培と生活に役立つものづくりを理解する。（学・人） ・働くことの大切さを知ることができコミュニケーションをとることができる。（知及技） ・作業工程を理解し安全にもものづくりをおこなうことができる。（知及技） ・生産物の販売と情報機器の活用することができる。（思判表力） ・仲間と協力して実習をおこなうことができる。（学・人）	・働くために必要な力について知ろうとしている。（主学） ・正しい身なりで道具を安全に使用し、指示された作業に取り組もうとしている。（技・知） ・作業内容や手順（作業場の準備、作業工程、片付け、清掃）を理解し取り組もうとしている。（知・技） ・情報機器基本的な使い方を理解しようとしている。（思・判・表）	・農作業（栽培） ・木工作業（木材加工） ・野菜の販売学習（情報）	・作業学習の約束を確認する。（挨拶、報連相、協力、清掃、安全） ・農作業：畑作り（土の中耕作業・元肥） ・オクラの定植、灌水、追肥、誘引、除草、収穫、作業場の清掃・片付け・道具の管理ができる。 ・花壇への花の定植。（松葉ボタン・トレニア・向日葵、メランポジウム） ・木工作業：技術室のルールを確認。（工作機械、工作工具の取り扱い方） ・一連の作業工程を理解する。（寸法取り・部品加工・塗装） ・ラックの作成。（共通課題） ・情報機器の計算アプリを使用し、金銭処理の方法を経験する。
		・季節の野菜の栽培と生活に役立つものづくりを理解する。（学・人） ・働くことの大切さを知ることができコミュニケーションをとることができる。（技及知） ・作業工程を理解し安全にもものづくりをおこなうことができる。（知及技） ・仲間と協力して実習をおこなうことができる。（学・人）	・働くために必要な力について知ろうとしている。（主学） ・正しい身なりで道具を安全に使用し、指示された作業に取り組もうとしている。（知・技） ・作業内容や手順（作業場の準備、作業工程、片付け、清掃）を理解し取り組もうとしている。（知・技）	・農作業（栽培） ・木工作業（木材加工）	・作業学習の約束を確認する。（挨拶、報連相、協力、清掃、安全） ・農作業：畑作り（土の中耕作業・元肥） 玉葱・馬鈴薯・人参の播種、定植、灌水、追肥、除草、作業場の清掃・片付け・道具の管理ができる。 ・プランターへの花の定植。（マリーゴールド・サルビア・ペチュニア・ヘゴニア・ヒオラ） ・管理作業。（追肥、摘花、花殻摘み、灌水） ・木工作業：技術室のルールを確認。（工作機械、工作工具の取り扱い方） ・一連の作業工程を経験、理解する。（寸法取り・部品加工） ・個人作品の作成。（個人で製作したい作品）
		・季節の野菜の栽培と生活に役立つものづくりを理解する。（学・人） ・働くことの大切さを知ることができコミュニケーションをとることができる。（技及知） ・作業工程を理解し安全にもものづくりをおこなうことができる。（知及技） ・生産物の販売と情報機器の活用することができる。（思判表力） ・仲間と協力して実習をおこなうことができる。（学・人）	・働くために必要な力について知ろうとしている。（主学） ・正しい身なりで道具を安全に使用し、指示された作業に取り組もうとしている。（知・技） ・作業内容や手順（作業場の準備、作業工程、片付け、清掃）を理解し取り組もうとしている。（知・技） ・情報機器基本的な使い方を理解しようとしている。（思・判・表）	・農作業（栽培） ・木工作業（木材加工） ・野菜の販売学習（情報）	・作業学習の約束を確認する。（挨拶、報連相、協力、清掃、安全） ・農作業：玉葱・馬鈴薯・人参の収穫。 ・作業場の清掃・片付け・道具の管理ができる。 ・プランターの花への管理作業。（追肥、摘花、花殻摘み、灌水） ・次年度へ向けての畑の整備をする。 ・木工作業：技術室のルールを確認。（工作機械、工作工具の取り扱い方） ・一連の作業工程を経験、理解する。（塗装） ・個人作品の作成。（個人で製作したい作品） ・情報機器の計算アプリを使用し、金銭処理の方法を定着することができる。
年間を通しての指		・分担区清掃（学・人）	・協力して分担区の清掃作業に取り組む。（主学）	・職業	・自分たちの活動範囲である場所の清掃活動を通して身の回りがきれいになる喜びを享受する。
留意点 引継ぎ等		※生徒の実態に応じて農場での栽培をプランター栽培に切り替える時もある。（生徒の実態を考慮する） ※生徒の体調にあわせて、実習を行い適時休憩を入れる。 ※機械・工具等を使用する際の生徒の安全管理の徹底。 ※評価資料・・・活動の記録、作品など。 ※今年度は、ウリ科の植物の栽培は行わない。			

令和7年度 中学部2年（Ⅱ課程Cグループ）職業科年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部2年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係る基礎的な知識や技能を身につける。 (思判表力) ・将来の家庭生活や職業生活に必要な時柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現する力を養う。 (学・人) ・よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名 (関連教科)	単元・題材の活動内容
1学期 ～ 3学期	35	・季節の野菜の栽培と生活に役立つものづくりを理解する。(学・人) ・働くことの大切さを知ることができコミュニケーションをとることができる。(知及技) ・ものづくり工程を理解し安全にものづくりをおこなうことができる。(知及技) ・生産物の販売と情報機器の活用することができる。(思判表力)	・働くために必要な力について知ろうとしている。(主学) 道具を安全に使用し、指示された作業に取り組もうとしている。(技・知) ・作業内容や手順を理解し取り組もうとしている。(知・技) ・情報機器基本的な使い方を理解しようとしている。(思・判・表)	・栽培 ・木工作业(木材加工) ・野菜の販売学習(情報)	・作業学習の約束を確認する。(挨拶、安全) ・農作業：夏野菜の植え付け。 管理作業(追肥・灌水・収穫) ・木工作业：ペン立てのやすりがけ。 ・情報機器の計算アプリを使用し、金銭処理の方法を経験する。
		・季節の野菜の栽培と生活に役立つものづくりを理解する。(学・人) ・働くことの大切さを知ることができコミュニケーションをとることができる。(知及技) ・ものづくり工程を理解し安全にものづくりをおこなうことができる。(知及技) ・生産物の販売と情報機器の活用することができる。(思判表力)	・働くために必要な力について知ろうとしている。(主学) 道具を安全に使用し、指示された作業に取り組もうとしている。(技・知) ・作業内容や手順を理解し取り組もうとしている。(知・技) ・情報機器基本的な使い方を理解しようとしている。(思・判・表)	・栽培 ・木工作业(木材加工)	・作業学習の約束を確認する。(挨拶、安全) ・農作業：根野菜の植え付け。 管理作業(追肥・灌水・収穫) ・木工作业：組木の塗装作業。 下地塗り・ニス塗り ・情報機器の計算アプリを使用し、金銭処理の方法を経験する。
		・季節の草花の栽培と生活に役立つものづくりを理解する。(学・人) ・働くことの大切さを知ることができコミュニケーションをとることができる。(知及技) ・ものづくり工程を理解し安全にものづくりをおこなうことができる。(知及技)	・働くために必要な力について知ろうとしている。(主学) 道具を安全に使用し、指示された作業に取り組もうとしている。(技・知) ・作業内容や手順を理解し取り組もうとしている。(知・技)	・栽培	・作業学習の約束を確認する。(挨拶、安全) ・農作業：草花の植え付け。 管理作業(摘花・追肥・灌水)
年間を通しての指導		・分担区清掃 (学・人)	・協力して分担区の清掃作業に取り組む。(主学)	・職業	・自分たちの活動範囲である場所の清掃活動を通して身の回りがきれいになる喜びを享受する。
留意点 引継ぎ等	※生徒の実態に応じて農場での栽培をプランター栽培に切り替える時もある。(生徒の実態を考慮する) ※生徒の体調にあわせて、実習を行い適時休憩を入れる。(無理はさせない) ※工具等を使用する際の生徒の安全管理の徹底。 ※評価資料・・・活動の記録、作品など。 ※令和7年度はウリ科の植物の栽培は行わない。				

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2／70	中学部2・3年		職業・家庭 たのしい家庭科 わたしのくらしに生かす（開隆堂）

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)生活や職業に対する関心を高め、将来の家庭生活や職業生活に係わる基礎的な知識や技能を身につけるようにする。 (思判表力)将来の家庭生活や職業生活に必要な事柄を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、自分の考えを表現するなどして、課題を解決する力を身につける。 (学・人)よりよい家庭生活や将来の職業生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を身につける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	24	(知及技)自分の成長を振り返りながら、家庭生活の大切さを知ることができる。 (思判表力)家庭にどのような仕事があるかわかり、自分にできることを考えて行うことができる。 (学・人)家庭における役割や地域との関わりについて関心を持ち、知ることができる。 (知及技)職業・家庭の学習内容を知る。	(知・技)自分の成長を振り返り、将来の生活について考えようとしている。 (思・判・表)家にはどのような仕事があるか知り、自分にできることを考え実践しようとしている。 (主学)家庭生活、衣食住に興味を持っている。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度、ワークシート等	・オリエンテーション 「職業・家庭で何を学習するの？」	・自分の成長を振り返り、働いて生活する大人になるために、自分が頑張りたいことをワークシートにまとめる。 ・働く意義や働く上で必要な力について知り、家庭内の役割について考えワークシートにまとめる。 ・パワーポイントを用いながら教科の目標や、学習内容を確認する。 ・3年間で身に付けたい目標をたてる。
		(知及技)場面に応じた日常着の着方や手入れの仕方などについて知り、実践することができる。 (思判表力)日常着の着方や手入れの仕方に気づき、工夫することができる。 (知及技)衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解することができる。	(知・技)場面に応じた衣服の選択や手入れ仕方、簡単な裁縫技能などを身に付けようとしている。 (思・判・表)衣服の着方や手入れの方法をTP0に応じて工夫することができる。 (知・技)職業や学校など職種ごとに制服が違うことを理解する。 (知・技)行事や冠婚葬祭、場に応じた服装があることを理解している。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度、完成作品、ワークシート等	・衣服をきれいにしよう ・TP0に応じた着方 ・身だしなみを整えよう	・洗濯機の使い方 ・手洗いの仕方 ・洗濯物の干し方 ・衣服に応じたたたみ方 ・アイロンのかけ方 ・「いつ」「どこで」「何をするか」を確認しながら適した服装を考える。 ・おしゃれの基本を確かめる。 ・自分の好きなおしゃれをして友達と見せ合う。 ・洗顔、肌の整え方、髪の毛のセットの方法、爪の切り方を実践する。
2学期	30	(知及技)簡単な調理の仕方や手順について知り、できるようにする。 (思判表力)適切な量の食事を楽しくとることの大切さに気づき、それらを他者に伝えること。 (学・人)健康な生活と食事の役割について知ることができる。	(知・技)簡単な調理の方法を知り、手順に沿って日常食を作ろうとしている。 (思・判・表)適切な量の食事を楽しくとることの大切さに気づくことができる。 (主学)自分自身の食生活を振り返り、日頃の食生活が健康な体作りに大切な役割を果たしていることを知る。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度、完成作品、ワークシート等	・食生活（健康な体作りの基本、食事の役割） 調理の基礎、簡単な調理	・自分自身の食生活の振り返りや食事の役割について、ワークシートにまとめる。 ・調理室や調理器具の使い方について知る。
3学期	16	(思判表力)住まいの主な働きや、整理・整頓や清掃の仕方について知り、実践することができる。 (思判表判)季節の変化に合わせた住まい方、整理・整頓や清掃の仕方に気づき、工夫することができる。	(思・判・表)整理・整頓や清掃を実践し、身の回りを清潔に保つ意識を持っている。 (主学)級友と協力して清掃ができる。 (思・判・表)季節の変化に合わせて住まい方の工夫ができる。 【評価資料】 行動観察、学習へ向かう態度、完成作品、ワークシート等	・住生活（住まいの整理・整頓、清掃）	・身の回りの整理整頓や台拭き・掃除機やワイパーを使っでの清掃 ・視聴覚教材を見ながら季節ごとの住まいの整え方を知る
引継ぎ等		・2～3学年Ⅱ課程で学習を行うが、生徒の実態や理解度に合わせ、内容を柔軟に対応する。 年間を通して、手洗い等の衛生管理、清掃活動に取り組む。			

令和7年度 中学部 2・3年 II課程A 外国語科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	中学部 2・3年 II課程A		ドラえもんはじめての英語ドリル 基本の英語表現

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、身近な生活で見聞する外国語に興味や関心を持ち、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむことができる。 (思判表力) 身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。 (学・人) 外国語を通して、外国語やその背景にある文化の多様性を知り、相手に配慮しながらコミュニケーションを図ることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	25	(知及技) 簡単な表現の英語であいさつができる。 (思判表力) 簡単な表現の英語で自己紹介ができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) 簡単な表現の英語であいさつしている (思・判・表) 簡単な簡単な表現の英語で自己紹介している (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	挨拶・自己紹介・年齢・家族に関する英語 レッスン1-8	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・Hello. How are you? ・My name is～. ・I'm from～. ・I'm ～years old. ・How old are you?
		(知及技) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を言うことができる (思判表力) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を理解している (思・判・表) 自分の好きなことや将来のやりたい職業に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をしている (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	趣味・食べ物・スポーツ・職業・教科に関する英語 レッスン9-14	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・I like～. ・What is your hobby? ・I want to be～.
		(知及技) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現が英語で言うことができる (思判表力) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う、単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる。 (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う。	(知・技) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現を理解している (思・判・表) 日常会話の応答やお礼・お願い・許可・誘う表現を英語でしている (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	曜日、日付、天気、誕生日に関する英語 レッスン15-20	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・Thank you for ～.You are welcome. ・Sorry for～. ・Could you please～? ・May I～? ・Let's～.
2学期	27	(知及技) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する表現を言うことができる (思判表力) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をすることができる (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する表現を理解している (思・判・表) 時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をしている (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	時間・曜日・場所・体調・外見や特徴に関する英語 レッスン21-27	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・It's ten o'clock/Monday/April/sunny. ・I'm good/Tired. ・She is～/He is～.

2 学 期		(知及技) 日常生活に関連する表現を言うことができる (思判表力) 日常生活に関連する単語や表現を使って自分自身の表現することができる (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) 日常生活に関連する表現を理解している (思・判・表) 日常生活に関連する単語や表現を使って自分自身の表現をしている (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	日常生活に関連する単語や表現 レッスン28-33	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティーを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・What's for breakfast? ・Wash the dishes. ・Brush your teeth. ・Take shower.
3 学 期	18	(知及技) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を言うことができる (思判表力) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を使って自分自身の表現ができる (学・人) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとする態度を養う	(知・技) い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を理解している (思・判・表) 習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現を使って自分自身の表現をしている (主学) 外国語を通して、コミュニケーションを取ろうとしている	習い事・道案内・ファストフード店での注文などに関連する単語や表現 レッスン34-36	歌やゲーム、カード・ワークシートやアクティビティーを通して英単語の意味や英語の表現を学ぶ。 ・I have piano lesson today. ・Take a right at the next light. ・I'll have a cheese burger and a medium orange juice.
留意点 引継ぎ等		・年間を通して、ALTとの交流を図る。特に外国の文化を学ぶ際は、ALTを活用する。 ・カード等を用いて、口頭や文字以外での意思表示もできるようにする。			

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部 2年		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性

評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 外国語を用いた体験的な活動を通して、外国語の音声に慣れ親しむことができる。（小外国語活動） (思判表力)身近で簡単な事柄について、外国語に触れ、自分の気持ちを伝え合うことができる。（小外国語活動） (学・人)外国語を通して、外国の文化などに触れながら、進んでコミュニケーションを図ることができる。（小外国語活動）			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) ALTやJETが教室に来ることや英語で話していることを受け入れることができる。 (思判表力)授業に来たALTやJETを見たり顔を向けたりして注目することができる。 (学・人)リラックスして授業に参加できる。	(知・技) ALTやJETの話を緊張せずに聞くことができる。 (思・判・表)ALTやJETの方向に視線を向けたり動きを追うなどして注目している。 (主学)英語の響きを受け入れてリラックスしている。	「英語の音に触れてみよう」①	「ALTやJETのお話を聞こう」 ○ALTやJETの自己紹介やみんなへの質問などのやりとり
		(知及技) 英語の歌を聞いてリズムや音の響きを楽しむことができる。 (思判表力)好みの英語の歌や物語の内容について表情や体の動きで表現できる。 (学・人)英語の歌や物語を聞くことに期待したり好みの歌を見つけることができる。	(知・技) 英語を聞いたり動画に目を向けることができる。 (思・判・表)歌や物語の内容によって表情を変えたり手や足を動かすなどの反応がある。 (主学) 先生が歌や動画を準備している時に注目したり期待の表情を見せる。	「英語の歌や物語アニメを聴いてみよう」①	「英語の歌 Hello song、If you happy、Babe Shark ほか物語」 ○英語の歌、日本語でもおなじみのメロディーの歌、いろんなジャンルからの英語の歌や物語・アニメを聞く
		(知及技) 日常生活のことや学校行事など身近な事柄について注目して見聞きしようとする。 (思判表力)ALTやJETからの働きかけに対して表情や体の動きや声などで応じることができる。 (学・人)相手の方向を見たり近づいた時に期待する表情を見せる。	(知・技) 身近にある出来事や行事について聞いたり話し手に目を向けることができる。 (思・判・表)ALTやJETからの働きかけに対して表情や体の動きなどで応じることができる。 (主学)話し手の動きを目で追ったり近づいた時に表情を変える。	「英語で聞いて合図しよう」①	「身近なできごと・事柄」 ○学校行事や季節の行事や食べ物・物など身近な事物について聞く、指さしする、選ぶ
2 学期	14	(知及技) 日常生活のことや学校行事など身近な事柄について注目して見聞きしようとする。 (思判表力)ALTやJETからの働きかけに対して表情や体の動きや声などで応じることができる。 (学・人)相手の方向を見たり近づいた時に期待する表情を見せる。	(知・技) 身近にある出来事や行事について聞いたり話し手に目を向けることができる。 (思・判・表)ALTやJETからの働きかけに対して表情や体の動きなどで応じることができる。 (主学)話し手の動きを目で追ったり近づいた時に表情を変える。	「英語で聞いて合図しよう」②	「身近なできごと・事柄」 ○学校行事や季節の行事や食べ物・物など身近な事物について聞く、指さしする、選ぶ
		(知及技) 外国の文化や行事に関する本や動画に目を向けて話を聞くことができる。 (思判表力)外国の文化や行事について楽しいやこわいなど感じたことを表情や体の動きで伝えることができる。 (学・人)外国の文化や行事について学び楽しく参加しようとする。	(知・技) ハロウィンやクリスマスに関する絵本や動画に視線を向けたり話を聞くことができる。 (思・判・表)絵本や動画を見て表情を変えたり手や足を動かすなどの反応がある。 (主学)ハロウィンの仮装やクリスマスの装飾を友達や先生と楽しむことができる。	「外国の文化・行事にふれよう」	「ハロウィン」「クリスマス」 ○ハロウィンやクリスマスのはじまりのお話を聞いたり装飾などを楽しむ
		(知及技) ALTやJETが教室に来ることや英語で話していることを受け入れることができる。 (思判表力)授業に来たALTやJETを見たり顔を向けたりして注目することができる。 (学・人)リラックスして授業に参加できる。	(知・技) ALTやJETの話を緊張することなく聞くことができる。 (思・判・表)ALTやJETの方向に視線を向けたり動きを追うなどして注目している。 (主学)英語の響きを受け入れてリラックスしている。	「英語の音にふれよう」②	「ALTやJETのお話を聞こう」 ○ALTやJETの夏休みのできごとやみんなへの質問などのやりとり
3 学期	9	(知及技) 英語の歌を聞いてリズムや音の響きを楽しむことができる。 (思判表力)外国の文化や行事について表情や体の動きで表現できる。 (学・人)英語の歌を聞くことに期待したり好みの歌を見つけることができる。	(知・技) 英語を聞いたり動画に目を向けることができる。 (思・判・表)歌によって表情を変えたり手や足を動かすなどの反応がある。 (主学) 先生が歌や動画を準備している時に注目したり期待の表情を見せる。	「英語の歌や物語を聞こう」②	「英語の歌 Under the spreading chestnut tree ほか」 ○英語の歌や物語、日本語でもおなじみのメロディーの歌、いろんなジャンルからの英語の歌や物語を聞く
		(知及技) 日常生活のことや学校行事のことについて確認できる。 (思判表力)ALTからの質問に対して表情や体の動きや声などで応じることができる。 (学・人)相手の方向を見たり近づいた時に期待する表情を見せる。	(知・技) 身近にあるできごとや行事について聞いたり話し手に目を向けることができる。 (思・判・表)ALTからの働きかけに対して表情や体の動きなどで応じることができる。 (主学)話し手の動きを目で追ったり近づいた時に表情を変える。	「英語で聞いて合図しよう」③	「身近なできごと・事柄」 ○学校行事や季節の行事や食べ物・物など身近な事物について聞く、指さしする、選ぶ
留意点 引継ぎ等		・ 行事や各教科と関連づけて学習内容を設定する。（・ 校外学習・ 森川フェスティバル・ 修学旅行・ P T A活動など）			

令和7年度 中学部 2・3年（ⅡA課程） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部2・3年		友達関係（気持ちの伝え方） 旺文社

目標：（知・技）知識及び技能（思判表力）思考力、判断力、表現力等（学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能（思・判・表）思考・判断・表現（主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(中学部の目標) ・病弱等に基づく学習上又は生活上の困難を克服し、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図る。 ・法やさまりの意義を理解させ、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養う。 ・伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する心を育てる。 ・自他の生命を尊重し、国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。 ・経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる力を培う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
道徳教育は各教科・全領域・学校生活の中でその場（考えさせる）の機会をとらえて指導する	35	・学級の友達や教師に対する親しみの気持ちを深める。	場に応じた言葉使いを使用している。	・礼儀作法	・友達や教師に、場に応じた言葉使い挨拶をする。
		・平和の大切さ、命の尊さを知る。	平和の尊さ、戦争の恐ろしさを理解しようとしている。	・平和の尊さ	・平和学習（沖縄戦）を通して戦争の恐ろしさ、平和の尊さについての学習を行う。
		・自分の健康を見つめ直し、丈夫な心と体を作ろうとする。	体調が悪いときには我慢せずに連絡しようとしている。	・生命尊重 健康安全	・怪我をしたり、体調が悪くなったら我慢せずに、報告する大切さを学習する。
		・自分の持ち物、他の人の持ち物を区別することができる。	机の上、ロッカーなどの整理整頓し常に綺麗にするようにしている。	・整理整頓	・自分の持ち物が分かり、机の上、ロッカーなどを整理整頓し常に綺麗にする態度を身に付ける。
		・自分のことは自分でする態度を養う。	自分のことは、自分自身で使用としている。	・自律	・学校生活、日常生活の中で自分でできることは、進んで行う。
		・友達を労り、思いやりの心を育てる。	ゲームなどを通して、順番などのルールを理解しようとしている。	・寛容	・友達と仲良くするにはルールがあることを知る。 ・ゲームなどを通して、順番などのルールがあることを知る。
		・物事を最後までやり遂げる態度を養う。	物事を最後までやり抜き成功させようとしている。	・向上心	・各活動で、中途半端に終わらず、最後までやり抜くことや成功などの達成感を味わわせる。
		・身近な自然の事物に興味・関心を持ち自然に親しみを持つ。	草花を観察し自然の素晴らしさを味わおうとしている。	・自然	・草花を植えたり、灌水を行い自然の美しさを感じる。
		・お世話になっている人に対して感謝する気持ちを育む。	お世話になった人に対して感謝の気持ちを伝えようとしている。	・感謝の気持ち	・自分の両親をはじめ、自分に関わっている全ての人に対して感謝の気持ちを持つ。
		・自分でできることは進んで行い、困っている人がいたときには一緒に頑張って問題を解決する態度を養う。	みんなのために行動し与えられた仕事を遂行しようとしている。	・勤労役割	・給食当番、日直活動、清掃活動など自分の役割を果たし、更に級友を助ける行動を身に付ける。
		・いけないこと、悪いことを素直に認め、謝ろうとする心を育てる。	間違った事をしっかり反省し次の行動に生かそうとしている。	・素直な心	・クールダウンを行い、自分のやったことが悪いと認め謝罪する態度を身に付ける。
		・決まりや規則を守ることの大切さを理解させ、規則を守ろうとする態度を育てる。	よりよい学校生活を過ごせるように級友と一緒に行動しようとしている。	・規律	・学校・学級の決まりを守り、楽しい学校生活を送る。
		・みんなで使う物を大切にしようとする態度を育てる。	私物、みんなで使う道具を大切に使うようとしている。	・公共心	・自分で使った道具などは、きちんと片付ける。 ・みんなで使う物は乱暴な取り扱いをせず大切に使う。
		・金銭を大切に扱う態度を養う。	お金の計算を機械を使用して計算し、お金の大切さを理解しようとしている。	・金銭	・金銭の取り扱いが分かるようにする。
留意点 引継ぎ等	・学校行事、学部行事、学校美化などを通して体験的な活動を行う。 ・生徒の実態に応じて、適時休憩を入れながら活動する。 ・生徒の安全を最優先にする。 (評価) ・授業への参加や、活動ができたか、自分の自己評価を行う。 ※入権教育学習会実施予定。				

令和7年度 中学部 2年（ⅡC課程） 道徳科 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部2年		カラーモンスター

目標：(知・技)知識及び技能 (思・判・表)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(中学部の目標) ・病弱等に基づく学習上又は生活上の困難を克服し、強く生きようとする意欲を高め、明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図る。 ・法やさまりの意義を理解させ、主体的に社会の形成に参画しようとする態度を養う。 ・伝統と文化を尊重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する心を育てる。 ・自他の生命を尊重し、国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。 ・経験の拡充を図り、豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる力を培う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
学校生活の中でその場（考えさせる）の機会をとらえて指導する	35	・身近な大人の存在を知り親しみの気持ちを持つことができる。	新しい先生、いろいろな先生を知ろうとしている。	〔親切・思いやり〕 新しい先生、いろいろな先生を知ろう。	・新しい担任やいろいろな先生と一緒に触れあい遊びをする。
		・平和の大切さ、命の尊さを知る。	沖縄戦の恐ろしさを知ろうとしている。	〔生命の尊さ〕 戦争の恐ろしさについて知ろう。	・平和学習（沖縄戦）を通して戦争の恐ろしさ、平和の尊さについての学習を行う。
		・家族との関わりに心地よさや喜びを感じ安心感を持つことができる。	お母さん、お父さんへ感謝の気持ちを伝えようとしている。	〔家族愛・家庭生活の充実〕 お父さん、お母さんありがとう。	・母の日、父の日に向けて考え、家族への思いを伝える。
		・様々なものを見たり、聴いたり、触れたりして感動する気持ちを持つことができる。	季節の行事を体験しようとしている。	〔感動・畏敬の念〕 四季を体験しよう。	・季節の遊びや行事を体験する。 クリスマスツリーの飾り付け。 お正月遊び。
		・身近な自然の事物に興味・関心を持ち自然に親しみを持つ。	草花などを植えたり自然の美しさを感じようとしている。	〔生命の尊さ〕 自然との触れ合い季節の変化と生活。	・草花を植えたり、灌水を行い自然の美しさを感じる。
		・清潔を保とう。	自分ができる、清掃をおこない友達と一緒に行動しようとしている。	〔勤労・公共の精神〕 自分ができる範囲で身の回りを清掃してみよう。	・学部の友達と一緒に活動したり、簡単な役割を教師と一緒にこなったりする。
留意点 引継ぎ等		・学校行事、学部行事、学校美化などを通して体験的な活動を行う。 ・生徒の実態に応じて、適時休憩を入れながら活動する。 ・生徒の安全を最優先にする。 (評価) ・授業への参加や、活動ができたか、自分の自己評価を行う。 ※人権教育学習会実施予定。			

令和7年度 中学部2・3年（Ⅱ課程） 総合的な学習の時間 年間指導計画

単位数 ／配当時数	教科書／副教材等	担当者名
1/35	中学部2・3年	

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標		（知及技）探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できる。 （思判表力）実社会や実生活の中から問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現ができる。 （学・人）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	（知及技）身近な生活や他者との関わりの中から、自分の好きなことを見いだし、関心を広げたりすることができる。 （思判表力）自分の関心のあることや楽しさを感じることに、自分で考え、伝えることができる。 （学・人）自分の意思や目標をもって、自他のよさを生かしながら協働して課題解決に向けた探究活動に取り組むことができる。	（知・技）身近な生活や他者との関わりの中から、自分の好きなことを見いだし、関心を広げたりしている。 （思・判・表）自分の関心のあることや楽しさを感じることに、自分で考え、伝えている。 （主学）自分の意思や目標をもって、自他のよさを生かしながら協働して課題解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「自分や友達の好きなことや得意なことを知ろう」 「キャリアパスポートの取組み」	・自分のことや友達のことを知る ・わかったことを掲示したり、発表したりする ・個人目標の設定（年間・学期） ・1学期の振り返り
	2	（知及技）働くことについて意識を持ち、卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 （思判表力）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 （学・人）意思や目標をもって進路学習に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けることができる。	（知・技）卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 （思・判・表）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 （主学）意思や目標をもって進路学習に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「働くことについて」	・「働くってどういうことだろう？」 自分で調べたり、動画を見たりして学ぶ。
	2	（知及技）卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 （思判表力）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 （学・人）キャリア教育推進週間の活動に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けることができる。	（知・技）卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 （思・判・表）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 （主学）就業・生活体験に意欲をもって取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「キャリア教育推進週間」	・キャリア教育推進週間 ・事前事後学習
	2	（知及技）郷土の歴史を知り、平和な社会の大切さについて知ることができる。 （思判表力）平和な社会の形成者として、身近な生活の中で自分ができることを考え、他者に伝えることができる。 （学・人）教師の話や絵本、映像などに関心を向け、平和について自分なりの考えをもつことができ、異なる意見や他者の考えを尊重することができる。	（知・技）郷土の歴史を知り、平和な社会の大切さについて知ることができる。 （思・判・表）平和な社会の形成者として、身近な生活の中で自分ができることを考え、他者に伝えている。 （主学）教師の話や絵本、映像などに関心を向け、平和について自分なりの考えをもち、異なる意見や他者の考えを尊重している。	地域や学校の特色に応じた課題 「平和学習」	・絵本や映像から平和について学ぶ ・パネル展示見学 ・「平和について」話し合い、お互いの考えを知ろう
	2	（知及技）卒業後の進学、就職について考え、知識を得ることができる。 （思判表力）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 （学・人）進路学習に意欲をもって取り組むことができる。	（知・技）卒業後の進路、就職について必要な知識・技能を身に付けている。 （思・判・表）卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 （主学）意思や目標をもって進路学習に取り組もうとしている。	職業や自己の将来に関する課題 「進路学習」	・卒業後の進学先について調べる ・目標を持って取り組む
	2	（知及技）自分ができることや自分の課題（頑張りたいこと、伸ばしたいこと）について知ることができる。 （思判表力）現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現ができる。 （学・人）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	（知・技）自分ができることや自分の課題（頑張りたいこと、伸ばしたいこと）について知っている。 （思・判・表）現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現している。 （主学）探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「キャリアパスポートの取組み」	・2学期の目標設定 ・2学期の振り返り

2 学期	2	(知及技)自分の周り(地域や学校)で働く人の様子を知ることができ、働くことの意義を知ることができる。 (思判表力)自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を集め、整理して、まとめ・表現する力を身に付けることができる。相手の意見を聞いて自分の考えを伝えることができる。 (学・人)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技)自分の周り(地域や学校)で働く人の様子を知ることができ、働くことの意義を知っている。 (思・判・表)自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置づけ、多様な生き方に関する様々な情報を集め、整理して、まとめ・表現する力を身に付けている。相手の意見を聞いて自分の考えを伝えていく。 (主学)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	職業や自己の将来に関する課題 「働くことについて」 「地域や学校、自分の周りで働く人」	・地域や学校、自分の周りで働く人について調べる ・お互い調べたことについてまとめ、話し合う
	3	(知及技)郷土の文化や行事について知ることができる。 (思判表力)郷土の行事や文化について調べたことをまとめ、意見や考えたことを他者に伝えることができる。 (学・人)郷土の文化や行事についての学習に主体的・協働的に取り組むことができ、異なる意見や他者の考えを尊重することができる。	(知・技)郷土の文化や行事について知っている。 (思・判・表)郷土の行事や文化について調べたことをまとめ、考えたことを他者に伝えている。 (主学)郷土の文化や行事についての学習に主体的・協働的に取り組み、異なる意見や他者の考えを尊重している。	地域や学校の特色に応じた課題 「郷土の文化や行事」	・郷土の文化や行事について調べたり、体験したりする。
3 学期	2	(知及技)自分ができることや自分の課題(頑張りたいこと、伸ばしたいこと)について知ることができる。 (思判表力)現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現ができる。 (学・人)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、自身の活動を振り返り、次の活動に生かすことができる。	(知・技)自分ができることや自分の課題(頑張りたいこと、伸ばしたいこと)について知っている。 (思・判・表)現在の課題を発見し、見通しをもって自らが果たすべき立場や役割との関連を踏まえて目標達成に向けて自分の考えをまとめ・表現している。 (主学)探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、自身の活動を振り返り、次の活動に生かそうとしている。	生徒の興味・関心に応じた課題 「キャリアパスポートの取組み」	・3学期の目標を設定 ・1年間の振り返りと評価 ・次年度へ向けての目標設定
	4	(知及技)卒業後の進学、就職について考え、知識を得ることができる。 (思判表力)卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりすることができる。 (学・人)進路学習に意欲をもって取り組むことができる。	(知・技)卒業後の進路、就職について必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表)卒業後の社会生活に具体的なイメージをもち、課題を立てたり学んだことを表現したりしている。 (主学)意思や目標をもって進路学習に取り組もうとしている。	職業や自己の将来に関する課題 「進路学習」	・目標や課題を持って取り組み、高等部等への進学意識や勤労意識を高める。
1 5 3 学期	9	(知及技)働くことについて意識を持ち、卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けることができる。 (思判表力)自分の役割を考えることができる。 (学・人)意思や目標をもって活動に取り組み、最後まで責任を持ってやりきることができる。	(知・技)卒業後の社会生活に必要な知識・技能を身に付けている。 (思・判・表)自分の役割を考え取り組んでいる。 (主学)意思や目標をもって活動に取り組み、最後まで責任を持ってやりきろうとしている。	職業や自己の将来に関する課題 「働くことについて」 「清掃活動」	・教室や校内の清掃に取り組む
	3	(知及技)各教科で身に付けた知識及び技能を探究の中で繰り返し活用し、教科横断的に活用する活動を通して、実社会実生活における様々な場面で活用できる。 (思判表力)知識・技能を活用する中で、課題を解決するため、自ら問題を発見し、解決していくために必要な、情報収集能力・分析能力等を育成し、他者に表現できるようにする。 (学・人)学習に主体的・協働的に取り組み積極的に社会に参画しようとする態度を身に付ける。	(知・技)様々な余暇の過ごし方があることを理解しようとしている。 (思・判・表)インターネット等を活用し、情報収集等を行い、他者と情報を共有し計画をたて課題を解決する資質や能力を身につけようとしている。 (主学)学習に主体的・協働的に取り組み積極的に社会に参画しようとする態度を身に付けている。	校外学習	・校外学習の企画、実施、振り返り
留意点 引継ぎ等		校外学習は各学期に設定する。			

令和7年度 中学部 2・3年（Ⅱ課程） 特別活動 年間指導計画

単位数/ 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	中学部2・3年		無し

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身につける。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定できるようにする。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するするとともに、人間としての生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	12	(知及技) ・学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 (思判表力) ・学級集団の中で課題を発見し、目標を決める。 (学・人) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。	(知・技) ・学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・学級集団の中で課題を発見し、目標を決めようとしている。 (主学) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・学級開き、新年度を迎えて ・新入生歓迎会	・新しい学年を迎えるとともに中学生としての自覚を深める。 ・一学期の目標設定、時間割の作成、役割分担などをする。 ・他の学年や学部生徒と親睦を図る。
		(知及技) ・児童生徒会の活動内容について知る。 ・火災が発生したときの避難方法を学ぶ。 (思判表力) ・学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだすことができる。 ・どこで火災が発生したのか、どの経路で避難した方がいいのか判断することができる。 (学・人) ・様々な生徒と協力し、学校生活の充実と向上を図ることができる。 ・火災を起こさないために日頃から気をつけることができる。	(知・技) ・児童生徒会の活動内容について知ろうとしている。 ・火災が発生したときの避難方法を学ぼうとしている。 (思・判・表) ・学校全体の生活をよりよくするための課題を見いだそうとしている。 ・どこで火災が発生したのか、どの経路で避難した方がいいのか判断しようとしている。 (主学) ・様々な生徒と協力し、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。 ・火災を起こさないために日頃から気をつけようとしている。	・児童生徒総会 ・火災避難訓練	・今年度の活動内容、予算について知る。 ・災害時の避難経路、避難方法について学習する。
		(知及技) ・戦争や平和について考えることができる。 (思判表力) ・平和な生活を送るためにどうすれば良いかを考える。 (学・人) ・戦争の悲惨さを知り、平和な世界が続くための行動につなげることができる。	(知・技) ・戦争や平和について考えようとしている。 (思・判・表) ・平和な生活を送るためにはどうすればよいか考えようとしている。 (主学) ・戦争の悲惨さを知り、平和な世界が続くための行動につなげようとしている。	・平和集会	・講話 ・平和を守るには、何ができるのか話し合い活動をする。
		(知及技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解する。 ・校外学習を行う意味や意義を理解する。 ・キャリア教育の理解を深める。 ・自分の進路について考える。 ・一学期を振り返る。 (思判表力) ・校内放送を聞いて教師の指示に従って行動する。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出す。 ・どのような職業があるかなどを調べる。 ・一学期の反省を発表する。 (学・人) ・不審者に遭遇した時の対応の仕方を学ぶ。	(知・技) ・不審者対応訓練を行う意味や意義を理解している。 ・校外学習を行う意味や意義を理解している。 ・キャリア教育の理解を深めている。 ・自分の進路について考えようとしている。 ・一学期を振り返ることができる。 (思・判・表) ・校内放送を聞いて教師の指示に従って行動している。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出している。 ・どのような職業があるかなどを調べている。 ・一学期の反省を発表している。 (主学) ・不審者に遭遇した時の対応の仕方を学ぼうとしている。	・不審者対応訓練 ・校外学習 ・進路について、キャリアパスポート学期の振り返り ・1学期終業式	・自身の身の守り方などを学習する。 ・目的地、移動手段、活動について話し合い、決定する。 ・キャリアパスポートに必要事項を記載する。 ・緊急時の避難経路について学習する。 ・1学期の反省の発表
		(知及技) ・戦争や平和について考えることができる。 (思判表力) ・平和な生活を送るためにどうすれば良いかを考える。 (学・人) ・戦争の悲惨さを知り、平和な世界が続くための行動につなげることができる。	(知・技) ・戦争や平和について考えようとしている。 (思・判・表) ・平和な生活を送るためにはどうすればよいか考えようとしている。 (主学) ・戦争の悲惨さを知り、平和な世界が続くための行動につなげようとしている。	・平和集会	・講話 ・平和を守るには、何ができるのか話し合い活動をする。
2 学期	14	(知及技) ・学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 (思判表力) ・1学期の振り返りから、目標を決定する。 (学・人) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。	(知・技) ・学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 (思・判・表) ・1学期を振り返り、目標を設定しようとしている。 (主学) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。	・2学期始業式	・2学期の諸行事の確認と目標を設定する。
		(知及技) ・少年犯罪について考えることができる。 (思判表力) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 (学・人) ・事件、事故等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につける。	(知・技) ・少年犯罪について考えようとしている。 (思・判・表) ・少年犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 (主学) ・事件、事故等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につけようとしている。	・安全学習支援授業 (少年犯罪被害防止)	・少年犯罪の現状を知り、理解を深める。
		(知及技) ・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につける。 ・地震・津波が発生したときの避難方法を身につける。 ・様々なジャンルの本に親しみ、視野を広げることができる。 (思判表力) ・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組む。 ・地震・津波が発生したときの避難経路、避難場所を把握する。 ・本を読んで感想を書くことができる。 (学・人) ・文化的行事に積極的に取り組む。 ・地震・津波などの自然災害への備えを日頃から意識することができる。 ・作品を通して、読む力、書く力を身につけることができる。	(知・技) ・文化的な集団活動の意義を理解し、規律ある集団行動の仕方などを身につけている。 ・地震・津波が発生したときの避難方法を身につけている。 ・様々なジャンルの本に親しみ、視野を広げようとしている。 (思・判・表) ・自分で参加できる方法を考え、皆と協力して取り組もうとしている。 ・地震・津波が発生したときの避難経路、避難場所を把握している。 ・本を読んで感想を書こうとしている。 (主学) ・文化的行事に積極的に取り組もうとしている。 ・地震・津波などの自然災害への備えを日頃から意識している。 ・作品を通して、読む力、書く力を身につけている。	・森川フェス ・総合避難訓練 ・読書週間	・与えられた役割に責任を持って取り組む。 ・避難方法、避難経路を確認する。 ・読書週間を通して読書に関心を持つ。

		(知及技) ・志望校を調べ、絞り込みを行い、受験に必要な心得などを知る。 ・生徒会役員選挙、投票の方法を学ぶ。 (思判表力) ・志望校の特色を調べる。 ・立候補者の考えを聞いて投票する。 (学・人) ・志望動機を考え、文章にする。	(知・技) ・志望校について調べ、受験に必要な心得などを知っている。 (思・判・表) ・志望校の特色を調べている。 (主学) ・志望動機を考えることができ、文章にしている。	・進路について	・志望校を絞り込み、入試に向けて取り組む。
		(知及技) ・エイズについての正しい知識を得る。 ・キャリアパスポートの内容を振り返る。 ・校外学習を行う意味や意義を理解する。 ・2学期を振り返る。 (思判表力) ・エイズが及ぼす影響を知る。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出す。 ・2学期の振り返り自己評価できる。 (学・人) ・偏見や差別のない世界の実現に向けて考える。 ・キャリアパスポートの自己評価から課題や目標を見つける。 ・2学期の自己評価から、3学期に向けての課題を見つける。	(知・技) ・エイズについての正しい知識を得ている。 ・キャリアパスポートの内容を振り返っている。 ・校外学習を行う意味や意義を理解している。 ・2学期を振り返っている。 (思・判・表) ・エイズが及ぼしている影響を知り、解決方法を考えている。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をしている。 ・目的地、移動手段、活動方法を考えたり、意見を出し合ってよりよい方法や手段を導き出している。 ・2学期の振り返り自己評価している。 (主学) ・偏見や差別のない世界の実現に向けて考えている。 ・キャリアパスポートの自己評価から課題や目標を見つけている。 ・2学期の自己評価から、3学期に向けての課題を見つけている。	・エイズ指導 ・キャリアパスポート学期の振り返り ・校外学習 ・2学期終業式	・DVDなどを鑑賞する。 ・キャリアパスポートに必要事項を記載する。 ・2学期の反省の発表 ・目的地、移動手段、活動について話し合い、決定する。
3 学期	9	(知及技) ・学級集団の中で他者と協力して役割を果たす。 ・集団行動や公共の場でのマナーを学ぶ。 (思判表力) ・学級集団の中で課題を発見し、目標を意思決定する。 ・環境に即したマナーを学ぶ。 (学・人) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かす。 ・集団行動や公共の場でのマナーを守る意義を理解し、実践する。	(知・技) ・学級集団の中で他者と協力して役割を果たそうとしている。 ・生徒会役員選挙、投票の方法を学び投票できている。 ・集団行動や公共の場でのマナーを学んでいる。 (思・判・表) ・学級集団の中で課題を発見し、目標を意思決定しようとしている。 ・立候補者の考えを聞いて投票している。 ・環境に即したマナーを学んでいる。 (主学) ・自己の役割や活動を振り返り、集団生活の改善に生かそうとしている。 ・集団行動や公共の場でのマナーを守る意義を理解し、実践している。	・3学期始業式 ・児童生徒会役員選挙 ・校外学習	・3学期の諸行事の確認と目標設定。 ・児童生徒会役員選挙、投票などについて学ぶ。 ・テーブルマナーやお金の支払の仕方を学ぶ。
		(知及技) ・サイバー犯罪について考えることができる。 ・キャリアパスポートを通して、キャリア教育を振り返る。 (思判表力) ・サイバー犯罪が心身や生活に与える影響を理解する。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 (学・人) ・事件等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につける。 ・キャリアパスポートの自己評価からの次年度課題や目標を見つける。	(知・技) ・サイバー犯罪について考えようとしている。 ・キャリアパスポートを通して、キャリア教育を振り返ろうとしている。 (思・判・表) ・サイバー犯罪が心身や生活に与える影響を理解している。 ・キャリアパスポートの内容を自己評価をする。 (主学) ・事件等に巻き込まれず、安全に身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身につけようとしている。 ・キャリアパスポートの自己評価からの次年度課題や目標を見つけている。	・安全学習支援授業 (サイバー犯罪被害防止) ・キャリアパスポート年間の振り返り	・サイバー犯罪について理解を深める。 ・キャリアパスポートに必要事項を記載する。
		(知及技) ・儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解する。 ・規律や気品のある行動の仕方などを身につける。 (思判表力) ・学校生活の節目の場において先を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をする。 (学・人) ・厳粛で清新な気分を味わい、行事の節目として、見通しをもったり振り返ったりしながら、新たな生活への希望や意欲につなげる。	(知・技) ・儀式的行事の意義や、その場にふさわしい参加の仕方について理解している。 ・規律や気品のある行動の仕方などを身につけている。 (思・判・表) ・学校生活の節目の場において先を見通したり、これまでの生活を振り返ったりしながら、新たな生活への自覚を高め、気品ある行動をしている。 (主学) ・厳粛で清新な気分を味わい、行事の節目として、見通しをもったり振り返ったりしながら、新たな生活への希望や意欲につなげようとしている。	・高等部卒業式 ・中学部卒業式 ・修了式、離任式	・卒業式の歌の練習。 ・送辞の準備、卒業式の歌の練習などをする。 ・1年間を振り返りお世話になった先生方へ感謝の思いを伝える。
留意点 引継ぎ等					
特になし					